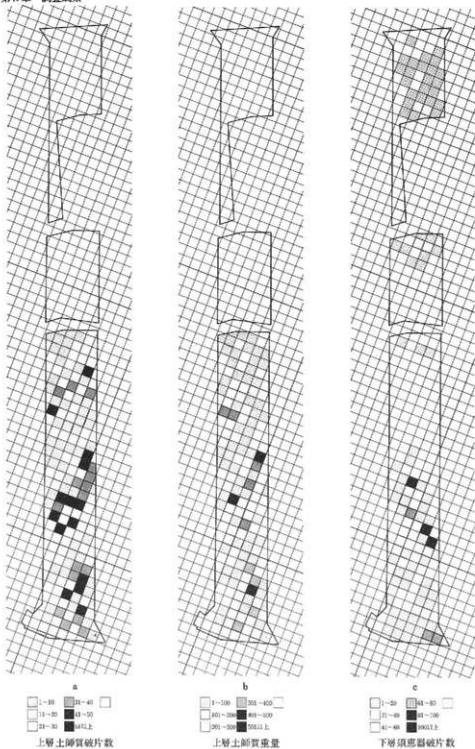
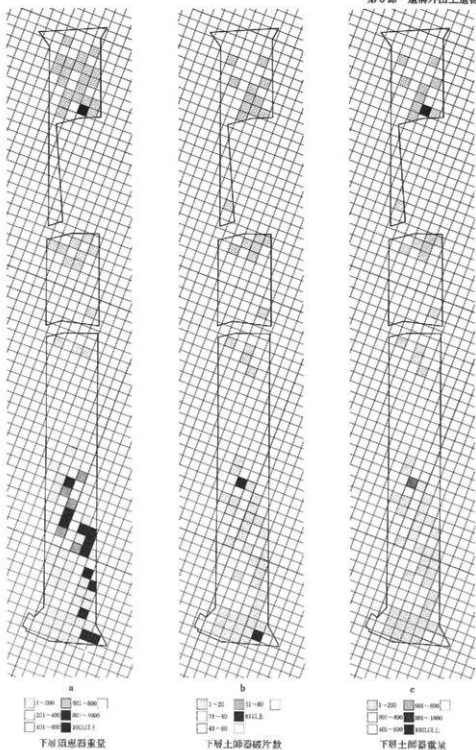


第IV章 調査成果

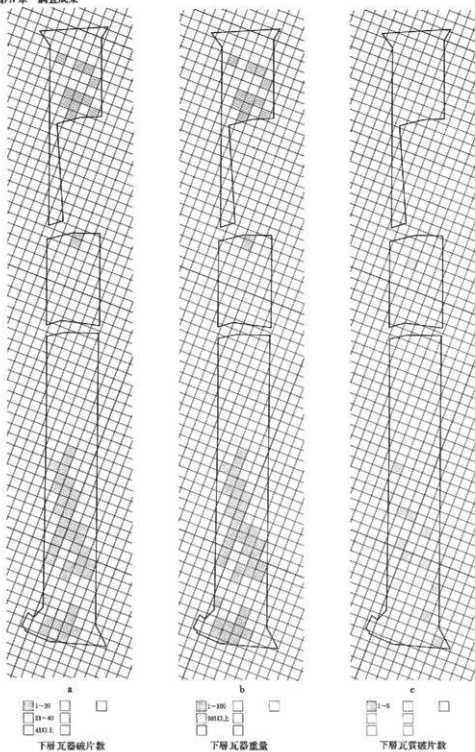


第177図 包含層出土遺物数量分布図5

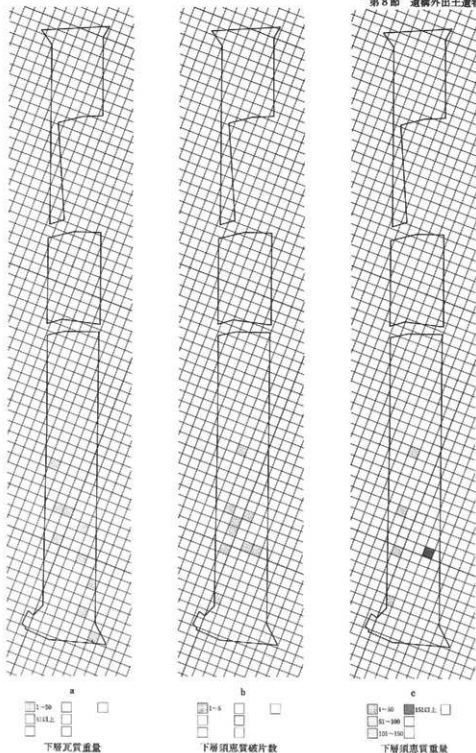


第178図 包含層出土遺物数量分布図6

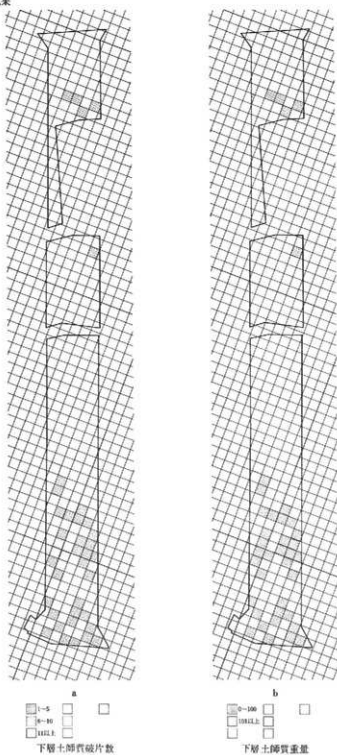
第IV章 調査成果



第179図 包含層出土遺物数量分布図7



第180圖 包含層出土遺物數量分布圖 8



第181圖 包含層出土遺物數量分布圖9

調査区の西側に存在すると思われる中世の遺構の影響によるものと理解しておく。

包含層出土遺物の分布と遺構との関係 包含層の形成過程には様々なケースが存在するが、水込遺跡のように遺構を単純に覆う形で包含層が存在する場合、包含層からの出土量による遺物分布図は、その下に存在する遺構の密度と密接な関係を有していることが分かる。また、下層包含層の検討で明らかのように、時には遺構の時期決定を行う際の一要素となる可能性もある。今回は作成できなかったが、時期別の遺物出土量の分布図を作成すれば、柱掘方出土遺物が皆無か僅少な掘立柱建物の時期決定の際の参考になる場合もありえよう。例えば、B地区の北半部の包含層から出土した須恵器の大半は6世紀末～7世紀前半の所産であり、それ以降のものをほとんど含んでいない。したがって、この地区に存在する掘立柱建物の時期もこの時期にきわめて近いものと考えられるわけだが、実際、掘立柱建物の柱掘方出土遺物とも矛盾しなかった。同様に、A地区北半部の包含層から出土した須恵器の多くは8世紀～9世紀初頭の所産であった。これは、この付近に存在する掘立柱建物および3034-O S・5041-O Xの時期と矛盾しない。このように、包含層の遺物も操作の仕方によっては、掘立柱建物等の時期を推定する際の根拠の一つと成り得る場合が存在する。しかし、これはあくまでも遺構の時期の上限を示しているに過ぎないということはあるまいか。

上記のことは、実は極めて当たり前のことなのではあるが、逆にそれが故に軽視されてきた嫌いがある。一般に、包含層出土の全遺物を数量化することは労多くして実りが少ないと考えられがちであるが、前述のような視点に立てば労を惜しむ必要も無くなるのではあるまいか。

## 第9節 製塩土器

水込遺跡の調査において、大量の製塩土器破片が出土した。そこで、一節を設けて報告することにした。

今回の調査で出土した製塩土器破片の総計は、4268+ $\alpha$ 点（口縁部破片774+ $\alpha$ 点・体部破片3494+ $\alpha$ 点）・23.382kgである。第72表にその内訳を示した。重量で比較した場合、遺構出土遺物が全出土遺物の約85.6%を占めている。遺構出土遺物の中でも、3034-O S・5041-O Xからの出土量が圧倒的に多く、両者の合計は遺構出土量の約87.9%を占めている。また、2022-O Oの出土数も注目される。そこで、まず、これらの遺構における出土状況について触れてみよう。

### 製塩土器の出土状況の検討

2022-O O 第77図の遺物出土状態図でも明らかのように、製塩土器は第78図に示した須恵器坏身・坏蓋等とともに、土坑の底面より出土している。しかしながら、器形を復元できるものは1点もなく、いずれも破片となって出土した。

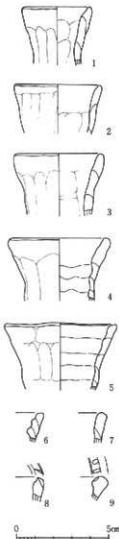
3034-O S 第72表で明らかのように、遺物はB11 J U・J V・K U・L Tに集中する。その中でも特にB11 K Uの出土量が多い。第4節で述べたように、溝は5041-O Xと重複している。このため、調査の初期の段階では両者を一体のものと考え、不明遺構（旧№01-O X）として認識して遺物の取り上げを行っていた。調査が進行する過程で3034-O Sの存在が明らかになり、その時点から遺物の取り上げを分離して行うこととなった。しかし、溝を覆っていた5041-O Xの覆土の堆積は一様ではなく、両者の帰属が不鮮明のまま取り上げられた遺物も少なくない。したがって、3034-O S出土として取り上げられた遺物が確実にこの遺構に伴うかどうかは断定できない。そこで、3034-O S出土のものはこの溝の範囲内から出土した遺物として認識することに留めておきたい。

5041-O X 3034-O Sと同様に、遺物はB11 J U・J V・K U・L Tに集中し、第6節に掲げた遺物と混在する形で出土した。前述のように、遺物の集中する範囲は3034-O Sと重複する。しかしながら、3034-O Sと異なる点は、これらの遺物が始めから5041-O Xに伴うものとして取り上げられていることである。B11 K S・K Tの出土頻度がやや高いことなども考慮するならば、3033-O S・3034-O Sが埋没する過程で形成された凹地の中に製塩土器が集中的に堆積したと理解することが最も自然である。

以上のように、三者の出土状態を検討するならば、3034-O S・5041-O X出土の製塩土器は、3033-O S・3034-O Sが機能を失った後の所産と考えられる。そして、その時期をもう少し限定するならば、2022-O O出土の須恵器坏身・坏蓋がその時期を示しているものと思われる。

#### 製塩土器の観察

製塩土器はその性格上モロイものが多く、いずれも小破片または細片となって出土した。したがって、全形を窺い知れるものは1点もない。第182図は口縁部の遺存状態が比較的良好なもの、もしくは口縁部の形態が特徴的なものを選んで図示したものである。2・3は上層包含層から出土し、それ以外は5041-O Xより出土した。いずれも、8世紀代の製塩土器に特徴的な砲弾形の形態を呈するものと思われる。成形は粘土紐の巻き上げか輪積みで、胎土に粗い砂粒を多量に含む。褐色または浅黄褐色を呈し、過度の2次焼成を受けたものの中には灰褐色や灰白色に変色したものもある。外面はヘラケズリ調整で、口縁部はヨコナデされる。内面は未調整で粘土紐の痕跡が顕著に認められるものと、ヘラケズリまたはナデ調整が施されるものがある。口縁部は外傾または外反し、口唇部を丸くおさめるもの(1~4・9)と面取りするもの(5~8)とがある。口唇部には稀に刻目を施すものがあり、幅が狭く深いもの(8)と丸く浅いもの(9)の二者が認められる。また、口縁部内面に段を有するものも稀に存在する。この段は粘土紐の突出部を強く撫でることによって成形されており、意図的に作出されたものと思われる。ここでは、これを「有段口縁」と仮称する。



第182図 5041-O X・上層包含層出土製塩土器実測図 (S=1/2)

#### 製塩土器の数量処理

製塩土器は容量さえ分かれば、1個体当たりの1回の生産量が容易に概算できる。しかし、2次焼成を受けるという性格上完存するものは稀である。したがって、塩の生産量を算出するためには、まず出土した破片から個体数を割り出す必要がある。辛い製塩土器に



第72表 製塩土器計量表

遺構・層	地 区	総破片数	部位別数		総重量 (g)	摘 要	遺構・層	地 区	総破片数	部位別数		総重量 (g)	摘 要
			口	体						口	体		
2022-OO	B11HU	210	23	187	1000		5041-OX	B11JS	4	3	1	110	
2023-OO	B11KT	10	2	8	74		"	B11JT	87	15	72	358	
OO 合 計		220	25	195	1074		"	B11JU	149	43	106	1048	
3030-OS	B11HS	6	1	5	44		"	B11JV	392	44	348	1117	
3032-OS	B11GT	2	1	1	8		"	B11JW	25	1	24	64	
"	B11ES	1	—	1	5		"	B11KS	142	27	115	796	
小 計		3	1	2	13		"	B11KT	209	27	182	766	
3033-OS	B11JS				15		"	B11KU	412	98	314	2450	
"	B11MT				15		"	B11KV	91	14	77	394	
"	B11TY				6		"	B11LS	3	1	2	19	
"	B17HF	1	1	—	15		"	B11LT	253	22	231	1648	
"	B17IR	1	1	—	18		小 計		2107	336	1781	10320	
"	B17IF				5		5050-OX	B11ER	10	5	5	78	
"	"				3		"	B11GS	70	11	59	362	
小 計		2 + a	2 + a	a	72		"	B11FS	5	1	4	49	
3034-OS	B11IW	18	1	17	141		小 計		85	17	68	488	
"	B11JU	146	27	119	807		5051-OX	B11GT	10	2	8	27	
"	B11JV	212	52	160	1376		5056-OX	B11HS	2	1	1	12	
"	B11JW	38	13	15	223		5088-OX	B11HU	1	1	—	11	
"	B11KT	17	7	10	136		5090-OX	"	5	4	1	54	
"	B11KU	367	136	231	2429		5068-OX	B11IT	6	1	5	49	
"	B11KV	65	15	50	271		5071-OX	B11IU	1	—	1	6	
"	B11LS	21	7	14	155		5101-OX	B11HF	1	1	—	13	
"	B11LT	364	27	337	1667		OX 合 計		2220	353	1867	10967	
"	B11LV	7	3	4	80		6151-OP	B11FU	2	1	1	14	
小 計		1245	288	957	7285		6172-OP	"	1	—	1	2	
3040-OS	B11DX	1	—	1	3		6174-OP	B11FT	1	—	1	5	
3052-OS	B11FT	24	10	14	178		6179-OP	B11GU	1	—	1	6	
OS 合 計		1281 + a	302 + a	979 + a	7595		6191-OP	B11GS	5	2	3	31	
4001-OR	B11WY	1	—	1	2		6237-OP	B12QA	1	—	1	5	
"	B11VX	1	—	1	4		6633-OP	B06VO	2	1	1	8	
小 計		2	—	2	6		6860-OP	B11ES	1	1	—	4	
4002-OR	B11WX	1	1	—	12		6931-OP	B11FR	10	—	10	35	
OR 合 計		3	1	2	18		6942-OP	B11FT	1	—	1	3	
5033-OX	B06YO	2	—	2	6		6951-OP	"	8	1	7	39	
5041-OX	B11FS	5	1	4	39		6954-OP	"	7	1	6	39	
"	B11GR	1	—	1	8		6956-OP	B11FU	1	—	1	2	
"	B11GS	3	—	3	18		6966-OP	B11FV	1	—	1	14	
"	B11GT	25	2	23	138		7003-OP	B11GU	1	—	1	4	
"	B11HR	2	2	—	32		7004-OP	"	1	—	1	10	
"	B11HS	3	—	3	45		7007-OP	"	1	—	1	6	
"	B11HT	19	4	15	146		7009-OP	"	1	—	1	4	
"	B11HU	45	4	41	255		7022-OP	B11HR	1	1	—	4	
"	B11IS	3	—	3	18		7025-OP	"	1	1	—	5	
"	B11IT	55	8	47	350		7060-OP	B11IS	2	—	2	8	
"	B11IU	44	2	42	113		7062-OP	B11IT	2	—	2	5	
"	B11IV	135	8	127	388		7091-OP	B11JT	1	—	1	6	

遺構・層	地 区	総破片数	部位別数		総重量 (g)	備 考	遺構・層	地 区	総破片数	部位別数		総重量 (g)	備 考
			口	体						口	体		
7115-OP	B11JU	24	4	20	84		上 層	B11PY	7	1	6	78	
7314-OP	B11HR	1	—	1	2		下 層	B11QW	3	—	3	10	
OP 合計		78	13	65	345		上 層	B11QX	6	2	4	49	
遺構 総計		3802+α	84+α	2001+α	20019		*	B11QY	4	1	3	64	
下 層	B11UP	1	—	1	8		*	B11RU	1	—	1	7	
*	B11UQ	1	—	1	8		*	B11RV	1	—	1	3	
上 層	B11ER	6	2	4	55		*	B11RW	5	1	4	32	
*	B11ES	7	2	5	61		*	B11RX	3	—	3	14	
*	B11ET	1	—	1	3		上・下層	B11RY	2	—	2	34	
*	B11EU	2	1	1	9		下 層	B11SX	7	1	6	41	
*	B11FR	7	2	5	58		上・下層	B11SY	9	2	7	82	
*	B11FS	5	3	2	77		下 層	B11TX	6	1	5	29	
下 層	B11FT	1	—	1	1		上・下層	B11TY	5	1	4	30	
上 層	B11FP	4	3	1	45		上 層	B11UX	6	1	5	29	
*	B11GR	4	1	3	39		下 層	B11UY	2	2	—	20	
*	B11GS	5	1	4	40		上 層	B11VY	3	—	3	20	
*	B11GT	4	3	1	38		下 層	B11WY	1	—	1	6	
*	B11GU	3+α	?	3+α	50		上・下層	B11WY	7	—	7	20	
*	B11HS	5	—	5	56		下 層	B11XY	1	—	1	9	
*	B11HT	2	—	2	5		上 層	B11YY	2	1	1	6	
*	B11HU	1	1	—	4		*	B12QA	2	—	2	11	
*	B11HV	1	—	1	6		*	B12RA	2	—	2	6	
*	B11IS	6	—	6	44		*	B12RB	1	—	1	4	
*	B11IT	4	1	3	37		*	B12SA	3	1	2	25	
*	B11IU	21	3	18	157		*	B12TA	1	—	1	8	
*	B11IV	6	2	4	56		*	B12UA	1	—	1	6	
*	B11IW	2	—	2	17		*	B12VA	1	1	—	21	
*	B11JS	24	2	22	93		上・下層	B12WB	4	1	3	39	
*	B11JT	5	—	5	27		上 層	B12WC	1	—	1	4	
*	B11JU	19	4	15	117		上・下層	B12XA	38	5	33	153	
*	B11JV	5	—	5	36		上 層	B12XB	2	—	2	11	
*	B11JW	2	1	1	23		上・下層	B12XC	3	—	3	36	
上・下層	B11KT	35	4	31	296		下 層	B12YC	1	—	1	4	
上 層	B11KU	6	1	5	55		*	B17BC	1	—	1	14	
*	B11KV	5	1	4	52		上・下層	B17BD	5	—	5	14	
*	B11LS	2	—	2	25		上 層	B17CC	1	—	1	5	
*	B11LT	3	—	3	10		*	B17CD	1	—	1	1	
*	B11LU	2	—	2	9		下 層	B17CE	2	—	2	5	
*	B11LV	2	—	2	10		上 層	B17DE	1	—	1	1	
*	B11LX	3	—	3	20		*	B17EE	2	1	1	20	
*	B11MT	9	1	8	102		*	B17EF	1	—	1	6	
*	B11MU	2	—	2	20		*	B17FB	1	—	1	14	
*	B11OU	2	1	1	35		下 層	B17FE	1	1	—	10	
*	B11OV	1	—	1	4		上 層	B17GC	1	—	1	6	
*	B11OY	1	1	—	13		上・下層	B17GD	3	—	3	13	
*	B11PU	1	—	1	1		下 層	B17GE	1	—	1	4	
*	B11PX	2	1	1	11		*	B17HF	2	—	2	6	

遺構・層	地区	総破片数		部位別数		総重量 (g)	摘要	遺構・層	地区	総破片数		部位別数		総重量 (g)	摘要
		口	体	口	体					口	体	口	体		
下層	B17HG	1	1	—	—	4		不明	B11IS	3	—	3	—	13	
上層	B17IB	1	—	1	—	7		#	B11JS	4	1	3	—	38	
上・下層	B17IC	2	1	1	—	17		#	B11JU	4	2	2	—	23	
上層	B17ID	2	—	2	—	19		#	B11PY	2	—	2	—	17	
#	B17IF	2	—	2	—	5		#	B17AC	1	—	1	—	7	
#	B17IG	1	—	1	—	5		#	東側溝	2	1	1	—	33	
#	B17JB	1	—	1	—	2		#	西側溝	7	2	5	—	49	
#	B17JC	2	—	2	—	5		#	南側溝	1	1	—	—	10	
#	不明	6	1	5	—	28		#	不明	30	5	25	—	218	
包含層総計		412	68	344	—	2955		遺構外・層不明総計		54	12	42	—	408	

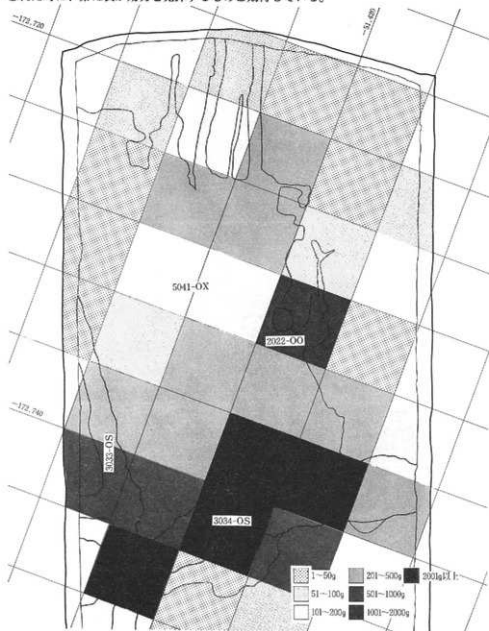
は個体差が少ないため、以下の操作を行うことによって個体数を復元することがある程度可能と思われる。

すでに、隣接する二俣池北遺跡の報告書において試みられているように、個体数を復元するためには出土破片の重量に注目する必要がある。一個の土器が複数の破片に割れた場合、破砕の仕方によって破片数は異なるが、その持つ重量には微小破片の損失を除いてもそれほど大きな変化はない。仮によく似た形態の5個の土器が破砕された場合、1個の重量が判明すれば、破片を接合しなくとも全遺物の総重量を1個の重量で除すれば簡単に個体数を求めることができる。この場合、破片数のみを数えても無意味なことはいうまでもない。ただし、これは全破片が存在するという条件が充たされたときのみ成立する。しかし、実際にはそのようなケースは稀で、破片が失われている可能性が高いことを前提として個体数を算出しなければならない。したがって、算出された個体数はあくまでも最少個体数を示しているにすぎない。そこで、これを補正するために口縁部の接合作業を行い、認識できる口縁部の最大個体数を数える。この口縁部の最大個体数と重量比による最少個体数とが一致することは稀であるが、求める個体数の近似値は両者の幅の中におさまる可能性は大きい。

しかし、机上で上記のような推論が可能であっても、一個体の重量をいかにして求めるかということが課題となる。仮に1個でも完形に復元できる個体が存在すれば、その重量を基準にして個体数を概算することも可能であるが、重量にも個体差が存在するため一筋縄では行かない。二俣池北遺跡の報告書の中で指摘されているように、複数の完形品が存在し、それらの平均重量が算出されることが最も望ましい方法と考えられる。

今回、第72表に口縁部破片数および総重量を掲載したことは上記のような考えに立脚し

た上でのことである。ただし、残念ながら本遺跡においては完形に復元できる個体が1点も存在しなかったため、基本的な数値を掲載し、個体数の復元は今後の課題としておきたい。今後、類似する形態の製塩土器が本遺跡の未発掘部分または周辺の遺跡において検出された時に、第72表が効力を発揮するものと期待している。



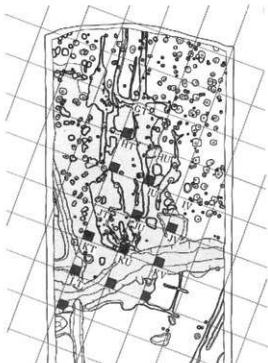
第183図 3034-OS・5041-OX周辺出土製塩土器グリッド別重量分布図 (1/200)

## 第10節 植物遺存体

### 植物遺存体検出の経緯

A地区北半部の掘立柱建物が密集する地区の下層包含層を除去したところ、炭化物を多量に含んだ褐色土がかなり広範囲にわたって遺構面を薄く覆っていることが判明した(5041-OX)。試みにこの土を移植ごとに2杯採採取し、フローテーション(水選別法)を行ったところ炭化米1粒が検出された。そこで、5041-OXの覆土内にはなお多くの炭化種子が含まれている可能性が高いと判断し、各グリット毎に1㎡のサブグリットを設定し、上層のサンプリングを実施した。第184図の濃い網掛けの部分に5041-OXの範囲で、濃い網掛けの部分にサブグリットの位置を示している。

### フローテーションの結果



第184図 5041-OX土壌サンプリング・グリット配置図(S=1/400)

5041-OX覆土の土壌サンプルは、土嚢袋にして150袋以上の量があった。フローテーションは5mm・3mm・1mmメッシュの篩を用いて行ったが、洗浄から選別までの作業に約4カ月を費やした。

一連の作業の結果、第73表に掲載した植物遺存体が検出された。表に掲載した以外にイネ科の種子と判断されるもの1点(B11KV)、イネ科の雑草と判断されるもの多数(B11JV)が検出されている。

### 植物遺存体の品種同定

選別された植物遺存体の大半は炭化しており、種子であるこ

第73表 5041-OX 出土植物遺存体一覧表

種 類	学 名	検出地区 (B11) と数量											摘 要		
		GT	HT	HU	IU	IV	JT	JU	JV	KT	KU	KV		LT	合計
イネ	<i>Oriza sativa</i> Linn.	41	11	4	6	34	5	10	20	5	44	5	12	200	図版 121
イネ?	＊ ?								1					1	2
オオムギ	<i>Hordeum vulgave</i>				3	5	1	4	4	3	3	5	28		図版 122
コムギ	<i>Triticum</i>														
ムギ?					5	1			1					7	
モモ	<i>Prunus Persica</i> Batsch.					1	1				1		3		核1、核片2
スモモ?	<i>Prunus salicina</i> Lindley.			1											核1
ウメ	<i>Prunus Mume</i>		1				1	1	1				4		核1、核片3、図版122
ブドウ	<i>vitis</i>							1	1	3			5		種子、炭化種の可溶性性、図版122
ブドウ属?	＊ ?							1						1	種子
ノブドウ	<i>Ampelopsis</i>									1				1	種子
ウドカヅラ	<i>Ampelopsis Lexoides</i>											1		1	種子
ヤマモモ科	<i>Myrica rubra</i>									1				1	種子
クルミ?	<i>Juglans</i>				1	1			1				3		果皮
イチイガシ	<i>Quercus gilva</i> Blume.								1					1	子葉1枚分
＊ ?	＊ ?												1	1	種子?
カシ属の幼果 (ドングリ)						1								1	イチイガシ?
			1				2	1	1					5	種子4,果皮1,カシナラ不可判別
クスノキ	<i>Cinnamomus Camphora</i> .									1				1	種子
アカメガシワ	<i>Mallotus japonicus</i>												2	2	種子
ヒョウタン類	<i>Lagenaria siceraria</i> Stand.									1				1	果皮
マメ科?								1						1	種子
イヌビエ?	<i>Echinochloa crus-galli</i> var. <i>pratensis</i>												2	2	種子、未炭化
コウゾ?	<i>Broussonetia</i>									1				1	種子、未炭化
イボ草	<i>Murdannia keisak</i>				1									1	種子、未炭化
イボ草?	＊ ?									1				1	種子
エノキ草?	<i>Acalypha australis</i>											2		2	種子
ギンギシ	<i>Rumex japonicus</i>								1					1	果実、現生種の混入?
タゲ属	<i>Polygonum</i> sp.							1	1					2	種子
スゲ属?	<i>Carex</i>		1											1	種子
バラ科	<i>Rosaceae</i>					1								1	トゲ

とが明らかなもの以外に木炭片の疑いの有るものも含まれていた。それらを選別する過程で、炭化米と思われるものとそれ以外のものとに分け、それぞれについて専門家に種子の鑑定を依頼した。

炭化米については元農林省家畜衛生試験場総務部長、現在東京都国分寺市文化財審議委員である佐藤敏也先生に、それ以外の炭化種子については大阪市立大学理学部教授である

粉川昭平先生に鑑定を依頼した。

なお、第76表の炭化米の計測値は、佐藤先生の指導のもとに調査担当者の橋本が計測を行った結果である。また、本節の記述は両先生の助言のもとに橋本がまとめたものであり、文責は橋本にある。

#### イネ以外の植物遺体について

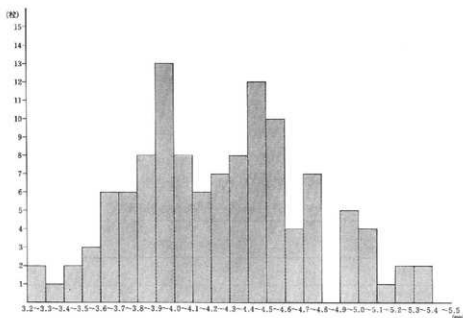
第73表に掲載したものの総計は80点である。このうち、イヌビエ?・コウゾ?・イボ草・イボ草?・ギンギシ等は現生種の混入の可能性が高い。ドングリとしたものは遺存状態が悪くカシ属・ナラ属の区別がつかなかったものである。?のものも同様に遺存状態が悪く断定できないものである。

ムギ これらを除いた57点中、ムギの占める割合が約49%を占めていることが注目される。第I章第2節で触れたように『日本霊異記 中巻 第十』に「常鳥卵煮食以現得悪死報縁」という説話があり、その中で山直郷内に「一町程度の麦畑」が存在していたと思わせる記述がある。『日本霊異記』はあくまでも説話であって、史実とは言いがたい。しかし、この説話の時代設定が奈良時代であり、5041-O Xの時期と重なるうえ、山直郷内の水込遺跡において多数のムギが検出されたという事実は、ことによるとこの説話が山直郷におけるムギの栽培について事実を伝えていた可能性も有りうるという点で些か興味深い。ブドウ ブドウはVitisとAmpelopsisの2種が検出されている。粉川先生の鑑定によれば前者は嘴 (beak) が発達しており栽培種の可能性が高いという。断定はできないが、栽培種であると仮定するならば、現在知られている日本における最古の栽培種のブドウということになる。和泉離宮とブドウの栽培を関連付ければ、興味深い新たな歴史像も描けるが即断は避けたい。

#### 炭化米 (イネ) について

第73表に掲載したように200点の炭化米が検出された。その内、粒長 (L)・粒幅 (B)・粒厚 (Th) が計測可能なものは116点であった (第76表)。その計測値を佐藤先生に送り分析して頂いた結果が第185・186図、第74・75表である。

粒長 米粒計測値中で最も変異が激しいのが粒長である。そこで、最短3.1mm未満から最長5.4mm以上をヒストグラムに作図したものが第185図である。この図には3.9mm以上4.0mm未満に13粒の第1の極があり、4.4mm以上4.5mm未満に第2の極がある。これは、



第185図 5041-O X出土炭化米粒長のヒストグラム (縦軸：粒数, 横軸：粒長)

粒の性格にバラツキがあることを示している。

**粒形と大きさ並びに粒の構成** 粒長のバラツキの原因を解くために、第74・75表を作成した。第74表の横軸の粒大とは粒長と粒幅の積 ( $L \times B$ )、縦軸の粒形とは粒長と粒幅の比 ( $L/B$ )である。また、アルファベットと数字による表記は各炭化米の登録番号である。第75表は第74表の各分類の粒の個体数とその百分率である。

粒厚は稲粒の稔熟度合を示すもので、日本の稲一般の厚さは2.0mm前後である。粒厚が1.6mm以下のものは明らかに未熟粒である。第74表の中で下線を引いたものがこれに該当する。この表の中では狭長・長粒に未熟米が集中しており、36点中23点(約64%)と高率を占めている。また、短粒の極々小粒にも7点の未熟粒が存在している。つまり、粒長のバラツキの原因の一つは、未熟粒が焼かれて変形したものが多数含まれているためである。

**稲品種** 判定のメルクマールをなす粒形 ( $L/B$ ) を階層別に整理し、階層別の中心値を基にして計測合粒に対する百分比をとり、基準化したものが第186図である。この図によれば1.7以上1.8未満と2.1以上2.2未満のところにピークがあり、2極分解していることが分かる。この原因もおそらく未熟粒が多いことに起因しているものと思われる。したがって、5041-O X出土の炭化米にはJaponica Typeの変形粒が多く含まれているものと



思われる。

ただし、第76表で長粒とした7点はIndica Typeの可能性が極めて高い。第76表No.27・99はIndica Typeの未熟粒と考えられる。

長粒米 (Indica Type) について 弥生時代に日本にもたらされた米は、一般に短粒 (Japanica Type) とされている。ところが、8世紀代の遺跡から出土する炭化米の中には長粒米 (Indica Type) が含まれる確率が高くなり、平均すると全出土量の1割を占めるという。この現象の歴史的背景は今後検討する必要がある。ところで、長粒米は痩せた土地にも適応性があり、中世の山城より出土する炭化米の多くが長粒米であることは周

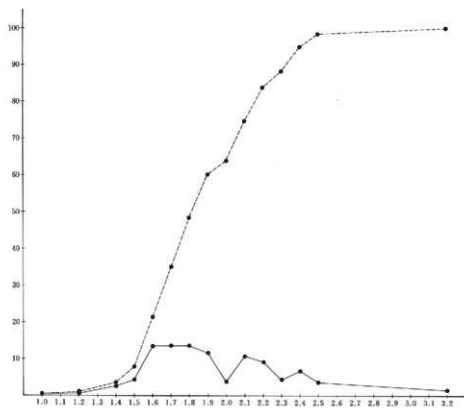
第74表 5041-O X 出土炭化米の粒形とその大きさ

粒形 Shape	粒大 Size	極々小 (V.v.s)		極小 (V.S)		小粒 (S)		中粒 (M)		合計 (%)
		8.00 <sup>uv</sup>				12.00 <sup>uv</sup>		16.00 <sup>uv</sup>		
狭長 (SL)	3.0~	B-12	[1]							1 (0.87)
長 粒 (L)	2.6~3.0									①
	2.3~2.6	A-29, B-6, B-32 E-12, E-37	[3]	A-13, A-24, A-45, A-46, D-32 D-48		A-22		[1]		②
	2.0~2.3	A-7, A-12, A-27 B-2	[4]	A-1, A-5, A-8, A-14, A-42 A-43, A-48, B-8, B-10, B-27 B-39, C-30, D-5, D-17, D-22 D-29, D-30, E-29, E-32	[8]					③
短 粒 (S)	1.8~2.0	B-29, C-28, C-41 C-44, C-48, D-4 D-45, E-39	[8]	A-44, B-9, B-20, B-22, B-30 B-34, C-25, C-47, C-50, D-6 D-25, D-39, D-44, E-19	[8]	B-3, C-31		[2]		④
	1.6~1.8	A-9, A-21, A-30 B-43, C-13, C-16 D-2	[7]	A-3, A-11, A-25, A-41, B-16 B-19, B-21, B-28, B-40, C-24 C-42, D-3, D-13, D-21, D-23 D-28, D-31, D-37, D-40, D-41 E-21, E-25, E-31, E-35	[15]	A-29, B-25 (標準的粒) C-25, E-6, E-34				⑤
	1.4~1.6	C-29	[1]	A-10, B-38, C-14, D-36, D-46 D-49, E-33	[7]	B-5, B-33, B-35 B-37, C-38, C-40 D-38		[7]	[1]	⑥
円粒 (R)	1.2~1.4	E-26	[1]	E-4	[1]					⑦ 3
	1.0~1.2							B-36	[1]	⑧ (2.61)
合計		27 (23.48)		71 (61.74)		15 (13.04)		2 (1.74)		115 (100)

注：アンダーラインのものは未熟粒。

第75表 5041-O X 出土炭化米の粒の構成

粒長 (SL)		長 粒 (L)				短 粒 (S)				円 粒 (R)				合計	
極々小	小計	極々小	極小	小粒	小計	極々小	極小	小粒	中粒	小計	極々小	極小	中粒		小計
1	1 (0.87)	1	35	9	5 (30.46)	16	45	14	1	76 (68.00)	1	1	1	3 (2.61)	115 (100)



第186図 5041-OX出土炭化米の粒種の変異(L/B)

知のとおりである。律令体制下の和泉国は下国であり、作物の栽培にはあまり適していない土地柄であつたらしい。長粒米とともに痩せた土地に適するムギの栽培が行われていたことなどを勘案するならば、水込遺跡の周辺においては意図的に長粒種のイネの栽培が行われた可能性が高いのではあるまいか。



## 第V章 考察

### 第1節 水込遺跡の集落の変遷について

第187図1は水込遺跡と二俣池北遺跡4・5区の遺構配置図を合成したものである。これによれば、両者は同一の集落跡と考えた方が自然である。しかも、二俣池北遺跡4・5区北方の3区においては遺構が存在しないこと、また、水込遺跡のA地区南端部においても遺構密度が低いことなどから、この集落跡の南北の範囲はこれらの調査によってほぼ確認できたことになる。つまり、この二つの調査は、一つの集落跡に幅約20m・長さ約400mに及ぶ大トレンチを入れる結果になった。したがって、本来ならば遺跡名は一本化されるべきであり、二俣池北遺跡の調査区のうち1～3区の範囲についてはその名称を踏襲しても、4・5区については水込遺跡の中に含めて考えるべきであろう。

第IV章第2節で報告したように、水込遺跡の掘立柱建物群等はⅦ期に区分できる。それを骨子として、水込遺跡の集落の変遷はⅦ期に区分できるものと思われる。第187・188図は二俣池北遺跡4・5区の調査成果を含めた水込遺跡の遺構変遷図である。

I期 6世紀後半から7世紀初頭。0002・0003-OD・2012-OOの重複によって最低a～cの3小期に分かれる。I a期には0003-ODが、I c期には0002・0004-OD・1008-OBが該当する。0001・0005-ODは、出土遺物が皆無のため、帰属時期を明らかにできないが、二俣池北遺跡の調査成果に基づけば、竪穴住居は壁溝を有するものの方がそうでないものよりも古いという傾向が認められるので、0001・0005-ODはI a期に帰属するものと考えておきたい。なお、I a期は二俣池北遺跡4・5区のI期に、I b・I c期は二俣池北遺跡4・5区のII期に相当するものと思われる<sup>1)</sup>。

II期 7世紀初頭から中葉。二俣池北遺跡4・5区III期に相当する。1002・1004・1005・1006・1010・1011・1014・1028-OBの8棟の掘立柱建物がこの時期に該当するものと思われる。1002・1004・1005・1006-OBは整然と配置されており、当該期の中心的建物群と考えられる。柱掘方出土遺物を検討すれば、1010・1011・1014・1028-OBは前記の建物群よりもやや後出するものと思われる。なお、3033-OS出土遺物の大半は7世紀中葉から後半の所産であるが、B11Q X出土須恵器坏(第115図114)の存在等を考慮するなら

ば、当該期には既に存在していたものと思われる。したがって、1002・1004・1005・1006—OBと3033—OSの出現が水込遺跡における集落変遷の第1の西期と考えられる。

Ⅲ期 7世紀中葉から後半。二俣池北遺跡4・5区Ⅳ期に相当する。1003・1012・1013・1016・1021・1024・1029・1030・1031—OBの9棟の掘立柱建物がこの時期に該当するものと思われる。建物の配置は南北に分離し、調査区内においてはⅤ期までこの景観が踏襲される。南の一群は総柱建物の1016—OBを中心として、北側に1012・1013—OBがL字型、南側に1021・1024—OBが並棟に配置されている。3033—OSを挟んで、東側には倉(1029・1030—OB)が2棟存在する。また、集落の中心から南に離れた位置に、3033—OSと平行するように1031—OBが存在する。

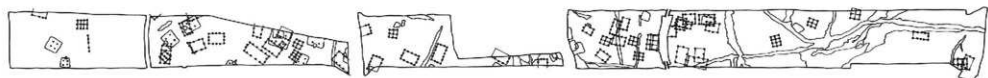
Ⅳ期 7世紀後半から8世紀前半。二俣池北遺跡4・5区Ⅴ期に相当する。1015・1017・1019・1026・1027・1034—OBの6棟の掘立柱建物がこの時期に該当するものと思われる。Ⅲ期の1016・1021・1024—OBがそれぞれ立て替えられて1017・1019・1026—OBとなる。また、集落の南端に1034—OBが建てられる。3046—OSはこれを区画する溝と考えられる。3033—OSは擁壁調査の一括遺物(第126図)の時期まで存続していたことは明らかであるが、8世紀初頭には機能を失っていた可能性が高い。約一世紀の間機能を果たした3033—OSに代わって3034—OSが掘削された。3034—OS掘削の契機は明らかではないが、この溝の出現は水込遺跡における集落の変遷の第2の西期の指標となる。

Ⅴ期 8世紀前半から中葉。二俣池北遺跡4・5区Ⅵ期に相当する。1001・1007・1009・1020・1022・1025—OBの6棟の掘立柱建物がこの時期に該当するものと思われる。1001—OBは出土遺物が皆無のため時期決定は困難ではあるが、二俣池北遺跡5480・5600—OBの主軸方向との相関性から当該期に含めておく。1020・1022・1025—OBはⅣ期のまとまりをほぼ踏襲しているが、それ以外の建物の配置は散漫である。なお、1020—OBは建直しが行われているため、a・bの2小期に分かれる可能性もある。3034—OSに投棄された遺物の多くは、後述するように平城京編年の平城Ⅲと様式が一致するものと考えられ、8世紀中葉から埋没が開始されたものと思われる。

Ⅵ期 8世紀中葉から9世紀前半。5041—OXが形成された時期で、水込遺跡における古代集落の廃絶時期と考えられる。当該期の建物が調査区内では確認できなかったが、調査区外に存在する可能性が極めて高い。5041—OXの形成は水込遺跡における集落変遷の第3の西期である。

Ⅶ期 12世紀中葉から後半。1018・1023・1032・1033—OBの4棟の掘立柱建物がこの時

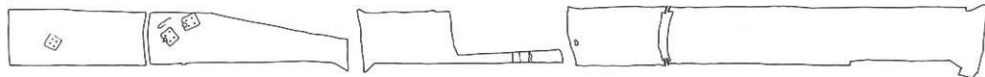
遺構配置図



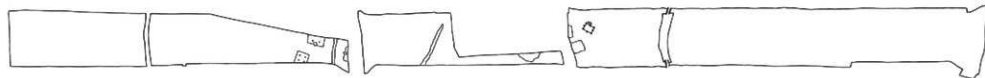
I a 期



I b 期



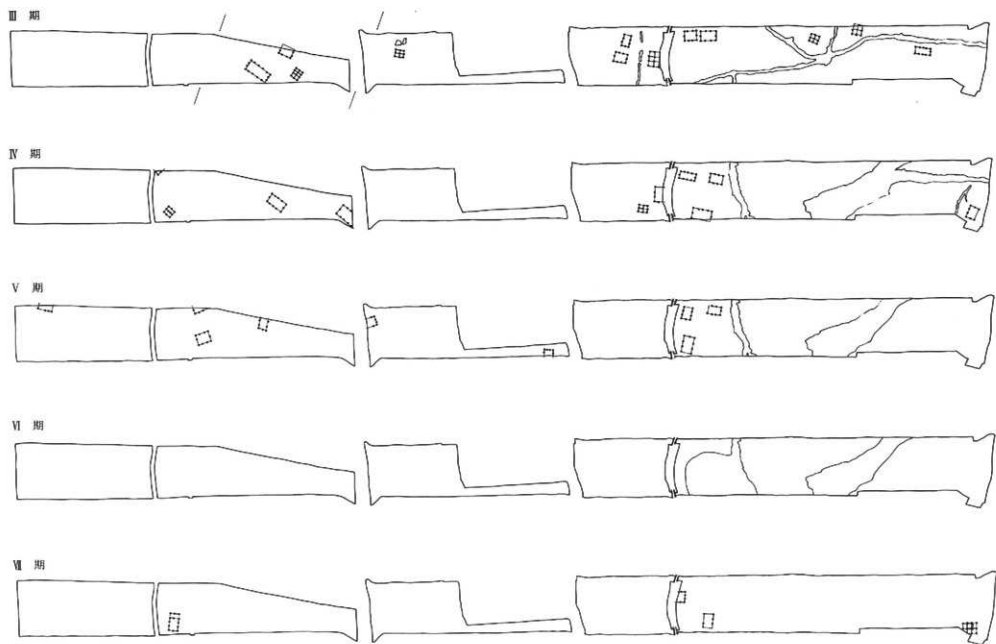
I c 期



II 期



第187図 集落変遷図1 (S=1/1500)



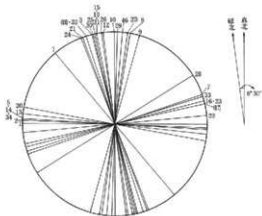
第188図 集落変遷図2 (S=1/1500)

期に該当するものと思われる。1032・1033—OBの重複によってa・bの2小期に分かれるが、前後関係は明らかではない。二俣池北遺跡4・5区Ⅶ期の5700—OBの時期は明らかではないが、一応当該期に含めておくこととする。

## 第2節 山直郷における水込遺跡の位置付け

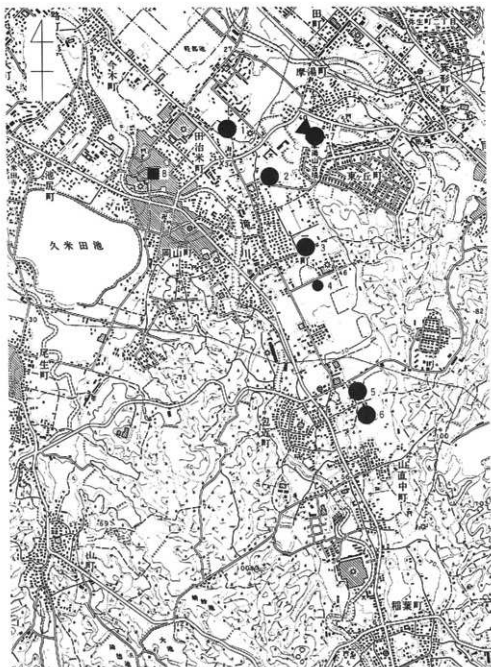
前節で述べたように、水込遺跡は6世紀後半に堅穴住居を中心とする集落として成立し、9世紀初頃ごろまで連続と継続した集落跡と考えられる<sup>9)</sup>。ところで、分布調査と(株)大阪府埋蔵文化財協会が行っている発掘調査の成果に基づけば、推定山直郷域には山直北遺跡・三田遺跡・上フジ遺跡・二俣池北遺跡・水込遺跡・黒石遺跡・山直中遺跡・芝ノ垣外遺跡等の古墳時代から奈良時代にかけての遺跡が存在する。これらの遺跡群において、水込遺跡はどのように位置付けられるのであろうか。

まず、前記の遺跡の中で調査成果が公表されているものについて検討してみよう。推定山直郷域の最北端に位置する山直北遺跡は9世紀代を中心とした集落跡である。底を持つ大型掘立柱建物や畜車の出土など注目される遺構・遺物が検出されている。その南に隣接する三田遺跡は、B地区において5世紀末葉から7世紀前半にかけての堅穴住居と掘立柱建物から成る集落跡が、また、C地区において8世紀後半から11世紀前半にかけての集落跡が検出されている。上フジ遺跡は開析谷を隔てて、三田遺跡B地区の南に隣接する遺跡である。集落の消長は三田遺跡B地区とほぼ同様で、自然地形による制約を度外視するならば、両者を一つの集落として括ることも可能である。上フジ遺跡の北端に位置し、7世紀代の所産と考えられる3間×5間の掘立柱建物は、おそらく三田遺跡B地区の集落を構成した集団の居住空間の南限を示すものであろう。二俣池北遺跡4・5区と水込遺跡については前述のとおりである。水込遺跡より南に存在する山直中遺跡は12世紀以降の中世集落跡と考えられ、また、芝ノ垣外遺跡においては8世紀代の溝が1本検出されているのみである。



第189図 掘立柱建物方位図 (カッコ内は方位不確定)





第190図 牛滝川流域の古代集落遺跡 (S=1/25000)

- |           |                |            |
|-----------|----------------|------------|
| 1. 山直北遺跡, | 2. 三田遺跡C-2・3区, | 3. 三田遺跡B区, |
| 4. 上フジ遺跡, | 5. 二俣池北遺跡4-5区, | 6. 水込遺跡,   |
| 7. 摩湯山遺跡, | 8. 田治米廃寺       |            |

各遺跡の内容は限られた調査範囲の中でしか把握できないにしても、ある程度の傾向を看取することが可能である。

前述の山直郷における各集落跡の消長をまとめたものが第191図である。これをみると、遺跡毎の消長は重なり合う事無く、各集落跡の推定中心時期が時期ごとに相違していることが読み取れる。つまり、5世紀末葉から7世紀初頭にかけては三田遺跡B地区が、7世紀前半から8世紀中葉にかけては水込遺跡（二俣池北遺跡4・5区を含む）が、8世紀後半から10世紀前半にかけては山直北遺跡が、それぞれ当該地域の中心的位置を占める集落として存在していたと考えられるのである。

そこで、三田遺跡が中心的集落として存在した時期を、ここで便宜的に山直郷第Ⅰ期、続く水込遺跡の時期を第Ⅱ期、山直北遺跡の時期を第Ⅲ期とし、各期の内容を検討する中で山直郷における水込遺跡の位置付けについて考えてみたい（第190図参照）。

第Ⅰ期 第Ⅰ期以前の推定山直郷域には、和泉郡域において最大規模を誇る前方後円墳、摩湯山古墳（全長200m）が存在する。摩湯山古墳の築造時期は4世紀後半と考えられているが、三田遺跡C地区において4世紀代の土坑墓群が検出されており、両者の関係が注目されている。この土坑墓を形成した集団の集落は確認されていないが、三田遺跡周辺に存在することが予測される。おそらく、その集落の集団は摩湯山古墳の築造になんらかの形で関与していたのではあるまいか。摩湯山古墳以後の大型古墳の築造は、推定八木郷域の久米田古墳群に移る。山直郷域においては、これを契機として、4世紀末葉から5世紀後半にかけて集落が形成されない断絶期が存在するらしい。したがって、第Ⅰ期は山直郷域内に再度集落が形成され、それが定着する時期と位置付けることができよう。ただし、第Ⅰ期の集落は竪穴住居を主体として構成されるものであり、同時期に掘立柱建物を主体として構成される集落及び地域と比較するならば、山直郷域は後進的または開発途上の地域であったと考えられる。

遺跡名	6c	7c	8c	9c	10c
山直北				←	
三田C区				←	
三田B区	←				
上フジ	←				
二俣池北		←			
水込		←			

第191図 推定山直郷域における古代集落変遷模式図

ところで、第Ⅰ期における集落の形成の要因は何であったのだろうか。この点については性急に結論を出すことはできないが、幾つかの条件が重なった上での未開拓地の開発を契機とするものであったという想定には大過あるまい。なお、それらの条件として、陶

邑の操業に伴う人口圧、地方豪族の梃子入による入植等々、様々なモデルが想定できる。

**第II期** 6世紀後半には水込遺跡においても堅穴住居を主体とした集落が形成され、牛滝川を溯上する形で流域の開発が促進されたものと推定される。そして、7世紀に入ると水込遺跡には正方位をとり、整然と配置された掘立柱建物群（1002・1004・1005・1006－OB）が出現する。この第II期を境として三田遺跡B地区の集落は一時期衰退した模様で、代わって以後8世紀中葉にかけて牛滝川中流域に位置する水込遺跡が山直郷域における中心的な集落として存在したらしい。水込遺跡内を南北に縦走する3033－OSは、この集落周辺の灌漑用水としての機能を果たしたものと考えられ、この溝の掘削が7世紀代の牛滝川中流域の開発において重要な役割を担っていたことは想像に難くない。換言すれば、3033－OSの掘削によって牛滝川中流域の開発が達成されたと言えよう。したがって、第II期は牛滝川中流域の開発期にあたり、それを担った集団の中心的集落が水込遺跡であったと言えよう。また、そのことは、3033－OSが機能を失った後に掘削された3034－OSから多数の墨書土器が、また、包含層中からは4点の円面硯が出土し、この集落内に識字能力を有する成員が存在していたことによっても裏付けられるであろう。

**第III期** 水込遺跡における8世紀後半の3034－OSの埋没および5041－OXの形成は、この集落の衰退を象徴しているものと考えられる。前述したように、これに呼応するように山直北遺跡、三田遺跡C地区において集落が形成され、山直北遺跡は以後9世紀代を通じて山直郷域において中心的集落として存在したらしい。結論を急げば、この現象は、おそらく和泉国の成立と密接な関わりを有していたものと考えられる。和泉国の成立の経緯については第I章第2節において詳述したので、ここでは重複を避けるが、それは天平寶字元年（757）であり、国府の本格的な整備はそれ以後になされたものと思われる。したがって、山直郷域の有力者（山直氏？）は国府が整備されてゆく過程で、国府との関わりからそこより近い場所に居住域を設けたのであろう。つまり、第III期は和泉国府の成立によって、山直郷域の集落が再編成された時期と捉えることができよう。

### 第3節 出土土器について

本書において実測図を掲載した土器の総数は850点である。また、石器・土製品等、土器以外の遺物で掲載したものは26点であった。これらの遺物の中でも、3033－OS・3034

—O S・5041—O X出土の遺物は、遺構それぞれの重複関係が明らかであり、そのうえ大量の遺物が出土したことによって、当該地域の標識資料となりうる内容を有している。そこで、本節ではこれらの遺物を中心として若干の考察を試みることにする。

#### 1. 3033—O S・3034—O S・5041—O X出土遺物の時期

3033—O S 時期決定の指標となる須恵器坏は、飛鳥・藤原編年のⅠ～Ⅴの全てを含んでおり、この溝が約1世紀の間機能し続けていた事を物語っている。一括資料として把握できるものは、3033—b—O S出土の第113図104～110・第114図111～113と第126図262～273のみである。前者は土師器坏Cの出土によって飛鳥・藤原編年のⅢ・Ⅳ期に、後者は須恵器壺蓋や坏Bの出土によって飛鳥・藤原編年のⅤ期に該当するものと思われる。

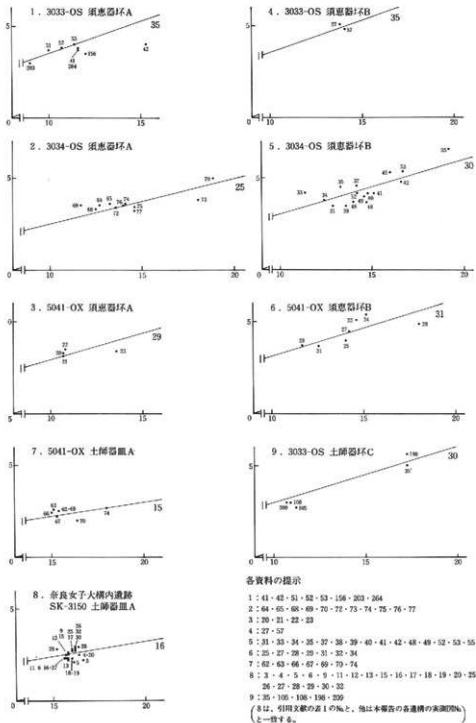
3034—O S この遺構の時期決定の根拠となるものは、須恵器坏である。第192図5の須恵器坏Bの径高指数は30であり、平城宮編年の平城宮Ⅲの様式と近似する。出土遺物の中には若干の時間幅が存在するようであるが、一括投棄された遺物は8世紀中葉の所産と見て大過あるまい。

5041—O X この遺構の時期決定の根拠となるものは、土師器Ⅲである。第192図7の土師器ⅢAの径高指数は15であるが、これは奈良女子大学構内遺跡S K3150出土遺物の径高指数（第192図8）に近似し、様式的には一致するものと考えられる。このS K3150出土遺物は平城宮編年の平城宮Ⅴ～Ⅵと考えられており、5041—O Xの埋没もこの時期、つまり8世紀後半から末葉に開始されたものと思われる。

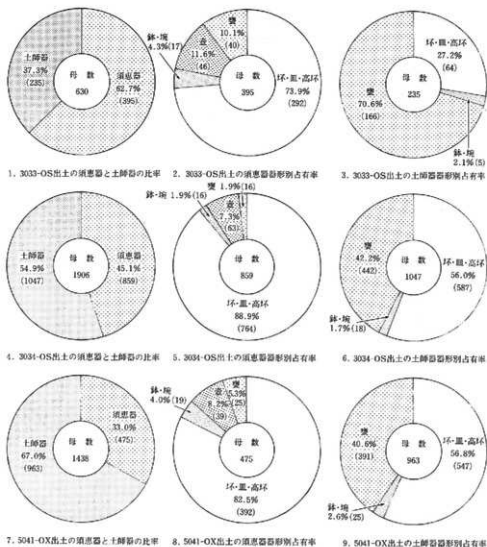
#### 2. 3033—O S・3034—O S・5041—O X出土遺物の比較

第193図は、3033—O S・3034—O S・5041—O X出土土器の各々の器種別占有率を示している。個体数の推計は、第Ⅳ章第9節で述べた方法が理想的ではあるが、その方法を行うにあたっての条件が充たされていないため、ここでは以下に述べる方法によって器種別個体数を算定し、遺構別の器種別占有率を求め百分率で示した。

遺構出土遺物は可能なかぎり接合し、実測図を書いたものは当然のことながら1点として数える。問題になるのは破片で、これについては基本的には口縁部と底部の数を数え、その数の多い方をとる。高坏については依存率の高い脚部の数を推定個体数とする。したがって、ここに示した推定個体数は最大値に近い値を示しているものとする。なお、第193図では、坏とⅢの区別が付けにくい破片も多数存在するため、壺・甕・坏・Ⅲ・高坏・



第192図 須恵器・土師器の坏・皿径高指数(縦軸:器高,横軸:口径)



第193図 3033-OS・3034-OS・5041-OXの出土土器器種別・器形別占有率

鉢・埴という形で表現した。

第193図から読み取れる内容は、以下のとおりである。

- ①須恵器と土師器の占有率を見ると、時期が新しくなるにつれて、土師器の占有率が高くなる。
- ②須恵器の器形別占有率を見ると、8世紀代の方が環・皿・高環の占有率が高くなる。
- ③土師器の器形別占有率を見ると、7世紀代は甕の占有率が極めて高い。8世紀代には、

坏・皿・高坏の占有率が增加するが、壺も依然として約40%前後の高い占有率を示している。

以上のことから、水込遺跡においては、日常容器の器種別占有率が8世紀代になって逆転するという現象を指摘することができる。おそらく、その原因は煮沸容器が減少したためではなく、土師器坏・皿・高坏の数量が増加した結果であろう。このような現象は、当遺跡に限ったことではなく、畿内一円の当該時期の遺跡に敷衍できることではあるが、にもかかわらず、依然として8世紀中葉における須恵器坏・皿・高坏の占有率は、土師器のそれを凌駕している。他地域の遺跡と比較できるデータの提示がないため、一概には言えないが、おそらくそれは須恵器生産地が至近距離に存在することに起因しているのであろう<sup>3)</sup>。

#### 第4節 5041-OXの性格について

本節では、水込遺跡における古代集落の終焉の象徴とも言える5041-OXの性格について若干の所見を述べておきたい。

**製塩土器** まず、5041-OXの性格を考える手掛りは、ここより出土した大量の製塩土器にある。そこで、初めに現在の海岸線から直線距離にして約7km内陸部に入った水込遺跡から出土した製塩土器の性格について考えてみたい。

第IV章6節で述べたように、A地区北端部における炭化物を含む褐灰色土層の広がりや5041-OXとして把握した。5041-OXの東側には掘立柱建物が密集しているが、この部分は若干遺構検出面が高い。つまり、この層は調査区西側の浅い窪み内に堆積したものと考えるのが自然である。ここに炭化物層が堆積するためには、周辺に存在する掘立柱建物が火災に遇ったか、または、その場所で火を用いた行為を行ったかのいずれかの理由が考えられるが、製塩土器がこの中から多量に出土したことや2022-OOの出土状態等を重視するならば、前者よりも後者の蓋然性の方が高いと言えよう。つまり、製塩土器と炭化物層とは密接な関係を有するものと考えるのである。

ところで、内陸部から多量の製塩土器が出土する例は、本遺跡に限らず奈良県布留遺跡や平城京跡等が著名である。いずれも、土器製塩を行うためには海岸部から多大な労力を要して海水を運搬するか、遺跡の周辺に鹹水の泉がなければならぬわけだが、どちらの可能性もあまり高いとは言えない。土器製塩の条件を充たさないにもかかわらず製塩土器が多量に出土する遺跡の性格については、海岸部で煎熬された塩を製塩土器に詰めた状態

で内陸部へ運搬し、再度熱処理を施して使用したという説が有力である。水込遺跡の製塩土器についてもその蓋然性は高いと考えられる。

それでは、海岸部の生産地よりもたらされた塩は、本遺跡内においてどのように処理されたのであろうか。残念ながら、調査時にはそのような目的意識を伴った形での調査を行っていないため、この点についてはいきおい状況証拠から推論する以外術がない。

**炭化米** 第IV章第10節において詳述したように、5041-OX覆土の土壤サンプルからは多くの木炭片とともに200点にのぼる炭化米が検出された。それらの鑑定結果によれば、炭化米の中には多くの未熟米が含まれているという。炭化米が検出された同時期の他の遺跡と比較した場合、水込遺跡における未熟米の検出率は極めて高く特異である。このことは、未熟米のついた穂先が意図的に燃やされていたことを示唆しているのではなかろうか。

**遺構** ところで、5041-OXの範囲内には上坑・溝・小pit・不明遺構等が密集する。それらと製塩土器との関係は如何なるものなのであろうか。少なくとも、2022-OOでは底面に密着した状態で出土した。また、5073-OXの底面直上には厚さ約5cm程の炭層が帯状に堆積していた。しかしながら、どの遺構にも底面が加熱を受けたという痕跡は認められなかった。

**特異な出土遺物** 5041-OXの覆土中よりかなりの量の自然礫が出土している。その多くは大板層群中に含まれる自然礫であったが、その中に極僅かではあるが加熱痕跡を有するものが存在した。また、砂岩系の礫の中には、何かを磨いた痕跡を有するものが数点存在した。その他、土錘・蛸壺等の漁猟具、燃えさし、小鍛冶に関連すると思われる鉄滓等が出土している。

**5041-OXの性格** 以上のことから、5041-OXでは自然礫を用いた固型塩の加熱処理や小鍛冶等、主に火を用いる作業空間として使用されていたものと推測される。その際、焚き付けのために藁が用いられたため、まとまった量の炭化米が検出されたものと思われる。また、2022-OOの出土状態を勘案するならば、それに伴う祭祀行為もこの場所で行われていたのかもしれない。



【註】

- 1) 二俣池北遺跡の報告書の中でⅡ期とされた遺構については、さらに2小期の細分の可能性が指摘されている。今回の調査によって、堅穴住居は少なくとも3小期に分離することが可能となったため、本書では二俣池北遺跡Ⅱ期とされた遺構をI b期とI c期に分離することにした。
- 2) 水込遺跡は、広瀬和雄の言う長期型集落に分類される。
- 3) ただし、今回対象とした各遺構の性格が異なるため、遺構の性格に出土物が規制されている可能性もあり、その点を考慮する必要があることは言うまでもない。

引用・参考文献

- 村田修三・坪之内徹 1986 『奈良女子大学構内遺跡発掘調査概報』Ⅲ (奈良女子大学)
- 奈良国立文化財研究所 1976 「平城宮発掘調査報告」Ⅶ 『奈良国立文化財研究所学報』  
第二十六冊
- 奈良国立文化財研究所 1983 「平城宮発掘調査報告」Ⅺ 『奈良国立文化財研究所学報』第40冊
- 広瀬和雄 1989 「畿内古代の集落」 『国立歴史民俗博物館研究報告』第22集
- 宮崎泰史 1986 「二俣池北遺跡発掘調査報告書」 『朝大阪府埋蔵文化財協会調査報告書』  
第45輯

## 第Ⅵ章 まとめ

### 1. 調査によって明らかにされたこと

水込遺跡の調査によって、以下の内容が明らかとなった。

- ① 水込遺跡は、6世紀後半から9世紀初頭にかけて継続する集落跡（長期型集落）である。
- ② 水込遺跡は、和泉国和泉郡の推定山直郷域に存在する。
- ③ 水込遺跡の北側に隣接する二俣池北遺跡4・5区は、水込遺跡と同一の集落跡である。
- ④ 水込遺跡の集落の変遷は、大きくⅢ期に区分される。さらに、集落の画期は、大きくⅢ期に区分される。第Ⅰ期は6世紀後半で、4世紀後半に途絶えた集落が再び形成され定着する時期。第Ⅱ期は7世紀初頭頃で、牛滝川流域の開発期で、水込遺跡が開発を担った集団の中心的集落として存在した時期。第Ⅲ期は8世紀末頃で、集落の衰退期。
- ⑤ 水込遺跡は、推定山直郷域における集落の変遷の中で、第Ⅱ期の中心的集落として位置付けられる。
- ⑥ 水込遺跡の集落の衰退は、和泉国府の成立と密接に関係する可能性が高い。
- ⑦ 3033-O S・3034-O S・5041-O X出土遺物は、現段階では、推定山直郷域における各時期の基準資料となりうる。
- ⑧ 水込遺跡からは11点の墨書土器と4点の円面硯が出土しており、遺跡の成員の中には識字能力を有するものが存在した可能性が高い。
- ⑨ 水込遺跡の集落内では、8世紀後半に固型塩の熱処理が行われていた。
- ⑩ 水込遺跡の集落内では、8世紀後半に小鍛冶が行われていた。
- ⑪ 5041-O X出土の炭化米中には、長粒米（Indica）が含まれていた。
- ⑫ 5041-O X出土のブドウの種子は、栽培種の可能性がある。

### 2. 今後の課題

以上の事実が明らかになったが、今後に残された課題も多い。以下に、それを列挙してまとめに代える。

- ① 和泉国内における水込遺跡の位置付け。つまり、同時期の集落跡である万町北遺跡や

池田寺遺跡などとの関係を、検出した遺構や出土遺物の検討を通して把握することができるかどうか。

- ② 広瀬和雄によって指摘された長期型集落の出現する背景を、水込遺跡の場合、如何に理解するか。これは、山直郷の成立と密接な関係をもつものと思われる。
- ③ 水込遺跡を中核とする7・8世紀の山直郷域の郷の実態を如何に把握するか。これは、鬼頭清明が指摘する「郷・村・集落」の定義とも関わりをもつものと思われる。
- ④ ③と関連して、郷域内の集団関係は如何なるものであったのか。例えば、3033-OSの掘削は、当時とすれば相当の労力を要したものと思われるが、果たして水込遺跡の集団のみで、それを達成することができたのだろうか。
- ⑤ 3033-OSから3034-OSへの転換は、水込遺跡の集落変遷の両期と密接な関係を有していると思われるが、この転換をどのように理解するか。
- ⑥ 3034-OS出土の土師器坏の中には、黒色処理を施された輸入品と考えられる一群が存在するが、それはどの地域からもたらされたものなのか。これと関連して、今回は、時間の制約から行うことができなかったが、将来的には河内や大和との土師器の比較を行う必要がある。
- ⑦ 7・8世紀の遺跡から出土する炭化米の中に約1割程度含まれる長粒米の存在を如何に理解するか。つまり、長粒米が果たした歴史的意義を如何に理解すればいいのか。
- ⑧ 5041-OX出土のブドウの種子が確実に栽培種と判断された場合、和泉におけるブドウ栽培の歴史的意義を如何に考えるのか。その際、和泉離宮の存在が重要な鍵を握る可能性がある。

## 出土遺物觀察表



第77表 0003-O D 出土遺物観察表

探検 区 図	遺物 地区	遺物 種類	i, j, k, l, m, n, o, p, q, r, s, t, u, v, w, x, y, z	調査 内容	土質	焼成 温度	色調 (内面) (外面) (断面)	残存率	備考
第128 1 図版一	B06U O	銅器 年輪	(13.0) (2.3)	口縁部・体部内外面コロコ 回転ナブ	1.0mm以下の白色 砂粒を含む	硬	N7/0 (灰白色) 10GY6/1 (緑状色) 10GY6/1 (緑状色)	7%	

第78表 1019-O B 出土遺物観察表

第368 1 図版一	B11U U	土器 年輪	(15.0) (3.0)	口縁部内外面ヨコナゲ? 底面内外面ナブ? 器面磨減 顕著、調整不明	白色細砂粒2.0mm 以下の赤色粒子を 含む	中	10YR7/1 (灰白色) 10YR7/1 (灰白色) 7.5YR7/6 (褐色)	5%未満	6106-OP
第368 2 図版一	B11F U	土器 年輪	(12.9) (4.1)	口縁部内外面ヨコナゲ、体 部内外面ナブ? 器面磨減 顕著、調整不明	2.0mm以下の赤褐色 、白色砂粒を含む 4.0mm位の茶色 砂粒も含む	中	7.5YR8/4 (褐色) 7.5YR8/6 (褐色) 7.5YR8/6 (褐色)	5%未満	6162-OP 口縁部内面 水まじり 痕跡

第79表 1022-O B 出土遺物観察表

第492 1 図版一	B11F S	土器 年輪	(22.6) (5.4)	口縁部内外面ヨコナゲ、体 部内外面ナブ? 器面内面磨 減ハケ(3本/面)口唇部面取り	5mm以下の砂粒 (白・赤色砂粒)を 含む	中	10YR8/1 (灰白色) 10YR8/1 (灰白色) 10YR7/6 (褐色)	5%未満	6185-OP
------------------	--------	----------	-----------------	--	-----------------------------	---	--	------	---------

第80表 1026-O B 出土遺物観察表

第492 1 図版1A	B11H V	銅器 年輪	(10.2) (2.75)	口縁部・体部内外面ヨコナ ゲ、底面外面ヘラケツ	1.0mm以下の白色 砂粒を含む	硬	5B7/1 (明青灰色) 5B7/1 (明青灰色) 5B7/1 (明青灰色)	10%未満	6211-OP
-------------------	--------	----------	------------------	----------------------------	---------------------	---	--	-------	---------

第81表 1028-O B 出土遺物観察表

第492 1 図版42	B11O W	銅器 年輪	(6.2) 2.15	口縁部・頂部内外面コロ 回転ナブ	微砂粒を含む	硬	N8/0 (灰白色) N8/0 (灰白色) N8/0 (灰白色)	20%	6229-OP 外面自然釉
第492 2 図版一	B11O V	銅器 年輪	(8.2)	脚部外面コロ回転ナブ、 長い底面ナブ、内面ナブ、 しぼり痕跡	1.0mm以下の白色 粒を含む	硬	N7/0 (灰白色) N7/0 (灰白色) 10B3/3 (暗赤褐色)	15%	6223-OP 脚部 2段方透 し
第492 3 図版一	B11O V ~PV	銅器 年輪	(22.2) (5.0)	口縁部内外面コロ回転ナ ブ、器面磨減顕著、口唇部 面取り	1.0mm位の白色砂 粒を少し含む	軟	7.5Y8/1 (灰白色) 7.5Y8/1 (灰白色) 7.5Y8/1 (灰白色)	5%未満	6221-OP 6223-OP 粘土土質、 片を含む

第82表 1032-O B 出土遺物観察表

第538 1 図版42	B17H B	瓦器 年輪	(15.8) 5.4 (5.6)	口縁部内外面ヨコナゲ、体 部内外面ナブ? 器面磨減 顕著、調整不明	1.0~3.0mm以下の 小石を多く含む	軟	5YR8/4 (緑褐色) 2.5YR7/4 (灰赤褐色) 5YR8/4 (緑褐色)	30%	6263-OP
第538 2 図版一	B17H A	瓦器 年輪	(17.6) (3.1)	口縁部内外面ヨコナゲ→ クイボク	細砂粒を含む	硬	N6/0 (灰色) [灰黄] N6/0 (灰色) [灰黄] 2.5GY8/1 (灰白色)	8%未満	6258-OP

第83表 1033-O B 出土遺物観察表

第558 1 図版42	B17I B	土器 年輪	9.4 1.4	口縁部内外面ヨコナゲ、体 部内外面ナブ? 器面磨減 顕著、調整不明	1.0mm以下の白色 粒2.0~5.0mm以下の 褐色赤色酸化粒 を含む	硬	2.5YR/2 (灰白色) 10YR7/3 (正赤・黄褐色) 10YR8/3 (正赤・黄褐色)	50%	6260-OP
第558 2 図版42	B17H B	瓦器 年輪	(15.4) 5.05 5.6	口縁部内外面ヨコナゲ、体 部内外面ナブ? 器面 磨減顕著、調整不明	2.0mm以下の砂粒 (赤、白色粒子)を 含む	中	N4/0 (灰色) [灰黄] N4/0 (灰色) [灰黄] 9.5GY8/1 (灰白色)	15%未満	6266-OP

発掘 No. 調査 年度	遺 址 区 画	遺 構 形 態	発 見 量 a, b, c	調 査 内 容	土 質	焼 成 色 調 (内面 /外 面)	残 存 率	備 考
第55回 3 調査	B171 B	瓦葺 瓦	(15.4) (9.3)	口縁部内外面コナテ、体 部外周ナテ、底部注溝、内 面ナテ→ヘラミガキ 器面調査	黄砂粒、白色粒子 を含まず	中 N4.0 (灰色) [黄赤] N4.0 (灰色) [黄赤] 2.5GY8/1 (灰白色)	15%	0265-OP
第56回 4 調査	B171 B	瓦葺 瓦	(14.4) 4.7 (5.0)	口縁部内外面コナテ、体 部内周ナテ、底部注溝、内 面ナテ→ヘラミガキ、底部 内周ナテ→埋木、外周ナテ 器面調査	黄砂を含まず	硬 N4.0 (灰色) N4.0 (灰色) 10Y8/1 (灰白色)	15%	0300-OP

第84表 2002-00 出土物観察表

第58回 1 調査	H06C K	須恵器 坏器	(10.0) 3.35	口縁部・体部内外面口口 回転ナテ	1.0mm以下の白色 砂粒を少し含む	硬 N7.0 (灰白色) N7.0 (灰白色) N7.0 (灰白色)	15%	
第58回 2 調査	B06C K	須恵器 坏器	(9.2) (2.1)	口縁部・体部内外面口口 回転ナテ	黒色粒子を含まず	硬 N7.0 (灰白色) N7.0 (灰白色) N7.0 (灰白色)	6%未満	外面自然熱 付着
第58回 3 調査	H06C K	須恵器 高年	— (2.6) (13.9)	胴縁部内外面口口回転ナ テ、脚端部取り	1.0mm以下の白色 砂粒を少し含む	硬 N7.0 (灰白色) N7.0 (灰白色) N7.0 (灰白色)	5%未満	脚部
第59回 4 調査	H06C K	須恵器 坏	(11.0) (6.4)	口縁部内外面口口回転ナ テ、外面注溝1本	2.0mm以下の砂粒 を少し含む	硬 N7.0 (灰白色) N7.0 (灰白色) N7.0 (灰白色)	3%未満	

第85表 2003-00 出土物観察表

第59回 5 調査	B06D L	須恵器 坏器	(9.9) (3.0)	口縁部内外面・体部内面口 口回転ナテ、外面ヘラミ ガキ、底部外面ヘラ切り 調整	2.0mm以下の砂粒 を含まず	硬 N8.0 (灰白色) N8.0 (灰白色) N8.0 (灰白色)	25%	外面自然熱 付着
-----------------	--------	-----------	----------------	--	--------------------	---	-----	-------------

第86表 2006-00 出土物観察表

第60回 1 調査	B06H K	須恵器 坏器	(12.0) 3.5	口縁部内外面・体部内面口 口回転ナテ、底部内面ナ テ、外面ヘラミガキ(L) ?)	0.5~3.0mm上の白 色粒子(シ→モ ット?)を多く含む	中 N5.0 (灰色) N6.0 (灰色) N5.0 (灰色)	20%	底部外面に へつ記号
-----------------	--------	-----------	---------------	---	--------------------------------------	--	-----	---------------

第87表 2008-00 出土物観察表

第61回 1 調査	B06G K ・OL ・PK ・PL	須恵器 坏器	(11.6) 3.5	口縁部内外面・体部内面口 口回転ナテ、底部内面ナ テ、外面ヘラミガキ(L)	2.0mm未満の白・ 黒色砂粒を含む	軟 N7.0 (灰白色) N7.0 (灰白色) N7.0 (灰白色)	40%	
-----------------	-----------------------------	-----------	---------------	---	-----------------------	---	-----	--

第88表 2009-00 出土物観察表

第64回 1 調査	出土地点 不明	須恵器 坏器	(11.0) 3.5	口縁部・体部内外面口口 回転ナテ、胴縁外面ヘラ切 りナテ	白色塵埃を多く含 む	硬 N7.0 (灰白色) N6.0 (灰色) N7.0 (灰白色)	45%	
第64回 2 調査	B06Q L	土師器 高年	(12.4) 6.4 (7.4)	口縁部内外面コナテ?器 面調査、調査不明	0.5~1.0mm上の白 色粒を多く含む	硬 7.5YR5/6 (明褐色) 7.5YR5/6 (明褐色) 7.5YR5/6 (明褐色)	30%	

第89表 2010-00 出土物観察表

第66回 3 調査	B06S M ・TM ・SN	須恵器 坏	— (4.3)	体部内外面口口回転ナ テ	2mm以下の白色砂 粒を含む	硬 5R5/1 (青灰色) 3B4/1 (暗青灰色) 3R5/1 (紫灰色)	10%未満	体部外面に へつ記号
-----------------	----------------------	----------	------------	-----------------	-------------------	---	-------	---------------

第90表 2011-〇〇 出土遺物観察表

第90表 1 図版43	H06SM ・SN	土師器 壺	— —	胴部内外面・把手部ナデ	1.0㎜以下の白色 粒子を多く含む	硬	2.5YR5/6 (明赤褐色) 2.5YR5/6 (明赤褐色) 10YR2/1 (黒褐色)	—	把手
-------------------	--------------	----------	--------	-------------	----------------------	---	---	---	----

第91表 2012-〇〇 出土遺物観察表

第91表 1 図版43	B06UO	灰土器 坏蓋	(15.4) 4.5	口縁部・胴部内外面コクロ 回転ナデ、胴部内面ナデ、 外蓋ヘラケズリ→ロクロ回 転ナデ	1～3㎜次の白色 粒を含む	硬	N7/0 (灰白色) N7/0 (灰白色) N7/0 (灰白色)	80%	
第91表 2 図版43	B06UO	土師器 坏	(12.0) 3.8 7.5	口縁部内外面ココナデ? 底 部内外面ナデ? 器面磨減 著、調整不明	2㎜次の赤褐色粒 と1㎜次の黒色粒、 1～2㎜次の赤色 粒を含む	軟	7.5YR7/6 (褐色) 7.5YR6/6 (褐色) 7.5YR7/6 (褐色)	80%	

第92表 2013-〇〇 出土遺物観察表

第92表 1 図版43	B06VW	土師器 坏	(14.2) 5.45	口縁部内外面ココナデ? 底 部内外面ナデ? 器面磨減 著、調整不明	1～2㎜次の小正 と1㎜以下の白色 粒を多く含む	中	5YR5/6 (褐色) 5YR6/6 (褐色) 5YR6/6 (褐色)	30%	
第92表 2 図版43	B06UR	土師器 高坏	(15.8) (4.1)	口縁部内外面ココナデ? 底 部内外面ナデ? 器面磨減 著、調整不明	2㎜以下の砂粒 (赤色・白色粒子) を多く含む	硬	7.5YR7/6 (褐色) 7.5YR7/6 (褐色) 7.5YR7/6 (褐色)	12%	坏蓋

第93表 2015-〇〇 出土遺物観察表

第93表 1 図版110	上層 B06WO	灰土器 坏身	(19.4) 2.2	口縁部内外面コクロ回転ナ デ	1㎜以下の白色砂 粒を含む	軟	7.5YR7/1 (灰白色) 7.5YR7/1 (灰白色) 7.5YR7/1 (灰白色)	5%以下	
第93表 2 図版43	B06XO	土師器 壺	19.8 (13.1)	口縁部内外面ココナデ、器 面外蓋部コナデ(10㎜/φ)・器 面外蓋上部部コナデ(10㎜/φ) →斜ヘラ(13㎜/φ)下部部ヘ ラケズリ→斜ヘラ(13㎜/φ)	2㎜以下の砂粒 (白色・赤褐色粒) を含む	中	10YR5/2 (深赤褐色) 10YR5/2 (深赤褐色) 10YR6/2 (濃い赤褐色)	70%	胴部内面に オコナデ片着 外面に黒着

第94表 2017-〇〇 出土遺物観察表

第94表 1 図版—	B06WO	灰土器 壺	— (3.2)	胴部内面コクロ回転ナデ、 外蓋ヘラケズリ、底縁2本 器面外蓋ヘラケズリ(L)	1.5㎜以下の白色 砂粒と0.50㎜位の 小石を含む	硬	N8/0 (灰白色) N7/0 (灰白色) N8/0 (灰白色)	15%	
------------------	-------	----------	------------	--	----------------------------------	---	--	-----	--

第95表 2022-〇〇 出土遺物観察表

第95表 1 図版43	B11HU	灰土器 坏蓋	13.6 2.7	口縁部・胴部内外面コクロ 回転ナデ、外蓋ヘラケズリ →ロクロ回転ナデ	細砂粒を多く含む (1㎜以下)白	硬	2.5GY7/1(黄オリーブ/灰色) 2.5GY7/1(黄オリーブ/灰色)	ほぼ定形	
第95表 2 図版44	B11HU	灰土器 坏蓋	14.4 2.00	口縁部・胴部内外面コクロ 回転ナデ、外蓋ヘラケズリ →ロクロ回転ナデ 器面磨減顯著	1㎜以下の白色砂 粒を含む	やや 軟	N&0 (灰白色) N&0 (灰白色) N&0 (灰白色)	80%	
第95表 3 図版—	B11HU	灰土器 坏身	(12.6) (2.0)	口縁部・胴部内外面コクロ 回転ナデ	白色細粒を含む	硬	N7/0 (灰白色) N7/0 (灰白色) N7/0 (灰白色)	8%未満	
第95表 4 図版43	B11HU	灰土器 坏身	(13.2) 4.05 (9.8)	口縁部・胴部内外面コクロ 回転ナデ、器面外蓋ヘラ切 リ→底コクロ回転ナデ、 器面磨減顯著	密	軟	7.5YR/1 (灰白色) 7.5YR/1 (灰白色) 7.5YR/1 (灰白色)	40%	
第95表 5 図版—	B11HU	灰土器 坏	—	底部内面ナデ、外蓋ヘラ切 リ→底コクロ回転ナデ	0.5㎜次の白色砂 粒を含む	中	N5/0 (灰色) N5/0 (灰色) 2.5YR5/3(濃い赤褐色)	—	底部外面に ヘラ切着
第95表 6 図版43	B11HU	土師器 坏	(13.1) 3.45	口縁部内外面ココナデ、体 部内外面ナデ	1㎜以下の白色粒 子を含む	中	7.5YR6/6 (褐色) 7.5YR6/6 (褐色) 7.5YR6/6 (褐色)	20%	



発掘 No. 図版	発掘 地区	遺構 種類	1. 法 量 h. b.	調査	土質	焼成 色調	(内面) (外面) (断面)	残存率	備考
第78図 7 図版一	B11H U	土師器 皿	(17.6) 2.2	口縁部内外面ヨコナデ、底 部内面ナデ	織紗(白色粒子)を 含む密	硬	7.5YR6/6 (褐色) 7.5YR6/6 (褐色) 7.5YR6/6 (褐色)	6%未満	
第78図 8 図版43	B11H U	土師器 蓋	(19.0) 2.0	口縁部内外面ヨコナデ、底 部内面ナデ?外面ヘラケズ リ?蓋面磨減顯著	1㎜以下の白色砂 粒を含む	中	5YR5/6 (明赤褐色) 5YR5/6 (明赤褐色) 5YR5/6 (明赤褐色)	25%	
第78図 9 図版一	B11H U	土師器 甕	(16.0) (7.75)	口縁部内外面ヨコナデ、体 部外面紅ハケ(4本/㌢)、内 面ヘラケズリ?底部内面紅 ハケ、口唇部取付	1㎜以下の赤色粒 子・白色粒子を含む	中	2.5YR4/2 (灰白色) 2.5YR5/4(にぶい赤褐色) 2.5YR3/4(にぶい赤褐色)	10%	口縁部内面 吹きこぼし 痕跡、蓋面 磨減顯著。

第96表 2023-O O 出土遺物観察表

第80図 1 図版44	B11K T	須恵器 坏身	15.2 5.1 9.6	口縁部・体部内外面ロクロ 回転ナデ、底部外面ヘラ ケズリ→底部ロ回転ナデ	緻密	硬	N6/0 (灰色) N6/0 (灰色) N6/0 (灰色)	80%	
第80図 2 図版一	B11K T	土師器 平	(11.9) (2.7)	口縁部内外面ヨコナデ	2㎜以下の白色砂 粒を多く含む	中	7.5YR7/2 (明赤褐色) 7.5YR7/3 (にぶい褐色) 7.5YR7/3 (にぶい褐色)	10%	
第80図 3 図版44	B11K T	土師器 皿	(14.5) 2.25	口縁部内外面ヨコナデ、底 部内外面ナデ、底部外側磨 減显著	1㎜以下の白色粒 を多く含む	中	5YR2 (灰白色) 5YR2 (灰白色) 5YR6/8 (明赤褐色)	40%	
第80図 4 図版44	B11K T	土師器 皿	(18.8) 1.7	口縁部内外面ヨコナデ、底 部内外面ナデ、底部外側磨 減显著	2㎜以下の白色砂 粒を含む	中	5YR5/2 (灰褐色) 5YR7/4 (にぶい褐色) 5YR7/4 (にぶい褐色)	10%	
第80図 5 図版44	B11K T	土師器 甕	(16.0) 5.1	口縁部内外面ヨコナデ、体 部外面紅ハケ(7本/㌢) 内面ナデ、口唇部取付	1㎜以下の白色砂 粒を含む、密	中	10YR6/1 (褐色) 10YR6/1 (褐色) 10YR6/2 (灰黄褐色)	10%	体部外面ス ズリ痕、口縁 部内面吹き こぼし痕跡

第97表 2024-O O 出土遺物観察表

第81図 1 図版一	B12T B	土師器 甕	— (6.2)	口縁部内外面ヨコナデ、底 部外面紅ハケ(6本/㌢)内面 磨減ハケ、蓋面磨減顯著	1㎜以下の白色砂 粒を含む	中	7.5YR6/6 (褐色) 7.5YR6/6 (褐色) 7.5YR6/6 (褐色)	3%未満	
------------------	--------	----------	------------	---	------------------	---	---	------	--

第98表 3006-O S 出土遺物観察表

第84図 1 図版44	B06G I	須恵器 坏身	12.0 3.4	口縁部内外面・底部内面ロ クロ回転ナデ、外面ヘラケ ズリ(L)	織紗粒を含む0.1 ㎜位の白色粒を少 く含む	硬	N8/0 (灰白色) N7/0 (灰白色) N6/0 (灰色)	80%	底部外面に ヘラケ跡
第84図 2 図版44	B06G H	須恵器 坏身	(10.8) 3.6	口縁部内外面・体部内面ロ クロ回転ナデ、底部外面ヘ ラケズリ(L)	1㎜～1.5㎜の白色 砂粒を含む	軟	N7/0 (灰白色) N7/0 (灰白色) N7/0 (灰白色)	30%	

第99表 3007-O S 出土遺物観察表

第86図 1 図版一	B06H J	須恵器 坏身	(13.4) 3.7	口縁部内外面・底部内面ロ クロ回転ナデ、外面ヘラケ ズリ(L)	黒色・白色粒子を 多く含む	硬	N6/0 (灰色) N4/0 (灰色) N7/0 (灰白色)	25%	
第86図 2 図版44	B06H J	須恵器 坏身	(17.0) 3.9	口縁部内外面・底部内面ロ クロ回転ナデ、外面ヘラケ ズリ(R)	白色・黒色粒子を 含む	硬	N7/0 (灰白色) 5B6/1 (青灰色) N7/0 (灰白色)	20%	
第86図 3 図版44	B06H J	須恵器 高杯	— (4.15)	底部内面・脚部内外面ロク ロ回転ナデ	2㎜以下の白色砂 粒を含む、密	硬	N7/0 (灰白色) N7/0 (灰白色) N7/0 (灰白色)	30%	脚部
第86図 4 図版44	土師 B06HK	土師器 甕	(22.2) (14.7)	口縁部内外面ヨコナデ?体 部外面紅ハケ(7本/㌢)?内 面ヘラケズリ?口唇部取付	3㎜大の砂粒を多 く含む	中	2.5YR8/3 (黄褐色) 5YR6/8 (褐色) 2.5YR8/3 (黄褐色)	12%未満	蓋面磨減著 著、調査不 明

第100表 3021-O S 出土遺物観察表

種別 No. 図版	層位 地区	遺物 種類	1. 出 土 数	2. 測 定	3. 試 験	4. 結 果	5. 色 調	6. 断面 (断面)	7. 残 存 率	8. 備 考
第98図 1 図版45	B06VN	須恵器 坏蓋	(11.7) 4.9 —	口縁部内外面・底部内面ロ クロ回転ナゲ、外面ヘラ切 り→ヘラケズリ(L)	0.1mm大の白色砂 粒を0.1~1.0mm大の 黒色砂粒を含む	硬	N6/0 N6/0 N6/0	(灰色) (灰色) (灰色)	45%	
第98図 2 図版45	B06VN	須恵器 坏蓋	12.7 4.0 —	口縁部内外面・底部内面ロ クロ回転ナゲ、外面ヘラ切 り→ヘラケズリ(L)	細砂粒を多く含む 1.0mm大の白色粒 も含む	硬	SPR7/1 (青灰色) SPB7/1 (青灰色) SPB6/1 (青灰色)		80%	
第98図 3 図版45	B06VN	須恵器 胎	(12.0) (6.8) —	口縁部内外面ロクロ回転ナ ゲ、外面に浅い沈線2本	0.5~2.0mm大の白 色砂粒を多く含む	中	N7/0 N7/0 N5/0	(灰白色) (灰白色) (灰色)	15%未満	
第98図 4 図版45	B06UN ・VN	須恵器 胎	(13.0) 3.5 —	口縁部内外面ロクロ回転ナ ゲ	0.5~1.0mm大の白 色砂粒を多く含む	中	N5/0 N5/0 N5/0	(灰色) (灰色) (灰色)	5%未満	高坏部部の 可能性有
第98図 5 図版—	B06VN ・UN	須恵器 高坏	— (8.9) (8.9)	坏部内面ナゲ、脚部内外面 ロクロ回転ナゲ、外面に浅 い沈線2本、脚部内面上半 部しぼり痕跡	2mm以下の白色砂 粒を多く含む密	硬	N6/0 N6/0 N6/0	(灰色) (灰色) (灰色)	30%	脚部 穿孔
第98図 6 図版45	B06VN	須恵器 胎	— (12.2) (11.0)	高坏内外面ロクロ回転ナ ゲ、完成後外からの穿孔2 孔以上	1mm以下の白色砂 粒を少し含む密	硬	N6/0 N6/0 N6/0	(灰色) (灰色) (灰色)	高坏部 30%弱	脚部に穿孔
第98図 7 図版44	B06VN	須恵器 胎	(25.8) (6.8) —	口縁部内外面ロクロ回転ナ ゲ、体面外側タケキ→カキ 目、体面当て具痕	1mm以下の白色粒 を含む	硬	N8/0 N8/0 N8/0	(灰白色) (灰白色) (灰白色)	7%未満	細片→0.05mm 土粒子を含む。口縁 部内外面縁部内 白色砂粒
第98図 8 図版—	B06VN	土師器 胎	(30.5) (32.0) —	口縁部内面コナゲ、内面 コナゲ→外ハット→脚部内 面コナゲ、外面ヘラケズリ →底面外側タケキ→カキ 目	径6mm以下の砂粒 を多量に含む	中	10YR8/2 (灰白色) 10Y7.5/2 (灰白色) 7.5YR7/6 (褐色)		15%未満	器面縁部 着色

第101表 3022-O S 出土遺物観察表

第99図 1 図版—	B06WN	須恵器 坏蓋	(11.0) (3.0) —	口縁部内外面ロクロ回転ナ ゲ	1mm以下の白色砂 粒を含む	硬	N6/0 N6/0 N6/0	(灰色) (灰色) (灰色)	13%未満	
第99図 2 図版—	B06WN	須恵器 坏蓋	(13.0) (3.1) —	口縁部内外面・底部内面ロ クロ回転ナゲ、外面ヘラケ ズリ	1mm以下の白色砂 粒を多く含む	硬	N7/0 N7/0 N7/0	(灰白色) (灰白色) (灰白色)	10%	
第99図 3 図版45	B06WN	須恵器 坏身	(9.0) 3.4 —	口縁部内外面・体部内面ロ クロ回転ナゲ、底面外側ヘ ラ切り→ナゲ	細砂粒を多く含む、 1.0mmの白色粒も 含む	硬	N8/0 N7/0 —	(灰白色) (灰白色) —	100%	外面自然軸 付着。 130.2g
第99図 4 図版—	B06WN ・XN	須恵器 坏身	(11.0) 3.8 —	口縁部内外面・体部内面ロ クロ回転ナゲ、底面外側ヘ ラ切り→底ヘラケズリ	2mm以下の白色砂 粒を含む	硬	N5/0 N5/0 N5/0	(灰色) (灰色) (灰色)	25%	
第99図 5 図版—	B06WN	須恵器 高坏	— (6.8) —	坏部内面ロクロ回転ナゲ、 脚部内外面ロクロ回転ナゲ 外面に浅い、沈線2本、脚 部内面上半部しぼり痕跡	1mm大の白色砂粒 を含む密	硬	10P25/1 (青灰色) 10P26/1 (青灰色) 10P25/1 (青灰色)		30%	2段2方溝 し脚部
第99図 6 図版45	B06WN	須恵器 大甕	42.6 (39.8) —	口縁部内外面ロクロ回転ナゲ →脚部内面→浅い沈線2本 1縦3単位、内面ロクロ回転 ナゲ、体部内面タケキ→カ キ目、内面当て具痕	0.5mm以下の白 色粒、5mm以下の砂 粒を含む	硬	N7/0 N8/0 —	(灰色) (灰白色) —	55%	P-1.3, 36-40, 42-45, 47- 50, 53, 59, 61 →66, 68-72
第99図 7 図版45	B06WN	土師器 胎	(10.9) (4.3) —	口縁部内外面コナゲ?胎 面磨滅顯著、測定不明	1mm以下の白色粒 子を多く含む粒子 も少なく含む	中 軟	7.5YR7/3 (にぶい褐色) 7.5YR7/2 (にぶい褐色) 7.5YR7/3 (にぶい褐色)		25%	
第99図 8 図版45	B06XN	土師器 胎	(12.0) (3.66) —	口縁部内外面コナゲ?胎 面磨滅顯著、測定不明	2mm以下の白色砂 粒を多く含む	中	7.5YR8/6 (褐色) 7.5YR8/6 (褐色) 7.5YR8/6 (褐色)		45%	底面外側に 黒色

第102表 3027-O S 出土土物観察表

標記 図版	層位 地区	器種 器形	数量 a, b.	調査	胎土	焼成 色調	(内面) (外面) (断面)	残存率	備考
第97図 1 図版一	B11A T	須恵器 杯蓋	(10.2) 2.6	口縁部内外面・底部内面 クロロ回転ナデ・外面ヘラ切 り→アツリ表面磨減顯著、 調整不明	0.5mm以下の白色 粒と黒色炭粒を含む	軟	10Y8/1 (灰白色) N8/0 (灰白色) N7/0 (灰白色)	25%	
第97図 2 図版46-47	B11B T	須恵器 杯蓋	10.5 3.3	口縁部内外面・底部内面 クロロ回転ナデ、外面ヘラ切 り未調整(凡)	1~2mm大の白色 粒を多く含む、3 mm大の灰色粒を若干 含む	軟	7.5Y7/1 (灰白色) 7.5Y7/1 (灰白色) 7.5Y7/1 (灰白色)	90%	外面ヘラ記 号
第97図 3 図版46-47	B11B P	須恵器 杯蓋	10.6 (3.5)	口縁部内外面・底部内面 クロロ回転ナデ、外面ヘラ切 り→ヘラケツル	2mm大の白色粒を 含む	硬	10Y5/1 (灰色) 10Y5/1 (灰色) 10Y5/1 (灰色)	60%	
第97図 4 図版46-47	B11B P	須恵器 杯蓋	(11.2) 3.3	口縁部内外面クロロ回転ナ デ、底部内面ナデ、外面ヘ ラ切り未調整		硬	S84/1 (黄褐色) S84/1 (黄褐色) S83/1 (黄褐色)	25%	
第97図 5 図版46-47	B11B P	須恵器 杯蓋	(11.1) (3.4)	口縁部内外面・底部内面 クロロ回転ナデ、外面ヘラ切 り→ヘラケツル	砂粒を多く含む	硬	N6/0 (灰色) N6/0 (灰色) N6/0 (灰色)	30%	
第97図 6 図版46-47	B11B P	須恵器 平身	9.15 3.28	口縁部・底部内外面クロロ 回転ナデ、底部内面ナデ、 外面ヘラ切り→一部ナテ外 面自然磨削着	白色砂粒を含む	硬	S87/1 (明黄灰色) S87/1 (明黄灰色)	100%	底部外面に ヘラ記号 148. 記
第97図 7 図版一	B11B P	須恵器 平身	(9.4) 3.2	口縁部・底部内外面クロロ 回転ナデ、底部内面ナデ、 外面ヘラ切り未調整(凡)	1~2mmの白色・ 褐色粒を含む	硬	N7/0 (灰色) N7/0 (灰色) N7/0 (灰色)	60%	
第97図 8 図版46-47	B11B P	須恵器 高年	10.9 5.2 6.8	杯蓋・胴部内外面クロロ回 転ナデ? 表面磨減顯著、調 整不明	細砂粒を含む	軟	N8/0 (灰白色) N8/0 (灰白色) N8/0 (灰白色)	80%	
第97図 9 図版一	B11B P	須恵器 高年	— (3.2) 7.3	杯蓋・胴部内外面クロロ回 転ナデ? 表面磨減顯著、調 整不明		軟	7.5Y8/1 (灰白色) 7.5Y8/1 (灰白色) 7.5Y8/1 (灰白色)	30%	
第97図 10 図版46-47	B11B P	須恵器 高年	9.6 6.1 7.4	口縁部・底部内外面クロロ 回転ナデ、底部内面ナデ、 外面ヘラケツル、胴部内外 面クロロ回転ナデ	2mm大の白色粒を 若干含む	硬	N7/0 (灰白色) N7/0 (灰白色) N7/0 (灰白色)	70%	
第97図 11 図版一	B11B P	須恵器 高年	— (5.4) 7.5	杯部内面ナデ、胴部内外面 クロロ回転ナデ、外面に洗 い流す1本		硬	S85/1 (黄灰色) S85/1 (黄灰色) S85/1 (黄灰色)	45%	胴部 胴部外面に 自然磨削着
第97図 12 図版46-47	B11B P	須恵器 蓋	15.7 23.2	口縁部内外面クロロ回転ナ デ、底部外蓋タキキ→カキ、内 面当て具風、底部内面ナデ、外 面ヘラケツル、表面磨減顯著	細砂粒を多く含む	硬	N8/0 (灰白色) N8/0 (灰白色) N8/0 (灰白色)	95%	胴部外面に ヘラ記号
第97図 13 図版46	B11A T	須恵器 蓋	(26.1) (10.2)	口縁部外蓋のクロロ回転ナ デ→タキキ1対の沈積層、内 面クロロ回転ナデ後部外蓋タ キキ→カキ、内面当て具風	1mm以下の白色砂 粒を含み	硬	N6/0 (灰色) N5/0 (灰色) S8P6/1 (紫灰色)	40%	底部に赤み
第97図 14 図版一	B11B P	土師器 高年	— (4.8)	胴部外面ナデ? 内面磨ハケ、 赤土(赤)しぼり痕跡あり、 外蓋磨減顯著	0.5~2.0mm大の白 色砂粒を含む	中	7.5Y8/3 (淡黄褐色) 10Y76/2 (灰白色) 5Y76/6 (褐色)	25%	胴部
第97図 15 図版46	B11B R	須恵器 蓋	— (56.5)	口縁部内面クロロ回転ナ デ→タキキ2対の沈積層、内 面クロロ回転ナデ、底部内面ナ デ→カキ→カキ、内面当て具 風	4.0mm以下の白色 小石・粒子を多く 含む	硬	7.5Y7/1 (灰白色) 7.5Y7/1 (灰白色) N6/0 (灰色)	65%	

第103表 3030-O S 出土土物観察表

第100図 1 図版一	B111T S	須恵器 平身	(13.2) 3.35 (10.0)	口縁部内外面・底部内面 クロロ回転ナデ、外面ヘラ切 り未調整	白色粒子を含み	硬	N7/0 (灰白色) N7/0 (灰白色) N7/0 (灰白色)	15%未満	
-------------------	---------	-----------	--------------------------	--------------------------------------	---------	---	--	-------	--

第104表 3031-O S 出土遺物観察表

探 取 区 画	層 位 地 区	器 種 形	注 量 l. h. b.	調 整	胎 土	焼 成	色 調 (内面) (外面) (断面)	残 存 率	備 考
第10002 3 図版11	B11FS	土師器 皿	(11.2) 1.85 —	口縁部内外面コナダ?器 面磨減顯著、調整不明	1mm以下の砂粒・ 赤色粒子を少量含 みぬ	中	7.5YR7/6 (褐色) 7.5YR7/6 (褐色) 7.5YR7/6 (褐色)	30%	

第105表 3032-O S 出土遺物観察表

第10002 2 図版11	B11FT	土師器 杯	(13.5) (2.7) —	口縁部内外面コナダ	0.5mm以下の白色 粒を多く含む	中	5Y8/2 (灰白色) 5Y8/2 (灰白色) 5Y8/8 (明赤褐色)	10%	
第10003 3 図版17	B11FT	土師器 皿	(13.6) 3.3 —	口縁部内外面コナダ、底 面内外面ナダ、器面磨減顯 著	3mm以下の白色小粒・ 0.5mm以下の赤褐色小粒、 2mm以下の白・赤褐 色砂粒を含む	中	7.5YR4/6 (褐色) 10YR7/2 (L5)黄褐色 7.5YR4/6 (褐色)	15%	口縁部外面 風化あり
第10003 4 図版18	B11GT	土師器 杯	(14.9) 3.2 —	口縁部内外面コナダ?器 面磨減顯著、調整不明	2mm以下の赤褐色・ 白色砂粒(シトモッ トか?)を含む	中	2.5YR6/8 (褐色) 5YR7/4 (L5)黄褐色 5YR7/4 (L5)黄褐色	25%	

第106表 3033-O S 出土遺物観察表

標 本 番 号	発 見 地 区	器 種 形	口 径 h. b.	調 査	胎 土	焼 成 色 調	(内 面) (外 面) (断面)	残 存 率	備 考
第105図 1 図版60	B11 J R	土師器 壺	口径(30.5) 器高6.4	口縁部内外面コナダ、体 部外装束ハケ、内面ヘラク ズリ? 胎土観察済	0.5~2mm大の白 灰色砂粒を含む	中	10YR4/2 (灰黄褐色) 10YR7/3 (灰白色) 2.5Y6/1 (黄灰色)	6%未満	
第105図 2 図版52	B11 J S + J R	須恵器 坏蓋	口径10.9 器高3.5	口縁・体部内外面クロクロ 回転ナダ、底部ヘラ切り未 調整(L)	粗砂粒(2~4mm 白 色)を多く含む	硬	N6/0 (灰色) N6/0 (灰色)	90%	近今調査
第105図 3 図版55	B11 J S	須恵器 坏身	口径(9.2) 器高3.7	口縁部内外面・体部内面 クロクロ回転ナダ、底部ヘラ切 り→回転ヘラクスリ(R)	粗砂粒を多く含む	硬	N7/0 (灰白色) N7/0 (灰白色)	90%	外面自然剥 け
第100図 4 図版56	B11 J S	須恵器 坏身	口径9.1 器高3.6	口縁・体部内外面クロクロ 回転ナダ、底部ヘラ切り未 調整(R)	粗砂粒を多く含む	硬	N7/0 (灰白色) N7/0 (灰白色)	100%	
第105図 5 図版56	Aデ B11 J S	須恵器 坏身	口径(9.6) 器高3.9	口縁・体部内外面クロクロ 回転ナダ、外面ヘラ切り未 調整(R)	2mm以下の白色砂 粒を含む	硬	N7/0 (灰白色) N6/0 (灰色) N7/0 (灰白色)	40%	近今調査
第104図 6 図版56	B11 J S	須恵器 坏身	口径(10.1) 器高(3.6)	口縁・体部内外面クロクロ 回転ナダ、底部ヘラ切り未 調整(R)	0.5~1mm大の白 色砂粒を含む	硬	N5/0 (灰色) N5/0 (灰色) 7.5Y8/1 (灰白色)	25%	
第105図 7 図版56	B11 J S	須恵器 坏身	口径(11.3) 器高4.2	口縁・体部内外面クロクロ 回転ナダ、底部外面ヘラ切 り→ナダ	2~5mm以下の白 ・黒・茶色砂粒を含む	硬	N8/0 (灰白色) N8/0 (灰白色)	45%	
第100図 8 図版119	B11 J S	須恵器 壺	口径(17.2) 器高(4.1)	口縁部内外面クロクロ回転 ナダ	0.1~1.0mm大の白 色砂粒を含む	硬	N5/0 (灰色) 5PB5/1 (青灰色) N7/0 (灰白色)	6%	外面へつ記 号
第100図 9 図版1	B11 J S	土師器 甕	口径(18.2) 器高(7.7)	口縁部内外面コナダ、体部 内ナダ、内面ヘラクスリ→ハ ジメ、体部内面2段放射線 文・観察済	0.5~2mm大の白 色砂粒を多く含む 0.5~2mm大の黒 色砂粒を含む	中	10YR8/2 (灰白色) 2.5YR5/6 (明赤褐色) 2.5YR6/6 (褐色)	15%未満	
第105図 10 図版61	B11 J S	土師器 高坏	口径(8.3) 器高10.2	頸部外面ヘラクスリ、内 面ナダ、底部外面ナダ、口 部若干痕多数あり、内面命目 注	0.5~2.0mm大の白 ・灰・褐色砂粒を多 く含む	中	5YR7/8 (褐色) 5YR6/6 (褐色) 5YR5/8 (明赤褐色)	50%	脚部
第100図 11 図版59	Aデ B11 J S	土師器 壺	口径(28.8) 器高(10.4)	口縁部内外面コナダ、体 部内面ヘラクスリ、外面ナ ダ? 胎土観察済	0.5~5.0mm大の白 色砂粒を多く含む	中	7.5YR7/4 (C.I.褐色) 5YR7/4 (C.I.褐色) 10YR8/2 (灰白色)	4%未満	
第105図 12 図版62	B11 K T	土師器 鉢	口径(19.1) 器高11.1	口縁部内外面コナダ、体 部内外面ナダ? 胎土観察済	0.5~4mm大の白 ・灰・褐色砂粒を 多く含む	やや 軟	5YR6/4 (C.I.褐色) 5YR6/4 (C.I.褐色)	20%	
第105図 13 図版一	B11 K T	須恵器 坏身	口径10.9 器高4.0	口縁・体部内外面クロクロ 回転ナダ、底部内面ナダ、外 面ヘラ切り未調整(R)	白色粗砂粒を多く 含む	硬	N6/0 (灰色) N6/0 (灰色) N7/0 (灰白色)	60%	
第105図 14 図版32	B11 K S (地区不明)	須恵器 坏身	口径(10.1) 器高3.5	口縁・体部内外面クロクロ 回転ナダ、底部外面ヘラ切 り→ヘラクスリ(R)	2~3mm以下の白・ 黒色砂粒を含む	硬	N6/0 (灰色) N6/0 (灰色) N7/0 (灰白色)	50%	
第105図 15 図版52	B11 K S	須恵器 坏身	口径(16.4) 器高3.2	口縁・体部内外面クロクロ 回転ナダ、底部外面ヘラ切 り→ヘラクスリ(R)・ナダ	2mm以下の白・黒 色砂粒を含む	硬	N7/0 (灰白色) 7.5Y7/1 (灰白色) N7/0 (灰白色)	60%	
第100図 16 図版32	B11 K S	須恵器 坏蓋	口径(10.6) 器高3.4	口縁・体部内外面クロクロ 回転ナダ、底部外面ヘラ切 り(L)→ナダ	1~2mm以下の白 色砂粒を多く含む	硬	N6/0 (灰色) N7/0 (灰白色) N6/0 (灰色)	40%	
第105図 17 図版56	B11 K S	須恵器 坏身	口径(8.4) 器高3.3	口縁・体部内外面クロクロ 回転ナダ、底部外面ヘラ切 り→ヘラクスリ(R)	1mm以下の白・黒 色粒を含む	硬	N8/0 (灰白色) N7/0 (灰白色) N6/0 (灰色)	40%	
第105図 18 図版58	B11 K S	須恵器 坏身	口径(9.4) 器高3.0	口縁・体部内外面クロクロ 回転ナダ、底部外面ヘラ切 り未調整(L)	2~4mm以下の白 色砂粒を含む	硬	N7/0 (灰白色) N7/0 (灰白色) N6/0 (灰色)	40%	

種 別 品 名	層 位 地 区	種 類 特 徴	1. 出 産 量 a, b.	調 整	胎 土	焼 成 色 調	(内面) (外面) (断面)	残 存 率	備 考
第10600 19 図説36	B11K S	須恵部 坏身	口径10.0 器高3.6 底径7.0	口径・体部内外面ロクロ回転ナデ。底部外面へラ切りナデ	1～4mmの白・灰・黒色粒を含む	硬	N4/0 (灰色) N4/0 (灰色) 10YR5/4 (暗褐色)	86%	西側側溝より出土
第10600 20 図説36	B11K S	須恵部 坏身	口径(9.7) 器高3.6	口径・体部内外面ロクロ回転ナデ。底部外面へラ切りナデ	0.5～1.0mm大の白色砂粒を含む	中	N7/0 (灰白色) N7/0 (灰白色) N7/0 (灰白色)	40%	西側側溝より出土
第10600 21 図説36	B11K S	須恵部 坏身	口径(9.6) 器高3.3	口径・体部内外面ロクロ回転ナデ。底部外面へラ切りナデ	2mm以下の白・黒色砂粒を含む	硬	N8/0 (灰白色) N7/0 (灰白色) N8/0 (灰白色)	35%	
第10600 22 図説—	B11K S	須恵部 坏身	口径(10.3) 器高3.1 底径(6.0)	口径・体部内外面ロクロ回転ナデ。底部外面へラ切りナデ	断面	硬	N7/0 (灰白色) N7/0 (灰白色) 2.5YR5/4 (紅黄褐色)	20%	年(G)の可能性あり、器小断片
第10600 23 図説36	B11K S	須恵部 坏身	口径(9.4) 器高3.75	口径・体部内外面ロクロ回転ナデ。底部外面へラ切り未調整(L)	0.1～1.0mm大の白色砂粒を含む	硬	5YR4/1 (暗黄灰色) N6/0 (灰白色) 2.5YR5/2 (灰赤色)	80%	
第10600 24 図説36	B11K S	須恵部 坏身	口径(10.4) 器高3.7	口径・体部内外面ロクロ回転ナデ。底部内面ナデ。外面へラ切り(L)ナデ	0.1～1.0mm大の白色砂粒を含む	硬	N6/0 (灰色) N7/0 (灰白色) N6/0 (灰色)	80%	
第10600 25 図説36	B11K S	須恵部 坏身	口径(11.6) 器高4.0	口径・体部内外面ロクロ回転ナデ。底部外面へラ切り未調整(L)	白色粒子を含む	硬	N7/0 (灰白色) N7/0 (灰白色) 7.5YR/3 (紅黄褐色)	25%	西側側溝より出土、やや歪む
第10600 26 図説37	B11K S	須恵部 坏身	口径(11.9) 器高4.0	口径・体部内外面ロクロ回転ナデ。底部外面へラ切りナデ	2mm以下の白・黒色粒子を含む	硬	N7/0 (灰白色) N7/0 (灰白色) N7/0 (灰白色)	45%	やや歪む、外面大溝
第10600 27 図説—	B11K S	須恵部 坏身	口径(13.9) 器高5.1 底径(8.6)	口径・体部内外面ロクロ回転ナデ。底部外面へラ切り・ヘラズリ・ロクロ回転ナデ	2～4mm以下の白色砂粒を含む	硬	N7/0 (灰白色) N5/0 (灰色) N7/0 (灰白色)	40%	
第10600 28 図説61	B11K S	須恵部 高坏	口径(13.4) 器高(12.0)	坏底内面ナデ、脚内外面ロクロ回転ナデ	0.1～1.0mm大の白色砂粒を多く含む、0.1～2.0mm大の灰色砂粒を多く含む	硬	N8/0 (灰白色) N8/0 (灰白色) N7/0 (灰白色)	脚部 20%	脚部
第10600 29 図説—	B11K S	須恵部 皿	口径(25.0) 器高(1.2)	口径内外面、体部内外面ロクロ回転ナデ。体部外面へラズリ(L)	2.0mm以下の白色砂粒を含まず	中	N7/0 (灰白色) N7/0 (灰白色) N7/0 (灰白色)	3%未満	
第10600 30 図説—	B11K S	須恵部 模灰	口径(15.3) 器高(9.5)	口径内外面ロクロ回転ナデ。体部外面ナデ→ヘラ目、内面当て具度	0.1～1.5mm大の白色砂粒を含む	硬	N6/3 (灰色) N4/0 (灰色) N7/0 (灰白色)	6%未満	
第10600 31 図説94	B11K S	須恵部 長筒甗	口径(9.8) 器高(8.8)	口径内外面ロクロ回転ナデ	1.0～2.0mm位の白・黒色砂粒を含む	硬	7.5YR/1 (灰色) 7.5YR/1 (灰色) 7.5YR/1 (灰色)	25%未満	内外面自然粘付着
第10600 32 図説—	B11K S	須恵部 平灰	口径(12.5) 器高(11.9)	口径部・体部内外面ロクロ回転ナデ	0.1～1.5mm大の白・黒色砂粒を含む	硬	N7/0 (灰白色) 10Y5/1 (灰色) N7/0 (灰白色)	5%未満	口径・体部内外面自然粘付着
第10600 33 図説62	B11K S ・L T	須恵部 鉢	口径(25.0) 器高(17.7) 底径(12.2)	口径部・体部内外面ロクロ回転ナデ。底部外面へラズリ?器面磨減顯著	2.0mm以下の白・黒色粒子を多く含む	軟	N8/0 (灰白色) N8/0 (灰白色) N8/0 (灰白色)	30%	S041-OXと整合(B11LT)
第10600 34 図説98	B11K S	土師部 坏	口径(15.0) 器高4.9	口径内外面ヨコナデ。器面磨減顯著	0.5～1.0mm大の白色、2.0mm大の灰色砂粒を含む	中	10YR5/4 (紅黄褐色) 10YR5/3 (紅黄褐色) 7.5YR5/6 (暗褐色)	75%	
第10600 35 図説36	B11K S	土師部 坏	口径(17.3) 器高5.0	口径内外面ヨコナデ。器面へラズリ→ヘラ目。器面内面ナデ。底部外面へラズリ→ヘラ目(L)。器面内面磨減顯著	0.5～1.0mm大の白色、灰色砂粒を含む	中	5YR5/6 (藍色) 2.5YR5/6 (暗赤褐色) 5YR5/6 (藍色)	55%	磨減顯著
第10600 36 図説39	B11K S ・G R	土師部 坏	口径(16.7) 器高(7.9)	口径内外面ヨコナデ。器面内面ナデ(12%)、口径内外面ヨコナデ→ヘラ目(8%)、器面内面ナデ(8%)、器面内面磨減顯著、未調整	0.5～3.0mm大の白・黒・赤色砂粒を含む	軟	5YR5/3 (藍色) 2.5YR/3 (黄褐色) 2.5YR/2 (灰白色)	10%未満	S041-OXと整合(B11GR)口径内外面自然粘着
第10700 37 図説92	B11LT ・H R ・I S	須恵部 皿	口径(26.9) 器高5.3	口径内外面ロクロ回転ナデ。外面へラズリ(L)	2.0mm以下の砂粒を含まない	軟	N8/0 (灰白色) N8/0 (灰白色) N8/0 (灰白色)	25%	S041-OXと整合(B11LR)口径内外面へラ切り

種別 品名	部位 地区	器種 形状	1- b. 注 量	調整	動土	構成 色調	(内面) (外面) (動土)	残存率	備考
第10708 図版57	B11LT	演奏部 年身	口径(16.5) 管高3.4	口縁・体部内外面コロロ回転ナダ、底部外面へラ切り未調整(R)	1.0-2.0mm以下の白色砂粒を多く含む	硬	N5/0 (灰色) N6/0 (灰白色) N6/0 (灰色)	40%	
第10709 図版57	膝下脚 B11LT	演奏部 年身	口径9.8 管高3.9	口縁・体部内外面コロロ回転ナダ、底部外面へラ切り未調整(R)	調査	硬	N8/0 (灰白色) N7/0 (灰白色)	50%	
第10710 図版57	B11LT	演奏部 年身	口径(10.7) 管高1.0	口縁・体部内外面コロロ回転ナダ、底部外面へラ切りヘラズリ(R)	1mm以下の白色砂粒を含む	硬	N6/0 (灰色) N7/0 (灰白色) N6/0 (灰色)	35%未満	
第10711 図版57	膝上脚 B11LT	演奏部 年身	口径11.4 管高3.8	口縁・体部内外面コロロ回転ナダ、底部外面へラ切り未調整(R)	3.0mm大の白色粒を多く含む	硬	N8/0 (灰白色) 5Y6/1 (灰色)	80%	
第10712 図版57	B11LT	演奏部 年身	口径(15.3) 管高(4.0)	口縁・体部内外面コロロ回転ナダ、底部外面へラ切り(R)→ナダ、体部外面に灰い沈積2本	1-3mmの白・黒色砂粒を多く含む	硬	N7/0 (灰白色) N7/0 (灰白色) N7/0 (灰白色)	95%	
第10713 図版60	B11LT	演奏部 残	口径11.9 管高4.5 底径6.6	口縁・体部内外面コロロ回転ナダ、底部外面へラ切り→コロロ回転ナダ	0.1-2.0mm位の白・灰色砂粒あり	中	N8/0 (灰白色) N8/0 (灰白色) N8/0 (灰白色)	80%	S64-OX と層合 (B11LT)
第10714 図版63	B11LT	演奏部 遺	口径(23.7) 管高(19.2)	口縁部内面→コロロ回転ナダ、体部上下内外面→ナダ・非調整、体部下部内外面→ナダ・非調整の破片で構成、体部外面に灰い沈積2本	1.0mm以下の白色粒と2.0mm以下の灰色粒を含む	硬	N6/0 (灰色) N6/0 (灰白色) N8/0 (灰白色)	25%	
第10715 図版66	B11LT + J R + J S	演奏部 遺	口径(17.8) 管高(17.4)	口縁部内外面コロロ回転ナダ、体部外面→ナダ、内面当て具成	0.5-2.0mm位の灰色砂粒を含む	軟	N8/0 (灰白色) N6/0 (灰色) N8/0 (灰白色)	35%	
第10716 図版一	B11LT	十指部 年	口径(16.8) 管高6.4	口縁部内外面コロロ回転ナダ、器面磨滅著、調整不明	0.5mm大の白色砂粒を含む	中	7.5YR7/6 (褐色) 5YR6/6 (褐色) 5YR6/6 (褐色)	12%未満	
第10828 図版52	B11MT	演奏部 年遺	口径9.9 管高2.9	口縁・体部内外面コロロ回転ナダ、底部へラ切り→ナダ	0.5-1.5mm大の白色砂粒を含む	中	N7/0 (灰白色) N6/0 (灰白色) N7/0 (灰白色)	95%	
第10829 図版52	B11MT	演奏部 年遺	口径(10.9) 管高3.5	口縁・体部内外面コロロ回転ナダ、底部へラ切り未調整(L)	0.5-1.5mm大の白・灰色砂粒を含む	中	N7/0 (灰白色) N7/0 (灰白色) N7/0 (灰白色)	50%	
第10830 図版52	B11MT	演奏部 年遺	口径(12.3) 管高3.6	口縁・体部内外面コロロ回転ナダ、底部へラ切り→ナダ?	0.5-1.5mm大の白・灰色砂粒を含む	軟	N8/0 (灰白色) N8/0 (灰白色) N8/0 (灰白色)	65%	
第10831 図版一	上脚 B11MT	演奏部 年遺	口径(10.2) 管高(2.2)	口縁部内外面・体部内面コロロ回転ナダ、底部外面へラクスリ(L)	0.5mm大の白色砂粒を含む	やや軟	N8/0 (灰白色) N8/0 (灰白色) N6/0 (灰色)	45%	
第10832 図版57	B11MT	演奏部 年身	口径10.0 管高3.7	口縁・体部内外面コロロ回転ナダ、底部外面へラ切り→ナダ	0.5-1.5mm大の白色砂粒を含む	硬	N8/0 (灰白色) N7/0 (灰白色) 5Y4/1 (灰白色)	90%	外面自然剥離
第10833 図版57	B11MT	演奏部 年身	口径10.7 管高3.8	口縁・体部内外面コロロ回転ナダ、底部外面へラ切り未調整(R)	4.0mmの白色粒を含む	硬	N7/0 (灰白色) N7/0 (灰白色) N7/0 (灰白色)	70%	
第10834 図版一	B11MT	演奏部 年身	口径(11.4) 管高4.96	口縁・体部内外面コロロ回転ナダ、底部外面へラ切り→ナダ	0.5-1.0mm大の白色砂粒を含む	中	N7/0 (灰白色) N6/0 (灰色) N7/0 (灰白色)	45%	底部外面へラ記号
第10835 図版一	上脚 B11MT	演奏部 年身	口径(10.0) 管高3.8	口縁・体部内外面コロロ回転ナダ、底部外面へラ切り→ナダ	0.5mm大の白色砂粒を含む	硬	N6/0 (灰白色) N7/0 (灰白色) N8/0 (灰白色)	25%	
第10836 図版57	上脚 B11MT	演奏部 年身	口径10.1 管高4.0 底径7.6	口縁部内外面・体部内面コロロ回転ナダ、体部外面へラクスリ(R)、底部外面へラ切り→ナダ	0.5-1.5mm大の白色砂粒を含む	中	N8/0 (灰白色) N7/0 (灰白色) N8/0 (灰白色)	90%	
第10837 図版57	B11MT	演奏部 年身	口径(10.4) 管高4.1	口縁・体部内外面コロロ回転ナダ、底部外面へラ切り→ナダ? 器面磨滅著	0.5-1.0mm大の白・灰色砂粒を含む	軟	2.5Y7/3 (黄褐色) 2.5Y7/4 (黄褐色) 2.5Y7/3 (黄褐色)	80%	

界 区 図 号	界 区 地 区	界 区 地 区	1. 法 量 a, b.	調 整	土 質	地 況	色 調 (内面) (外面) (断面)	現 存 率	備 考
第10902 57 図説90	上層 B11MT	湧出部 平 地	口径14.1 容高4.8 底径9.1	口縁・体部内外面ロクロ回転ナツテ、底部外面ヘラクリンヘラケズリノロクロ回転ナツテ	0.5~1.5m大の白色砂粒を含む	中	N6.0 (灰色) N7.0 (灰白色) 7.5R2-2 (藍青色)	75%	
第10902 58 図説90	B11MT	湧出部 平 地	口径(13.7) 容高(4.0)	口縁・体部内外面ロクロ回転ナツテ、底部外面ヘラクリンヘラケズリノロクロ回転ナツテ	0.5~3.0m大の白・灰色砂粒を含む	中	5B5-1 (青灰色) 5B5-1 (青灰色) 10R3-2 (淡赤色)	50%	
第10902 59 図説92	B11MT + L5	湧出部 平 地	口径(20.4) 容高(3.4)	口縁・体部内外面ロクロ回転ナツテ、底部外面ヘラクリンノリ	0.5m大の白色砂粒を含む、6mm角の礫も含まれる	軟	N8.0 (灰白色) N8.0 (灰白色) N6.0 (灰色)	10%未満	5041-OX と同一産体 (B11L5)
第10902 60 図説92	B11MT	湧出部 平 地	口径(23.8) 容高(5.2)	口縁・体部内外面ロクロ回転ナツテ、底部外面ヘラクリンノリノ断面観察用	0.5~3.0m大の白・灰色砂粒を含む	軟	N8.0 (灰白色) N8.0 (灰白色) N8.0 (灰白色)	40%	
第10902 61 図説92	B11MT	湧出部 平 地	口径(15.6) 容高2.5 底径(8.5)	口縁部内外面・体部外面上平部、内面ロクロ回転ナツテ、体部外面下平部・底部ヘラケズリノ断面観察用	0.5m大の白色砂粒を含む	軟	7.5Y6-1 (灰色) 7.5Y8-1 (灰白色) 7.5Y6-1 (灰色)	45%	
第10902 62 図説92	B11MT	湧出部 平 地	口径(21.7) 容高2.5 底径(10.8)	口縁部内外面・体部外面上平部、内面ロクロ回転ナツテ、体部外面下平部・底部ヘラケズリノ断面観察用	0.5~1.0m大の白色砂粒を含む	軟	N3.0 (暗灰色) N3.0 (暗灰色) N6.0 (灰色)	10%	
第10902 63 図説94	上層 B11MT	湧出部 平 地	口径(17.9) 容高(17.9)	口縁部内外面・体部外面上平部・体部内面ロクロ回転ナツテ、体部外面下平部ヘラクリンノ断面観察用	2.0m以下の白色粒を含む	硬	N7.0 (灰白色) N7.0 (灰白色) N4.0 (灰色)	55%	体部外面自然発着
第10902 64 図説95	B11MT	湧出部 平 地	口径(22.1)	外面タナキ・タナキ日、内面当り具残	1.0~4.0m大の白色砂粒を含む	硬	N8.0 (灰白色) N8.0 (灰白色) N8.0 (灰白色)	70%	
第10902 65 図説一	上層 B11MT	湧出部 傾 斜	口径(19.0) 容高(3.1)	口縁部内外面ロクロ回転ナツテ、断面内面当り具残	0.5~1.5m大の灰色砂粒を含む	中	N5.0 (灰色) N4.0 (灰色) N5.0 (灰色)	30%未満	口縁部内面ヘラクリン
第10902 66 図説一	B11MT	湧出部 傾 斜	口径(21.8) 容高(4.0)	口縁部内外面ロクロ回転ナツテ	0.5~1.0m大の白・灰色砂粒を含む	中	N5.0 (灰色) N4.0 (灰色) N5.0 (灰色)	5%未満	
第10902 67 図説95	B11MT + NU	湧出部 平 地	口径(15.5) 容高7.9	口縁部内外面・体部外面上平部・体部内面ロクロ回転ナツテ、断面内面下平部ヘラクリンノリ、底部外面ヘラクリンノリ、断面観察用	白色砂粒を含む	硬	N8.0 (灰白色) N8.0 (灰白色) N8.0 (灰白色)	90%	断面外面・体部外面上平部自然発着
第10902 68 図説一	上層 B11MT	湧出部 平 地	口径(13.0) 容高8.8	口縁部内外面・体部外面上平部・体部内面ロクロ回転ナツテ、断面内面下平部ヘラクリンノリ、断面観察用	白色砂粒を含む	硬	N6.0 (灰色) N6.0 (灰色) N4.0 (灰色)	60%	
第10902 69 図説95	B11NT + NT	湧出部 傾 斜	口径(8.5) 容高(8.5)	体部内外面ロクロ回転ナツテ、断面外面ヘラクリンノリ、断面観察用	0.5~3.0m大の灰色砂粒を多く含む、5.0mm角の小石も含む	中	N6.0 (灰色) N5.0 (灰色) N5.0 (灰色)	40%未満	断面部に径約3.0mの穿孔孔
第10902 70 図説92	上層 B11MT + NT	湧出部 傾 斜	口径(9.4) 容高(8.0)	口縁部内外面ロクロ回転ナツテ、断面外面ヘラクリンノリノ断面観察用	0.5~2.0m大の白・灰色砂粒を含む	軟	7.5Y8-1 (灰白色) 7.5Y8-1 (灰白色) 5Y8-1 (灰色)	40%	B11MT
第10902 71 図説一	B11MT	土層部 平 地	口径(10.4) 容高3.5	口縁部内外面ロクロ回転ナツテ、断面観察用、調整不明	0.5m大の白色砂粒、赤色砂粒を多く含む	中	10YR8-1 (灰白色) 2.5Y8-2 (灰白色) 5YR8-6 (褐色)	10%未満	
第10902 72 図説一	B11MT	土層部 平 地	口径(19.6) 容高(3.0)	口縁部内外面ロクロ回転ナツテ、断面観察用、調整不明	0.5m大の白色砂粒を含む	中	2.5Y8-2 (灰白色) 2.5Y8-2 (灰白色) 7.5YR4/4 (褐色)	10%	口縁部外面黒炭
第10902 73 図説95	B11MT	土層部 傾 斜	口径(14.1) 容高(1.0)	口縁部内外面ロクロ回転ナツテ、断面外面ヘラクリンノリ、断面観察用	2.0mm未満の赤・白砂子、チャート、小石等を含む	中	10YR7/2 (赤い・黄褐色) 10YR7/2 (赤い・黄褐色) 5YR5/4 (赤い・黄褐色)	65%	体部外面スス付着
第10902 74 図説一	B11MT	土層部 傾 斜	口径(25.2) 容高(6.9)	口縁部内外面ロクロ回転ナツテ、断面外面ヘラクリンノリ	0.5~1.0m大の白・灰色砂粒・断面観察用を含む	中	10YR4-2 (深黄褐色) 10YR7/2 (赤い・黄褐色) 7.5YR7/4 (赤い・黄褐色)	6%	
第10902 75 図説一	B11MT	土層部 傾 斜	口径(20.7) 容高(13.1)	口縁部内外面ロクロ回転ナツテ、断面外面ヘラクリンノリ	3.0mm以下の小石を含む	中	5YR7/4 (赤い・褐色) 5YR7/4 (赤い・褐色) 5YR7/4 (赤い・褐色)	25%	体部外面黒炭あり、スス付着



採掘 No. 国名	所在地	設備 種類	1. 容量 h, b.	調整	給土	機 械 色 調	(内面) (外面) (前面)	残存率	備 考
第11005 76 国名72	B11MT	土師製 業	口径(31.4) 筒高(10.6)	口縁部内外面ヨコナデ、体 部外面斜ハテ(12m/φ)内 面へラケズリ、脚部内面斜 ハテ(12m/φ)	0.5~3.0m大の白・ 灰色砂粒を多く含む	中	5Y6/1 (灰色) 2.5Y6/1 (灰白色) 5Y6/1 (灰色)	5%未満	
第11006 77 国名66	B11MT	炭素製 業	口径(19.6) 筒高29.0	口縁部外面黒クロ回転ナ デ、体部外面ダケキ→カキ 目、内面当て具履	1.0~2.0m位の赤・ 灰色砂粒を含む	中	N8/0 (灰白色) N7/0 (灰白色) N8/0 (灰白色)	30%	
第11007 78 国名66	第2層 B11MT -FR+PX	炭素製 業	口径24.2 筒高(27.5)	口縁部内外面黒クロ回転ナ デ、体部外面ダケキ→カキ 目、内面当て具履	0.5~2.0m位の灰 色砂粒を含む	中	N8/0 (灰白色) N8/0 (灰白色) N8/0 (灰白色)	40%	B11XR -MT -PX
第11008 79 国名58	B11NU	炭素製 研身	口径(9.9) 筒高3.9	口縁部・体部内外面黒クロ 回転ナデ、体部外面へラ切 り→ナデ	0.5m大の白色砂 粒を含む	中	N7/0 (灰白色) N7/0 (灰白色) N4/0 (灰色)	55%	
第11009 80 国名65	B11NU	炭素製 業	口径(11.7) 筒高(1.4) 底径4.0	体部外面上半部・内面ロケ ク回転ナデ、体部外面下半 部・底部外面手持ちラケズ リ	0.5~1.5m大の白 色砂粒を含む	中	N7/0 (灰白色) N7/0 (灰白色) N6/0 (灰色)	40%	体部外面上 半部自然磨 け付着
第11010 81 国名一	中層 B11NU	炭素製 業	口径(7.8) 筒高(10.8)	体部内面・脚部内外面黒ク ロ回転ナデ、体部外面へラ ケズリ(R)	0.5~2.0m大の白 色砂粒を含む	硬	N8/0 (灰白色) N7/0 (灰白色) N6/0 (灰色)	5%未満	
第11011 82 国名一	B11NU	炭素製 研身	口径(19.3) 筒高(20.1)	口縁部内外面・体部外面上 半部・内面ロケク回転ナデ、 体部外面下半部へラケズリ (R)口唇部粗取	0.1~2.0m位の白・ 灰色砂粒を含む	軟	7.5Y6/1 (灰色) 7.5Y6/1 (灰色) 7.5Y6/1 (灰色)	10%未満	
第11012 83 国名69	B11NU	土師製 業	口径(22.5) 筒高(7.7)	口縁部内外面ヨコナデ、体 部外面斜ハテ(9m/φ)内面 ヨコナデ(9m/φ)	0.5~1.5m大の白 色、0.5~2.5m大 の灰色褐色砂粒を含む	中	2.5Y6/2 (灰白色) 10YR6/1 (灰白色) 7.5YR6/6 (褐色)	3%	口縁部内外 面自然磨け 付着
第11013 84 国名一	B11NU	炭素製 業	口径(38.8) 筒高(13.0)	口縁部外面黒クロ回転ナデ →ヘラ極次繰文、内面黒ク ロ回転ナデ	0.5~3.0m位の白・ 黒色砂粒を含む	硬	7.5Y4/1 (灰色) 5Y4/3 濁りラフ色 5Y7/1 (灰白色)	5%未満	
第11014 85 国名一	B11NU -MT+OX -LT	炭素製 研身	口径(36.2) 筒高(15.4)	口縁部外面黒クロ回転ナデ →極次繰文(4.8単位)→ヘラ 極次繰文、内面黒クロ回転 ナデ	0.5~7.0m大の白 色砂粒を含む	硬	N7/0 (灰白色) N4/0 (灰色) N7/0 (灰白色)	25%	
第11015 86 国名66	B11OU	炭素製 研身	口径(10.5) 筒高2.9	口縁部・体部内外面黒クロ 回転ナデ、体部外面へラ切 り(L)→ナデ	0.5~2.0m位の白・ 黒色砂粒を含む	中	N6/0 (灰色) N6/0 (灰色) N6/0 (灰色)	55%	
第11016 87 国名一	B11OU	炭素製 研身	口径(9.7) 筒高(3.4) 底径(7.2)	口縁部・体部内外面黒クロ 回転ナデ、底部外面へラ切 り→ナデ	0.5~1.0m大の白 色砂粒を含む	中	N8/0 (灰白色) N6/0 (灰色) N6/0 (灰色)	15%	口縁部外面 自然磨け付 着
第11017 88 国名58	B11OU	炭素製 研身	口径(11.2) 筒高4.4	口縁部・体部内外面黒クロ 回転ナデ、体部外面へラ切 り未調整(R)	2.0m以下の白・ 黒色砂粒を含む	硬	N7/0 (灰白色) N7/0 (灰白色) N6/0 (灰色)	30%	
第11018 89 国名55	B11OU	炭素製 研身	口径9.0 筒高2.8	口縁部・体部内外面黒クロ 回転ナデ、底部外面へラ切 り未調整(R)	0.1~2.0m位の細 粒を多く含む	硬	N7/0 (灰白色) N7/0 (灰白色) N7/0 (灰白色)	100%	107.6g
第11019 90 国名一	B11OU	炭素製 高研	口径(10.0) 筒高(10.0)	脚部内外面黒クロ回転ナデ、 外面に底盤2本	0.1~3.0m大の白 色砂粒を含む	硬	N4/0 (灰色) N4/0 (灰色) 5P6/1 (黄灰色)	20%	脚部 底盤2枚2 方通し
第11020 91 国名一	B11OU -PY(V)	炭素製 研身	口径(14.4) 筒高6.7	口縁部内外面黒クロ回転ナ デ、脚部外面の一部に底状 土、体部内面ダケキ→カキ 目、内面当て具履	2.0m以下の白色 砂粒を含む	硬	10YR5/1 (灰色) N7/1 (灰白色) N7/1 (灰白色)	8%未満	口縁部・体 部外面自然 磨け付着
第11021 92 国名一	B11OU	炭素製 研身	口径(22.2) 筒高(4.5)	口縁部内外面黒クロ回転ナ デ	0.5m大の白色砂 粒を含む	硬	N6/0 (灰色) N4/0 (灰色) N6/0 (灰色)	5%未満	
第11022 93 国名66	下層 B11OU -ON+PH -B12VA	炭素製 業	口径(27.1) 筒高(12.7)	口縁部外面黒クロ回転ナデ →ヘラ繰文、口縁部内面黒 クロ回転ナデ、脚部内面当 て具履	1.0m以下の白 色粒を2.0~3.0m の白色粒も少し含 む	硬	N3/0 (暗灰色) N3/0 (暗灰色) — (黒色)	20%未満	B11RX 4901-O取 と融合 (B12VA)
第11023 94 国名一	下層 B11OU	炭素製 研身	口径(9.5) 筒高(9.2)	体部外面上半部・体部内面 黒クロ回転ナデ、体部外面 下半部・底部外面へラケズ リ(R)底部内面ナデ	0.5~3.0m大の白 色砂粒を含む	硬	N5/0 (灰色) N6/0 (灰色) 7.5R4/2 (灰白色)	15%未満	底部外面へ ラケ付着

種別 記号 図番	地位 地区	築造 形状	法 量 h, b,	調整	胎土	焼成	色調 (内面) (外面)	残存率	備考
第11200 95 図説—	B11OV	須恵焼 壺	口径(13.2) 器高(5.6)	口縁部内外面ロクロ回転ナ ズ、腹部外面ナキ目、口縁 部外面に沈線2本	0.5~2.0mm位の白 色砂粒を含む	中	N6/0 (灰色) N5/0 (灰色) 7.5Y7/1 (灰白色)	5%未満	
第11200 96 図説—	B11OX	須恵焼 壺	口径(13.2) 器高(5.6)	口縁部・体内外外面ロクロ 回転ナズ	3.0mm以下の白色 砂粒を含む	中	S87/1 (明黄灰色) S87/1 (明黄灰色) SP83/1 (黄灰色)	15%未満	
第11200 97 図説55	B11RW	須恵焼 坏身	口径(10.0) 器高2.95	口縁部・体内外外面ロクロ 回転ナズ、底部外面へウ切 り本調整(R)	0.1~1.5mm大の白 色砂粒を含む	硬	N7/0 (灰白色) N7/0 (灰白色) N7/0 (灰白色)	45%	
第11200 98 図説96	下層 B11RW + SX 別紙96	須恵焼 壺	口径(19.1) 器高(7.2)	口縁部内外面ロクロ回転ナ ズ、体外面タタキ・ナキ 目、内面出て具異	1.0mm以下の白色 砂粒を含む	硬	N7/0 (灰白色) N7/0 (灰白色) N7/0 (灰白色)	15%未満	B11SX・ B12UA 腹部外面へ ウ切り
第11200 99 図説—	B11NY	須恵焼 坏身	口径(12.9) 器高(5.3) 底径6.6	口縁部・体内外外面ロクロ 回転ナズ、底部外面へウ切 りナメナズ	1.5mm以下の白色 粒を含む	硬	N8/0 (灰白色) N8/0 (灰白色) N8/0 (灰白色)	35%	外面自然 釉付着
第11300 100 図説61	B11NY	須恵焼 高年	口径(6.4) 底径(13.4)	坏部内面ナズ、脚部内外面 ロクロ回転ナズ	0.5~1.0mm大の白 色砂粒を含む	中	N7/0 (灰白色) N7/0 (灰白色) N7/0 (灰白色)	20%未満	脚部部
第11300 101 図説62	下層 B11NY	須恵焼 短脚壺	口径(10.2) 器高8.3	口縁部・体内外面上部・ 内面ロクロ回転ナズ、体部 外面下部・底部外面へラ ケズリ(L)	0.5~2.0mm大の白 色砂粒を含む	硬	N7/0 (灰白色) N7/0 (灰白色) S85/1 (赤灰色)	60%	内外面自然 釉付着
第11300 102 図説64	下層 B11NY	須恵焼 壺	口径(9.5) 器高12.6	体部内面ロクロ回転ナズ、 体部外面へラケズリ、底部 内面ナズ、底部外面へラ ケズリ	2.0mm以下の白色 粒を含む	硬	SP87/1 (明黄灰色) N6/0 (灰色) N4/0 (灰色)	30%未満	内外面自然 釉付着
第11300 103 図説60	下層 B11OY	須恵焼 坏身	口径14.3 器高1.9 底径5.6	口縁部・体内外外面ロクロ 回転ナズ、底部外面へウ切 りロクロ回転ナズ	1.0mm大の白色粒 を多く含む	硬	N7/0 (灰白色) N7/0 (灰白色) N7/0 (灰白色)	70%	内外面自然 釉付着
第11300 104 図説51	B11PX	土師焼 坏	口径(11.1) 器高2.8	口縁部内外面ヨコナズ、体 部内面ナズ、体部内面沈 線状破文	0.5~1.0mm大の白・ 灰色砂粒を含む	中	10YR8/2 (灰白色) 7.5YR6/3(にぶ)褐色 2.5YR6/6 (褐色)	30%	
第11300 105 図説51-68	B11PX	土師焼 坏	口径11.2 器高2.7	口縁部内外面ヨコナズ、体 部内面ナズ、体部内面沈 線状破文	0.5mm大の白・赤 色砂粒を含む	中	10YR7/2(にぶ)黄褐色 10YR7/2(にぶ)黄褐色 10YR7/1 (灰白色)	55%	
第11300 106 図説51-68	B11PX	土師焼 坏	口径(11.5) 器高2.6	口縁部内外面ヨコナズ、体 部内面ナズ、体部内面沈 線状破文	0.5mm大の白・赤 色砂粒を含む	中	2.5Y8/2 (灰白色) 10YR7/1 (灰白色) 5Y7S/4(にぶ)赤褐色	30%	
第11300 107 図説51-68	B11PX	土師焼 坏	口径(11.0) 器高2.6	口縁部内外面ヨコナズ、体 部内面ナズ、体部内面沈 線状破文	0.5mm大の白・赤 色砂粒を含む	中	2.5Y8/2 (灰白色) 7.5YR7/2 (明褐色) 5YR6/6 (褐色)	35%	
第11300 108 図説51-68	B11PX	土師焼 坏	口径10.9 器高3.0	口縁部内外面ヨコナズ、体 部内面ナズ、体部内面へラ ケズリ、体部内面沈線状 破文	2.0mm以下の白・ 赤・赤褐色粒を含む	中	5YR8/4 (暗褐色) 5YR8/4 (暗褐色) —	95%	
第11300 109 図説—	B11PX	土師焼 壺	口径(11.7) 器高(2.6)	口縁部内外面ヨコナズ、底 部外面へラケズリ	3.0mm以下の赤褐 色砂粒・1.5mm以 下の白色砂粒を含む	中	2.5Y7/3 (黄褐色) 2.5Y8/3 (黄褐色) 2.5Y8/3 (黄褐色)	10%	
第11300 110 図説51-47	B11PX	須恵焼 壺	口径28.0 器高(23.9)	口縁部内外面、体部内面ロ クロ回転ナズ、体部外面 タタキ、器部割減顯著	0.1~2.0mm位の灰 色砂粒を含む	軟	N8/0 (灰白色) N8/0 (灰白色) N8/0 (灰白色)	40%	
第11400 111 図説51-73	B11PX	土師焼 壺	口径(15.9) 器高(13.7)	口縁部内外面ヨコナズ、体 部内面沈線状破文(8本/m) 内面へラケズリ	1.0mm以下の白色 粒を含む	硬	10YR7/3(にぶ)黄褐色 10YR7/3(にぶ)黄褐色 10YR7/3(にぶ)黄褐色	12%未満	外面スス・ 内面オコゲ 付着
第11400 112 図説51-44	B11PX	須恵焼 壺	口径(9.8) 底径10.0	体部外面ヨコナズ・ヘラケ ズリ、内面ロクロ回転ナズ、 底部外面ナメラケズリ、 体部に沈線沈線2本	2.0mm以下の白色 粒を含む	硬	10R5/6 (赤色) N5/0 (灰色) N5/0 (灰色)	30%未満	
第11400 113 図説51-46	B11PX	須恵焼 壺	口径(26.8) 器高40.0	口縁部内外面ロクロ回転ナ ズ、体部外面タタキ・ナキ 目、内面出て具異	1.0~5.0mm位の白 色砂粒を含む	中	N5/0 (灰色) N5/0 (灰色) N5/0 (灰色)	80%	口縁部深み 大

海 図 No. 図 番	局 区 区	部 位 形	1. 出 発 高 h.	調 整	船 土	機 成	色 調 (内面) (外面) (断面)	残 存 率	備 考
第115図 114 図番55	B11Q X	浪速部 環身	口径(12.4) 節高(3.9)	口縁部内外面・体部内面 クロ回転ナゲ、底部外周へ ラケズリ(L)	0.5~2.5m大の白 色砂粒を多く含む	硬	N7.0 (灰白色) N7.0 (灰白色) N2.0 (灰白色)	25%	
第115図 115 図番60	B11Q X	浪速部 長筒部	節高(14.2)	体部外面上半部・内面クロ 回転ナゲ・体部外面下半 部ヘラケズリ・体部内面 沈積2本・節部縦溝あり	3.0m以下の白・ 褐色粒と1.0m以 下の赤色細粒を含む	中 軟	7.5YR8/4 (洗黄褐色) 7.5YR7/1 (灰白色) 7.5YR8/4 (洗黄褐色)	65%	
第115図 116 図番52	下層 B11R X ・S X	浪速部 年産	口径(10.1) 節高3.3	口縁部・体部内外面クロ 回転ナゲ、底部外周へラ ケナゲ	2.0m以下の白色 粒と1.0m以下の 褐色粒を含む	硬	N7.0 (灰白色) N7.0 (灰白色) N7.0 (灰白色)	70%	B11S X
第115図 117 図番67	B11R X	浪速部 年産	口径(16.2) 節高(7.6)	口縁部内外面クロ回転ナ ゲ、体部外面ラケ・カキ 目、内面当て具痕	1.0m以下の白・ 褐色粒を含む	硬	7.5Y7/1 (灰白色) 7.5Y7/1 (灰白色) 7.5Y7/1 (灰白色)	30%未満	
第115図 118 図番一	下層 B11R X	浪速部 高年	節高(11.8)	年産内面ナゲ、胴部内面 クロ回転ナゲ、胴部外周 に沈積2本	0.1~1.0m大の白色 砂粒を含む	硬	N5.0 (灰色) N3.0 (暗灰色) N8.0 (灰色)	10%未満	2段2方流 シ
第115図 119 図番52	B12T A	浪速部 年産	口径11.0 節高3.6	口縁部・体部内外面クロ 回転ナゲ、底部外周へラ ケナゲ	2.0m以下の白色 砂粒を含む	硬	10Y7/1 (灰白色) 10Y7/1 (灰白色) N6.0 (灰色)	60%	
第115図 120 図番66	B12T A	浪速部 年産	口径(21.5) 節高(7.8)	口縁部内外面クロ回転ナ ゲ、体部外面ラケ・カキ 目、内面当て具痕	1.0m以下の白色 粒を含む	硬	N7.0 (灰白色) N7.0 (灰白色) N5.0 (灰色)	10%未満	
第115図 121 図番一	B11T Y	浪速部 環身	口径(10.1) 節高(2.1)	口縁部・体部内外面クロ 回転ナゲ	白色無粒を含む	硬	N7.0 (灰白色) N7.0 (灰白色) N4.0 (灰色)	10%	
第115図 122 図番61	B11T Y	浪速部 年産	口径(14.8) 節高3.0	口縁部・体部内外面クロ 回転ナゲ、底部外周へラ ケ・クロ回転ナゲ	0.5~1.5m大の白・ 褐色粒を含む	硬	5B5/1 (暗黄褐色) 5B5/1 (暗黄褐色) 5B5/1 (黄褐色)	20%	123と同層 の可能性あり
第115図 123 図番54	B11T Y	浪速部 高年	節高(5.6) 底径3.8	年産・胴部内外面クロ回 転ナゲ	3.0m大の白色粒 を含む	硬	5B5/1 (黄褐色) 5B5/1 (黄褐色) N6.0 (灰色)	50%	122と同層 の可能性あり
第115図 124 図番一	B11T X	浪速部 年産	口径(20.6) 節高(4.2)	口縁部外面クロ回転ナゲ 一層積状状文、内面クロ 回転ナゲ	0.2m位の白色砂 粒を含む	硬	5Y7/1 (灰白色) 5Y4/2 (灰オリーブ色) 5Y7/1 (灰白色)	5%未満	内外面自然 軸付着
第115図 125 図番52	下層 B11S X B12V~W1	浪速部 年産	口径(9.7) 節高3.1	口縁部・体部内外面クロ 回転ナゲ、底部外周へラ ケナゲ	0.5m大の白・黒 砂粒を含む	中	N7.0 (灰白色) N4.0 (灰色) N5.0 (灰色)	55%	B11S X
第115図 125 図番一	B11S X	浪速部 年産	口径(10.1) 節高(2.6)	口縁部・体部内外面クロ 回転ナゲ	白色無粒を含む	硬	N6.0 (灰色) N7.0 (灰白色) N6.0 (灰色)	15%	
第115図 127 図番56	B11S X B12U A	浪速部 年産	口径9.0 節高3.3	口縁部内外面クロ回転ナ ゲ、体部外面ラケズリ、 (底縁部内面ナゲ、外周へ ラケり調整(R)	1.0m以下の白色 砂粒を含む	硬	N6.0 (灰色) N8.0 (灰白色) 5.0Y8/1 (灰白色)	55%	
第115図 128 図番55	B11S X	浪速部 環身	口径(9.9) 節高3.0	口縁部・体部内外面クロ 回転ナゲ、底部外周へラ ケナゲ	2.0m以下の白・ 褐色砂粒を含む	硬	N7.0 (灰白色) 5GY7/1 (黄オリーブ灰色) —	20%	外面自然軸 付着
第115図 129 図番58	B11S X	浪速部 年産	口径10.2 節高4.5	口縁部・体部内外面クロ 回転ナゲ、底部外周へラ ケナゲ	2.0m以下の白・ 褐色粒を含む	硬	N8.0 (灰白色) N7.0 (灰白色) N5.0 (灰色)	60%	
第115図 130 図番一	B11S X	浪速部 年産	口径(10.8) 節高3.0	口縁部・体部内外面クロ 回転ナゲ、底部外周へラ ケ・ヘラケズリ(L)	1.0m以下の白色 砂粒を多く含む	硬	N7.0 (灰白色) N7.0 (灰白色) N7.0 (灰白色)	25%	
第115図 131 図番一	B11S X ・T Y ・HD	浪速部 年産	口径(14.1) 節高(5.5)	口縁部内外面クロ回転ナ ゲ、体部外面ラケ・カキ 目、内面当て具痕	0.5m以下の白色 粒を含む	硬	N7.0 (灰白色) N7.0 (灰白色) N7.0 (灰白色)	6%未満	
第115図 132 図番一	B11S X	浪速部 年産	口径(19.6) 節高(3.2)	口縁部内外面クロ回転ナ ゲ、体部外面に層積状 文の痕跡あり	3.0m以下の白色 砂粒と2.0m以下の 褐色砂粒を含む	硬	N7.0 (灰白色) N6.0 (灰色) N8.0 (灰色)	5%未満	口縁部外周 一部に層積 状文痕跡

施設 名称	階 層	部 位	修 繕 種 別	1. 法 規 a, b,	調 整	胎 土	機 械	色 調 (内面) (外面) (断面)	残 存 率	備 考
第1169R 133 図説70	下層	B11S X	土留壁 壁	口径(14.2) 壁高(7.2)	口縁部外面コナナダ、内面 コナナダ・ヨコハナ(内装 材)、底部外面のクワ(内装 材)内装ヘラツズリ	0.5~1.0mm大の白 灰色砂粒を多く含 む	中	2.5Y/2 (灰黄色) 5YR/4 (L2.5) (緑色) 2.5Y/6 (緑色)	8%未満	外面スス・ 内装オコゲ 付着
第1169R 134 図説70	下層	B11S X	土留壁 壁	口径(23.2) 壁高(—)	口縁部内外面コナナダ、体 部外面ハケ(16本/φ) 、内面コナナダ(14本/φ) ヘラツズリ	0.5~1.0mm大の白 灰色砂粒を含む	中	7.5YR/3(L2.5) (褐色) 5YR/6 (緑色) 5YR/4 (L2.5) (緑色)	8%未満	外面スス・ 内装オコゲ 付着
第1169R 135 図説70	下層	B11S X ・P X	土留壁 壁	口径(29.3) 壁高(11.6)	口縁部外面コナナダ、内面 コナナダ・ヨコハナ(13本/φ) 、体部外面ハケ(11本/φ) 内装ヘラツズリ	0.5~2.0mm大の白 色砂粒を含む	中	5YR/4 (L2.5) (緑色) 7.5Y/3 (L2.5) (褐色) 2.5Y/3 (L2.5) (赤褐色)	6%	B11S X 外面スス付 着
第1169R 136 図説70-2	上層	B11S X	向壁 壁身	—	口縁部内外面クロ回転ナ ダ・胎土	黒砂粒を含む	硬	— (緑色) N7/0 (灰白色)	—	緑胎
第1169R 137 図説一	下層	B11 Y ・U Y	床面 床身	口径(12.4) 壁高(3.2)	口縁部・体部内外面クロ 回転ナダ、底部外面ヘウ切 リナダ	3.0mm以下の白色 砂粒を含む	硬	N7/0 (灰白色) N6/0 (灰色) N7/0 (灰白色)	35%	B11U Y
第1169R 138 図説53	下層	B11 Y	床面 床身	口径(12.8) 壁高(3.75)	口縁部・体部内外面コナ ナダ、底部外面ヘウ切り未 調整(床)	1.0~3.0mmの白・ 灰・黒色粒を含む	硬	N7/0 (灰白色) N6/0 (灰色) N7/0 (灰色)	90%	
第1169R 139 図説一	下層	B11 Y	床面 床身	口径(15.3) 壁高(5.8)	口縁部内外面クロ回転ナ ダ、体部外面タキ・カキ 目、内面当て具痕、断面 減磨面	3.0mm以下の砂粒 を多く含む	軟	7.5Y/1 (灰白色) 7.5Y/1 (灰白色) 7.5Y/1 (灰白色)	6%未満	
第1169R 140 図説67	下層	B11 Y	床面 床身	口径(19.6) 壁高(7.3)	口縁部内外面クロ回転ナ ダ、体部外面タキ・カキ 目、内面当て具痕	1.0mm以下の白・ 黒色炭粒を含む	硬	N8/0 (灰白色) N6/0 (灰色) N5/0 (灰色)	10%	
第1170R 141 図説65	下層	B11 Y	床面 床身	— 口径(8.8) 壁高(4.8)	口縁部・体部・断面内外面 クロ回転ナダ、胎土・体 部外面に各扱い・調整2本	5.0mm大の白色粒 を含む若干含む	硬	5Y/1 (灰色) 5Y/1 (灰色) 5Y/1 (灰色)	70%	底部外面ヘウ 切リ 口縁部内外面 自然削付着
第1170R 142 図説一	下層	B11 Y	床面 床身	— 口径(6.8)	体部内外面クロ回転ナダ、 体部外面調整2本と沈積層 に黒目	1.0mm以下の白色粒 を含む	硬	N5/0 (灰色) N5/0 (灰色) 10R3.2 (暗赤褐色)	13%未満	
第1170R 143 図説63	上層	B11 Y	床面 床身	口径(25.6) 壁高(18.2) 底径(18.2)	口縁部内外面・体部外面上 半部・内面クロ回転ナダ、 体部外面上半部・底部ヘラ ツズリ(L)口縁部1本・体部3	0.5~1.5mm大の白・ 灰色砂粒を含む	軟	7.5Y/1 (灰白色) N6/0 (灰色) N8/0 (灰白色)	60%	
第1170R 144 図説一	下層	B11 Y	土留壁 壁	口径(26.3) 壁高(11.0)	口縁部内外面コナナダ、体 部外面ハケ(16本/φ)・体部 内面コナナダ、多数の断面 調整痕、下半部ヘラツズリ	0.5~1.5mm大の白・ 灰・黒色砂粒を含む	中	5YR/6 (緑色) 5YR/6 (緑色) 5YR/8 (明赤褐色)	30%	
第1170R 145 図説一	下層	B12U A	床面 床身	口径(7.0) 壁高(2.5)	口縁部内外面・体部内面 クロ回転ナダ、底部ヘラツ ズリ(L)	1.0mm以下の白色 砂粒を含む	硬	10Y/1 (灰色) 10Y/1 (灰色) 10Y/1 (灰色)	15%未満	
第1170R 146 図説一	下層	B12U A	床面 床身	口径(19.3) 壁高(4.4)	口縁部内外面クロ回転ナ ダ	0.5mm以下の白色 粒を含む	硬	N7/0 (灰白色) N4/0 (灰色) N4/0 (灰色)	5%未満	
第1170R 147 図説63	下層	B12U A ・Y C	床面 床身	口径(19.6) 壁高(9.9)	口縁部内面・断面内面・外面上 半部クロ回転ナダ、断面調整ナ ダ、体部外面ハケ・断面ヘラツ ズリ(L)断面調整に調整1本	白・黒色炭粒を含 む	硬	N4/0 (灰色) N3/0 (暗灰色) N8/0 (灰白色)	25%	
第1170R 148 図説一	下層	B12V B	床面 床身	口径(10.8) 壁高(3.9)	口縁部・体部内外面クロ 回転ナダ、底部ヘウ切り ナダ	1.0mm以下の白・ 黒色炭と1.0mm位 の白色粒を含む	硬	N7/0 (灰白色) N7/0 (灰白色) N5/0 (灰色)	30%	
第1170R 149 図説56	下層	B12V B ・W B	床面 床身	口径(9.7) 壁高(3.8)	口縁部・体部内外面クロ 回転ナダ、底部外面ヘウ切 リ未調整	黒胎	硬	N8/0 (灰白色) N8/0 (灰白色) N7/0 (灰白色)	65%	
第1170R 150 図説一	下層	B12V B	床面 床身	— 口径(9.4)	断面内面ナダ・断面内面 クロ回転ナダ	0.1~2.0mm位の黒 色砂粒を含む	硬	N6/0 (灰色) N6/0 (灰色) N7/0 (灰白色)	30%	2粒3方消 し
第1170R 151 図説一	下層	B12V B	床面 床身	口径(11.7) 壁高(4.1)	口縁部内外面クロ回転ナ ダ	1.0mm以下の白色 砂粒を少量含む	硬	2.5GY/1(黄グリーン) (緑色) 2.5GY/1(黄グリーン) (緑色) 2.5GY/1(黄グリーン) (緑色)	—	

種別 区分	層位 地区	築造 時期	積層 高さ h、 b、	調査 内容	土質	構成 色調	(内面) (外面) (断面)	残存率	備考
第11700 152 図説67	B12V B +WB	築造期 要	口径(21.0) 築高(7.9)	口縁部内外面ロクロ回転ナ デ、底部外面オタネヘラ リ、内面当て具傷、断面脚 縁減衰	1.0m以下の白・ 黒色砂を含む	軟	N&O N3/O (灰白色) (緑灰色)	15%	
第11800 153 図説54	B11UY	築造期 要	口径5.9 築高2.5	口縁部・体部内外面ロクロ 回転ナデ、底部ヘラ切り ヘラズリ→ナデ	3.0m以下の白・ 黒色砂を含む	軟	N8/O N7/O (灰白色) (灰白色)	50%	
第11800 154 図説58	B11UY	築造期 要	口径(9.1) 築高3.6	口縁部・体部内外面ロクロ 回転ナデ、底部外面ヘラ切 り未調整(R)	2.0m以下の白・ 黒色砂を含む	硬	7.5Y7/1 7.5Y7/1 (灰白色) (灰白色)	70%	外面自然融 け層
第11800 155 図説58	下層 B11UY	築造期 要	口径(10.1) 築高3.8 底径(6.4)	口縁部・体部内外面ロクロ 回転ナデ、底部外面ヘラ切 り→ナデ	3.0m以下の白色 砂を含む	硬	N7/O N7/O (灰白色) (灰白色)	25%	
第11800 156 図説58	B11UY B12V B +YW	築造期 要	口径12.0 築高3.5	口縁部・体部内外面ロクロ 回転ナデ、底部外面ヘラ切 り→ヘラズリ(L)	3.0m以下の白・ 黒色砂を含む	硬	5B6/1 5B5/1 N7/O (青灰色) (暗青灰色) (灰白色)	50%	外面自然融 け層
第11800 157 図説64	最上層 B11UY	築造期 要	口径8.8 築高7.4	口縁部内外面ロクロ回転ナ デ、断面内面の一部にヘラ ケズリ	0.5~2.0m位の白・ 灰色砂を含む	硬	N7/O N6/O N5/O (灰白色) (灰色) (灰色)	40%	内外面自然 融け層
第11800 158 図説63	B11UY B12V A	築造期 要	口径(16.4) 築高(14.0)	口縁部・体部上下部内外面 ロクロ回転ナデ、体部外面 下半部オタネ、内面ヘラ ケズリ、体部に沈積土層	0.1~3.0m位の白 色砂を含む	硬	N7/O N7/O N7/O (灰白色) (灰白色) (灰白色)	20%未満	
第11800 159 図説62	下層 B11UY B12U A	築造期 要	口径(26.1) 築高9.2	口縁部内外面ロクロ回転ナ デ、断面内面オタネ、外 ラッタツリ(L)、断面脚縁減 衰	3.0m以下の黒色 砂(小石)を含む	硬	10Y7/1 10Y6/1 (灰白色) (灰白色)	60%	B11UY
第11800 160 図説一	下層 B11UY B12X C	土師器 要	口径(26.4) 築高(4.4)	口縁部内外面コナデ、体 部内外面コナデ、断面内面に 放射状傷文、断面脚縁減衰	0.5~2.0m大の白 色砂を含む	中	5Y7.5/6 2.5Y7.5/6 5Y7.5/6 (褐色) (褐色) (褐色)	13%未満	B11UY
第11800 161 図説一	B11UY	土師器 要	口径(16.2) 築高(4.0)	口縁部内外面コナデ、体 部内外面ヘラズリ→一部ヘ ラツリ(L)、内面コナデ、内 面に放射状傷文	0.5~1.0m大の白 色砂・黒色砂を含む	中	2.5Y7/3 2.5Y7/3 2.5Y7/3 (浅黄色) (浅黄色) (浅黄色)	30%	
第11800 162 図説70	下層 B11UY	土師器 要	口径(23.2) 築高(8.1)	口縁部内外面コナデ、体 部内外面斜ハケ(14本/φ)、 内面斜ハケ(4本/φ)→ナ デ	0.5~1.0m大の白 色砂・0.5~3.0 m大の褐色砂を含む	中	7.5YR7/4(にぶい)褐色 7.5YR5/2(にぶい)褐色 2.5Y8/2 (灰白色)	6%未満	外面スス け層
第11800 163 図説一	B11UY	土師器 要	口径16.4 築高(12.9)	口縁部内外面コナデ、体 部一部外面斜ハケ(6 本/φ)、体部内面ヘラズリ →ナデ	0.5~2.0m位の白 色砂を多く含む	中	2.5Y8/2 10YR8/3 2.5Y8/2 (灰色) (灰色) (灰色)	60%	
第11800 164 図説70	B11UY	土師器 要	口径(23.8) 築高(9.1)	口縁部内外面コナデ、体 部外面斜ハケ(12本/φ)、 内面斜ハケ(10本/φ)	0.5m大の白色砂 を含む	中	2.5Y8/2 2.5Y8/2 7.5YR7/6 (灰白色) (灰白色) (褐色)	13%未満	
第11800 165 図説70	下層 B11UY	土師器 要	口径(17.4) 築高(7.1)	口縁部内外面コナデ、内 面コナデ・横ハケ(8本/φ) 体部外面斜ハケ(12本/φ) 内面ヘラズリ	0.5~1.0m大の白 色砂・褐色砂を含む	中	2.5Y7/3 2.5Y7/3 5YR6/6 (浅黄色) (浅黄色) (褐色)	5%未満	
第11800 166 図説一	下層 B11UY B17H D	土師器 要	口径(28.7) 築高14.6	口縁部内外面コナデ、体 部一部外面ヘラズリ→ 内面コナデ、断面脚縁減衰	3.5m以下の白・ 黒・褐色砂と赤色 酸化砂を含む	硬	7.5YR8/4 7.5YR8/4 5YR6/6 (浅黄褐色) (浅黄褐色) (褐色)	17%	3045-OS と同一 B11UY
第11900 167 図説一	B12WC	築造期 要	口径(9.8) 築高3.7	口縁部・体部内外面コナ デ、断面外面ヘラ切り(R) →ナデ	1.0m以下の白色 砂を含む	硬	N7/O N7/O N7/O (灰白色) (灰白色) (灰白色)	70%	
第11900 168 図説56	B12WC	築造期 要	口径(9.2) 築高3.8	口縁部・体部内外面コナ デ、断面外面ヘラ切り→ ヘラズリ(R)	1.0m以下の白色 砂を含む	硬	N8/O 10Y3/2 N8/O (灰白色) (オリーブ褐色) (灰白色)	50%	外面自然融 け層 込み減衰
第11900 169 図説一	B12WC	築造期 要	口径(7.0) 築高(5.3)	口縁部内外面ロクロ回転ナ デ	1.0m以下の白色 砂を含む	硬	N6/O N6/O N6/O (灰色) (灰色) (灰色)	10%以下	
第11900 170 図説一	B12WC	築造期 要	口径(23.8) 築高(7.3)	口縁部内外面ロクロ回転ナ デ、体部内外面コナデ、内 面コナデ、断面脚縁減衰	0.5~2.0m位の白・ 黒色砂を含む	軟	5Y6/1 5Y6/1 5Y6/1 (灰色) (灰色) (灰色)	5%未満	

邦 国 記 号 図 版	標 位 地 区	基 礎 形 状	1. 法 量 h, b,	調 整	胎 土	焼 成 色 調 (内面) (外面) (断面)	残 存 率	備 考
第11908 171 図版73	B12WC ・XC	土師器 壺	口径(14.2) 器高(10.1)	口縁部内外面ヨコナゲ、体 部外面ハケ(8本/器)、内 面ヘラケズリ。	2.0mm位の粗い砂 粒を多く含む、赤 色粒子を含む	2.5Y7/3 (淡黄色) 5YR4/4 (こぶい赤褐色) 2.5YR/3 (淡黄色)	25%未満	口縁部内面 吹きこぼれ 痕跡
第11908 172 図版73	B12WC ・XC	土師器 壺	口径16.0 器高15.7	口縁部内外面ヨコナゲ、体 部外面ハケ(8本/器)、内 面ヘラケズリ、底面外面ハケ(8本 /器)器面磨滅顯著	2.0mm以下の小石、 赤色粒子・黒砂粒を 多く含む	2.5YR8/3 (淡黄色) 2.5YR/2 (淡黄色) 2.5YR8/3 (淡黄色)	60%	口縁部内面 吹きこぼれ 痕跡
第11908 173 図版54	B12XC	須恵器 坏蓋	口径7.0 器高(2.3)	口縁部・体部内外面クロク ロ回転ナゲ、底面ヘラケズリ →クロク回転ナゲ	細砂粒を多く含む	N8/0 (灰白色) N8/0 (灰白色)	90%	つまみ穴 外面自然蝕 付著
第11908 174 図版一	B12XC	須恵器 坏蓋	口径(10.0) 器高3.2	口縁部・体部内面クロク回 転ナゲ、体部外面ヘラケズ リ(Ⅱ)、底面外面ヘラ切り (Ⅱ)→ナゲ	3.0mm以下の白・ 黒色粒子を含む	N7/0 (灰白色) N6/0 (灰色) N8/0 (灰白色)	40%	
第11908 175 図版53	B12XC	須恵器 坏蓋	口径(10.0) 器高3.3	口縁部・体部内面クロク回 転ナゲ、体部外面ヘラケズ リ、底面外面ヘラ切り→ナ ゲ	2.0~3.0mmの白色 砂粒と赤色砂粒を 含む	N6/0 (灰色) N6/0 (灰色) 10YR5/2 (淡黄褐色)	50%	
第11908 176 図版53	B12XC	須恵器 坏蓋	口径(10.0) 器高3.3	口縁部・体部内外面クロク 回転ナゲ、底面外面ヘラ切 り→ナゲ、器面磨滅顯著	2.0mm以下の白・ 黒色粒を含む	2.5GY7/1(雜ワリ)灰色 7.5Y7/1 (灰白色) 7.5Y7/1 (灰白色)	40%	
第11908 177 図版55	B12XC	須恵器 坏蓋	口径(9.0) 器高2.9	口縁部・体部内外面クロク 回転ナゲ、底面外面ヘラ切 り未調整(Ⅱ)	0.5mm以下の白・ 黒色粒を含む	N6/0 (灰色) N6/0 (灰色) N7/0 (灰白色)	45%	
第11908 178 図版54	B12XC	須恵器 坏蓋	口径(10.1) 器高2.8	口縁部・体部内面クロク回 転ナゲ、底面外面ヘラ切り 未調整(Ⅱ)	2.0mm以下の白・ 黒砂粒を含む	N7/0 (灰白色) N6/0 (灰色) N7/0 (灰白色)	35%	
第11908 179 図版59	B12XC	須恵器 坏蓋	口径(10.7) 器高(3.4)	口縁部・体部内外面クロク 回転ナゲ、底面外面ヘラ切 り未調整	0.1~1.0mm位の白 色砂粒を含む	N5/0 (灰色) N5/0 (灰色) 2.5YR5/2 (淡赤色)	30%	口縁部器小 大
第11908 180 図版59	B12XC	須恵器 坏蓋	口径(10.0) 器高3.8	口縁部・体部内面クロク回 転ナゲ、底面外面ナゲ、外 面ヘラ切り→半持ちヘラケ ズリ	2.0~4.0mm以下の 白色砂粒を含む	N6/0 (灰色) N5/0 (灰色) N6/0 (灰色)	60%	底部外面へ ラ記号
第11908 181 図版一	B12XC	須恵器 坏蓋	口径(10.2) 器高3.1	口縁部・体部内外面クロク 回転ナゲ、底面外面ヘラ切 り→ナゲ	0.5mm以下の白色 粒を含む	N6/0 (灰色) N6/0 (灰色) N4/0 (灰色)	25%	底部外面へ ラ記号
第11908 182 図版54	B12XC	須恵器 壺	口径(24.4) 器高4.2	口縁部内外面・底面内面ロ ク回転ナゲ、器面外面ヘ ラケズリ器面磨滅顯著	0.5~2.5mm大の白 色砂粒を含む	N8/0 (灰白色) N4/0 (灰色) 5Y8/1 (灰白色)	20%	
第11908 183 図版62	B12XC	須恵器 壺	口径25.0 器高5.26	口縁部内外面クロク回転ナ ゲ、底面内面ナゲ、外面ヘ ラケズリ(Ⅰ)底面外面ヘラ ケズリ	0.5~1.5mmの白色 砂粒を含む	N7/0 (灰白色) N6/0 (灰色) N7/0 (灰白色)	65%	口縁部器小 大 口縁部外面 自然蝕付著
第11908 184 図版61	B12XC	須恵器 高弁	口径15.7 器高10.9 瓶径(10.6)	肩部・頸部内外面クロク回 転ナゲ	若干の微砂	N5/0 (灰色) 5B4/1 (暗黄灰色) N5/0 (灰色)	70%	
第11908 185 図版71	B12XC	土師器 壺	口径(14.7) 器高5.0	口縁部内外面ヨコナゲ、体 部外面ハケor斜ハケ(14本/器) 内面ヘラケズリ、頸部内面 斜ハケ(16本/器)	0.5~1.0mm大の白 色砂粒を含む	10YR4/2 (淡黄褐色) 5YR6/4 (こぶい褐色) 2.5YR6/6 (褐色)	10%	
第11908 186 図版71	B12XC	土師器 壺	口径(13.1) 器高(6.9)	口縁部内面ヨコナゲ、内面 ヨコナゲ・斜ハケ(12本/器) 体部外面ハケor斜ハケ(10本/器) 内面ヘラケズリ	0.5~1.0mm大の白・ 褐色砂粒(シヤムエ ト?)を含む	10YR8/2 (淡黄褐色) 7.5YR7/2 (暗黄灰色) 5YR6/6 (褐色)	7%未満	口縁部内面 吹きこぼれ 痕跡
第11908 187 図版71	B12XC	土師器 壺	口径(14.9) 器高(4.6)	口縁部内面ヨコナゲ、内面 ヨコナゲ・斜ハケ(16本/器) 体部外面ハケor斜ハケ(16本/器) 内面ナゲ	0.5~1.5mm大の白・ 褐色砂粒を含む	10YR3/2 (暗黄褐色) 5YR6/4 (こぶい褐色) 10YR3/2 (暗黄褐色)	10%	体部内面ナ コグ付著 外面磨滅顯 著
第12008 188 図版53	B12YC	須恵器 坏蓋	口径(11.2) 器高3.8	口縁部・体部内外面クロク 回転ナゲ、底面ヘラ切り未 調整(L)	1.0mm以下の白・ 黒色粒を含む	N7/0 (灰白色) N7/0 (灰白色) N7/0 (灰白色)	70%	
第12008 189 図版一	下層 B12YC	須恵器 坏蓋	口径(9.7) 器高3.7	口縁部・体部内外面クロク 回転ナゲ、底面ヘラ切り→ ナゲ	0.1~1.0mm大の白 色砂粒を含む	7.5Y6/1 (灰色) 7.5Y6/1 (灰色) N6/0 (灰色)	30%	

種別 No.	品名	単位 地区	器具 形状	1. 径 2. 高さ 3. b.	調整	胎土	構成	色調 (内面) (外面) (断面)	残存率	備考
第12000 190 図版67	下層 B12YC	須磨部 塚	口径(15.3) 高さ(11.3)	口縁部内外面ロクロ回転ナデ、体部外面タタキ→カキ目、内面当て具痕	白・黒色粒を含む	硬	10YR4/1 N6/0 N6/0	(褐色) (灰色) (灰色)	15%	
第12000 191 図版68	B17AD	須磨部 塚	口径(10.7) 高さ3.5	口縁部・体部内外面ロクロ回転ナデ、底部外面へラ切り→ヘラケズリ(R)	0.1~2.0mmの白・黒色細粒を多く含む	硬	N8/0 N8/0	(灰白色) (灰白色)	95%	
第12000 192 図版69	B17AD	須磨部 塚	口径(11.0) 高さ(3.6)	口縁部・体部内外面ロクロ回転ナデ、底部外面へラ切り→ヘラケズリ→ナデ	2.0~4.0mm以下の白・黒色粒を含む	硬	N7/0 N8/0 N7/0	(灰白色) (灰白色) (灰白色)	25%	外面自然剥離付着
第12000 193 図版69	B17AD ・B1D	須磨部 塚	口径9.3 高さ3.0	口縁部・体部内外面ロクロ回転ナデ、底部外面へラ切り未調整(L)	0.5~1.5mm大の白・黒色粒を含む	硬	N8/0 N5/0 N5/0	(灰白色) (灰色) (灰色)	55%	内外面自然剥離付着
第12000 194 図版一	B17AD ・B1D	須磨部 塚	口径(11.25) 高さ(3.6)	口縁部・体部内外面ロクロ回転ナデ、底部外面へラ切り未調整(L)	0.1~1.5mm大の白色粒子を含む	硬	10GY6/1 N6/0 N6/0	(緑灰色) (灰色) (灰色)	60%	
第12000 195 図版71	B17AD	土師部 塚	口径(22.1) 高さ(4.3)	口縁部内外面コナデ、断面内面ヘラケズリ	0.5~1.0mm大の白・灰色粒を含む	中	10YR8-2 10YR7/4 (濃い黄褐色) 10YR6-6 (明黄褐色)	(白色) (黄褐色) (黄褐色)	3%	断面黄褐色
第12000 196 図版73	B17AD ・B1D ・C1D	土師部 塚	口径(24.6) 高さ(8.4)	口縁部内外面コナデ、体部外面斜ハテ(11本/α)、内面斜ハテ(11本/α)→ヘラケズリ	0.5~3.0mm大の白・灰色粒を含む	中	2.5YR-2 2.5YR-3 2.5YR-2	(灰白色) (黄褐色) (灰白色)	20%	体部外面ス・内面エコケ付着
第12000 197 図版68	B17AD	土師部 塚	口径(16.9) 高さ3.5	口縁部内外面コナデ、体部・断面内面ヘラケズリ→ナデ→内面ナデ、内面に放射状地文	0.5以下の細粒を多く含む	硬	5YR6-6 5YR6-6 5YR6-6	(褐色) (褐色) (褐色)	25%	断面黄褐色
第12000 198 図版一	B17AD ・B1D	土師部 塚	口径(17.3) 高さ5.5	口縁部内外面コナデ、体部・断面内面ヘラケズリ→ナデ→内面ナデ、内面に放射状地文	0.5~3.0mm大の白色粒を多く含む	中	7.5YR7/3(濃い黄褐色) 10YR8-3 (黄褐色) 5YR6-6 (褐色)	(黄褐色) (黄褐色) (黄褐色)	30%	
第12000 199 図版53	B17BD	須磨部 塚	口径(10.7) 高さ2.8	口縁部・体部内外面ロクロ回転ナデ、断面へラ切り未調整(R)	2.0~4.0mm以下の白・黒色粒を含む	硬	N8/0 7.5YR/1 5YR-2	(灰白色) (灰色) (灰色)	45%	
第12000 200 図版55	B17BD	須磨部 塚	口径8.7 高さ2.8	口縁部・体部内外面ロクロ回転ナデ、断面へラ切り→ヘラケズリ(R)	1.0~3.0mmの白色粒を多く含む	硬	N7/0 N7/0	(灰白色) (灰白色)	100%	83.6g
第12000 201 図版56	B17BD	須磨部 塚	口径9.5 高さ3.7	口縁部・体部内外面ロクロ回転ナデ、断面へラ切り→ヘラケズリ→ナデ	3.0mmの白色粒を含む	硬	N7/0 N7/0 N7/0	(灰白色) (灰白色) (灰白色)	90%	
第12000 202 図版59	B17BD	須磨部 塚	口径(9.5) 高さ(3.4)	口縁部・体部内外面ロクロ回転ナデ、断面へラ切り→ナデ	2.0mm以下の白・黒色粒を含む	硬	2.5GY7/1(黄褐色) 2.5GY8/1 N8/0	(黄褐色) (黄褐色) (灰白色)	50%	
第12000 203 図版59	B17BD	須磨部 塚	口径9.5 高さ3.3	口縁部・体部内外面ロクロ回転ナデ、断面へラ切り→ヘラケズリ(R)	2.5mmの灰色粒を含む	硬	N6/0 N7/0 N6/0	(灰色) (灰白色) (灰色)	95%	口縁部多少剥離着
第12000 204 図版59	B17BD	須磨部 塚	口径(13.9) 高さ(5.5)	口縁部・体部内外面ロクロ回転ナデ、断面へラ切り→ナデ	2.0mm以下の白・灰色細粒を多く含む	硬	N6/0 N5/0 N3/0	(灰色) (灰色) (暗灰色)	60%	20以上 剥離の可能性あり、断面外面に火跡
第12100 305 図版67	B17BD ・XC	須磨部 塚	口径10.6 高さ42.0	口縁部内外面ロクロ回転ナデ、体部外面タタキ→カキ目、内面当て具痕	1.0~5.0mm位の白色粒・1.0~4.0mm位の黒色粒を含む	中	N8/0 N8/0 N8/0	(灰白色) (灰白色) (灰白色)	60%	口縁部内面へラ記号
第12100 306 図版68	B17CD	須磨部 塚	口径(11.0) 高さ3.1	口縁部・体部内外面ロクロ回転ナデ、断面へラ切り→ナデ	2.0mm以下の白色粒を含む	硬	N7/0 N7/0 N4/0	(灰白色) (灰白色) (灰色)	40%	
第12100 307 図版59	B17CD	須磨部 塚	口径(11.3) 高さ4.0	口縁部・体部内外面ロクロ回転ナデ、断面へラ切り→ヘラケズリ(R)	1.0mm以下の白色粒を含む	硬	N6/0 N6/0 10R4.3	(灰色) (灰色) (赤褐色)	90%	
第12100 308 図版68	B17CD	須磨部 塚	口径6.6 高さ7.1	口縁部・体部内外面ロクロ回転ナデ、断面へラ切り→ナデ		硬	N7/0 N7/0 N7/0	(灰白色) (灰白色) (灰白色)	90%	断面内面剥離付着

種別 号 図版	産地 地区	築造 時期	1. 口径 a, b,	調整	胎土	焼成 色調	(内面) (外面) (胎面)	残存率	備考
第1213 209 図版68	B17C D	上海部 坪倉	口径10.7 器高9.0	口縁部内外面コナダ、体 部外面ハケ(赤系)の、内 面放射状筋 文	0.5~1.5mm大の白 黒・赤色砂粒を含む	中	2.5YR/2 (灰白色) 7.5YR8/3 (淡黄褐色) 5YR2/6 (褐色)	55%	
第1213 210 図版72	B17C D	土師部 塚	口径(21.1) 器高(7.0)	口縁部内外面コナダ、体 部外面ハケ(赤系)の、内 面ヘラケズリ	0.5~3.0mm大の白 灰色砂粒と少量の 黒色を若干含む	中	10YR7/2 (淡黄褐色) 10YR8/2 (淡黄褐色) 2.5YR/6 (黄褐色)	20%未満	
第1213 211 図版72	B17C D	土師部 塚	口径(20.4) 器高(12.2)	口縁部内外面コナダ、体 部外面ハケ(赤系)の、内 面ヘラケズリ、頸部内面 ハケ(赤系)の	4.0mm以下の砂粒 を多く含む	硬	5YR/2 (灰白色) 5YR/2 (灰白色) 5YR/2 (灰白色)	15%未満	
第1213 212 図版73	B17C D	土師部 塚	口径(13.7) 器高11.6	口縁部内外面コナダ、体 部外面ハケ(赤系)の、内 面ヘラケズリ	1.0mm以下の白色 細砂粒を多く含む	硬	2.5YR/2 (灰白色) 10YR8/3 (淡黄褐色) 5YR6/3 (淡黄褐色)	40%	外面スズ付 着、口縁部 内面スズこ ぼれ痕跡
第1220 213 図版55	B17D D	須恵部 坪倉	口径8.8 器高3.7	口縁部・体部内外面コロ ロ回転ナダ、底部ヘラ切リ →ナダ	2.0mm大の白色粒 を若干含む	硬	N7/0 (灰白色) 2.5C/7 (オリーブ灰色) N5/0 (灰色)	60%	外面自然釉 厚く付着
第1220 214 図版55	B17D D	須恵部 坪倉	口径(9.8) 器高3.0	口縁部・体部内外面コロ ロ回転ナダ、底部ヘラ切リ →ナダ	0.5~1.5mm大の白 色砂粒を多く含む	中	N6/0 (灰色) N5/0 (灰色) N7/0 (灰白色)	40%未満	
第1220 215 図版53	B17E E	須恵部 坪倉	口径(10.0) 器高3.4	口縁部・体部内外面コロ ロ回転ナダ、底部内面ナダ、 外面ヘラ切リ(切→ナダ)	1.0mm以下の白 黒色砂粒を含む	硬	N7/0 (灰白色) N6/0 (灰色) N7/0 (灰白色)	50%	
第1220 216 図版一	B17E E	須恵部 坪倉	口径(12.0) 器高(8.6)	口縁部・体部内外面コロ ロ回転ナダ、底部外面ヘラ切 り→ナダ	0.1~2.5mm大の白 色砂粒の1~0.8mm 大の黒色砂粒を含む	硬	5YR7/1 (明黄褐色) N4/0 (灰色) 5R5/1 (赤灰色)	5%	外面自然釉 付着
第1220 217 図版59	B17F E	須恵部 坪倉	口径10.8 器高4.0	口縁部・体部内外面コロ ロ回転ナダ、底部外面ヘラ切 り→調整(R)	4.0mmの黒色粒を 含む	硬	N8/0 (灰白色) N8/0 (灰白色)	70%	
第1220 218 図版55	B17F E	須恵部 坪倉	口径8.7 器高3.1	口縁部・体部内外面コロ ロ回転ナダ、底部外面ヘラ切 り→ナダ	2.0mm大の白色粒 を若干含む	硬	N8/0 (灰白色) N8/0 (灰白色) N8/0 (灰白色)	100%	93.6g
第1220 219 図版63	B17F E	須恵部 塚	口径9.8 器高6.4	口縁部・体部内外面コロ ロ回転ナダ、底部外面持ち ヘラケズリ	0.1~2.0mmの白色 砂粒を多く含む	硬	N6/0 (灰色) N5/0 (灰色) N5/0 (灰色)	90%	
第1220 220 図版一	B17F E + O E	須恵部 塚	口径 器高(30.0)	体部外面ザケ→カケ目、 内面出て丸扁	0.5mm以下の白 ・黒色粒を含む	中	10YR/1 (灰白色) N8/0 (灰白色) 10YR/1 (灰白色)	30%	
第1220 221 図版一	B17H E	須恵部 塚	口径(14.2) 器高3.7 底径(5.5)	口縁部・底部内外面コロ ロ回転ナダ	0.1~2.0mm大の白 色砂粒の0.1~1.0mm 大の黒色砂粒を含む	硬	N7/0 (灰白色) N4/0 (灰色) N4/0 (灰色)	5%未満	
第1220 222 図版63	B17H E + C D + I F	須恵部 塚	口径(25.4) 器高17.5	口縁部内外面・体部外面 上部内外面コロロ回転ナダ、 体部外面下部・底部外面 ヘラケズリ(R)或底部コナダ	0.5~2.0mm位の白 色砂粒を多く含む	硬	N4/0 (灰色) N6/0 (灰色) ---	60%	体部外面に 1~2mm位の 白・黒色外 面ヘラケズ リ
第1220 223 図版54	同上 B17H F	須恵部 塚	口径(9.0) 器高(2.1)	口縁部・体部内外面コロ ロ回転ナダ、底部ヘラケズリ →ナダ	0.5~1.0mm大の白 色砂粒を含む	中	N8/0 (灰白色) N7/0 (灰白色) N8/0 (灰白色)	35%	
第1220 224 図版一	B17I F	須恵部 塚	口径(10.2) 器高(1.6)	口縁部・体部内外面コロ ロ回転ナダ、底部ヘラケズリ	0.1~1.2mm大の白 色砂粒を含む	硬	N5/0 (灰色) N5/0 (灰色) N5/0 (灰色)	8%	
第1220 225 図版54	上層 B17I F	須恵部 塚	口径(4.1) 器高2.2	口縁部・体部内外面コロ ロ回転ナダ、底部ヘラケズリ (R)	2.0~3.0mm大の白 色粒を多く含む	硬	N8/0 (灰白色) 5Y7/1 (灰白色) ---	90%	外面自然釉 付着
第1220 226 図版54	上層 B17I F	須恵部 塚	口径(6.8) 器高2.8	口縁部・体部内外面コロ ロ回転ナダ、底部ヘラケズリ (R)	5.0mm大の白色粒 を若干含む	硬	N4/0 (灰色) N7/0 (灰白色)	90%	
第1220 227 図版一	上層 B17I F	須恵部 塚	口径(18.0) 器高(0.9)	口縁部内外面コロロ回転ナ ダ、底部内面ナダ、外面ヘ ラケズリ→コロロ回転ナダ	0.5mm大の白色砂 粒を含む	硬	N7/0 (灰白色) N7/0 (灰白色) N5/0 (灰色)	15%	



排 出 機 種	機 種 区 別	機 種 形 式	1. 排 出 高 h <sub>1</sub> (m)	調 整	粉 土	機 式	色 調 (内面) (外面) (前面)	残 存 率	備 考
第12300 229 図版一	B171 F	直線軸 機	口径(12.3) 最高(3.2) 底径(8.7)	口縁部・体部内外面クロコ 回転ナデ。底部外面へラ 切り・クロコ回転ナデ	1.0mm以下の白色 砂粒を含む	小	2.5GY7/1(青灰) N7/0 (灰白色) 2.5GY6/1(青灰)	25%	
第12300 229 図版一	上層 B171 F	直線軸 年令	口径(14.9) 最高(4.4)	口縁部・体部内外面クロコ 回転ナデ。底部外面へラ 切りナデ	0.1~1.0mm次の白・ 黒砂粒を含む	硬	N6/0 (灰色) N5/0 (灰色) N4/0 (灰色)	10%	口縁部面取り
第12300 230 図版一	B171 F	直線軸 年令	口径(17.4) 最高(5.3) 底径(12.9)	口縁部・体部内外面クロコ 回転ナデ。底部外面へラ 切り(R)・一重クロコ回転 ナデ	2.0~5.0mm以下の 白色砂粒を含む	硬	N7/0 (灰白色) N7/0 (灰白色) N6/0 (灰色)	25%	
第12300 231 図版一	B171 F	直線軸 長筒機	口径(10.7)	口縁部・体部内外面クロコ 回転ナデ	0.5~1.0mm次の白色 砂粒を含む	硬	N7/0 (灰白色) K6/0 (灰色) N7/0 (灰白色)	10%未満	外面自然磨 け層
第12300 232 図版一	B171 F	直線軸 機	口径(13.6) 最高(2.1)	体部内外面・底部外面クロ コ回転ナデ	0.5mm次の白色砂 粒を含む	中	N8/0 (灰白色) N6/0 (灰色) N7/0 (灰白色)	2%	
第12300 233 図版一	B171 F	直線軸 機	口径(5.5) 最高(11.3)	体部内外面・底部外面クロ コ回転ナデ	2.0mm次の白色砂 粒を含む	中	SBG5/1 (青灰色) SBG4/1 (暗青灰色) SP4/1 (暗青灰色)	8%未満	内外面自然 磨け層
第12300 254 図版67	B171 F ・H F	直線軸 機	口径(20.1) 最高(10.2)	口縁部内外面クロコ回転ナ デ。体部外面タテキ。内面 当て具層	1.0mm以下の白色 粒を含む	硬	N5/0 (灰色) N5/0 (灰色) N5/0 (灰色)	6%未満	口縁部内面・ 体部外面自然 磨け層
第12300 255 図版一	B171 F	直線軸 機	口径(25.9) 最高(6.4)	口縁部内外面クロコ回転ナ デ。体部外面タテキ。内面 ナデ	白色微細粒を多く 含む	硬	SB5/1 (青灰色) SB5/1 (青灰色) SB6/1 (赤褐色)	3%未満	
第12300 236 図版一	B171 F	直線軸 機	口径(14.2) 最高(14.2)	体部外面タテキ。内面ヘラ ケズリナデ。底部内外 面クロコ回転ナデ	1.0mm以下の白・ 黒色粒を含む	中・軟	7.5YR/1 (灰白色) 7.5YR/1 (灰白色) 7.5YR/1 (灰白色)	8%未満	断面青黒調 層
第12300 237 図版71	B171 F	土師器 壺	口径(18.8) 最高(4.5)	口縁部内外面ヨコナデ。体 部外面ハケ(7本/cm)。内 面ヘラケズリ	0.5~3.0mm次の白 色砂粒・赤色粒子 を多く含む	中	10YR3/2 (暗褐色) 5YR6/6 (褐色) 5YR5/4 (紅黄褐色)	5%未満	外面スズク 層
第12300 238 図版71	B171 F	土師器 壺	口径(19.8) 最高(5.3)	口縁部内外面ヨコナデ。体 部外面ハケ(7本/cm)。内 面ヘラケズリ	0.5~2.0mm次の白 色砂粒・赤色砂粒 を含む	中	7.5YR6/3(紅黄褐色) 2.5Y7/1 (灰白色) 5YR6/6 (褐色)	8%未満	断面やや黄 褐色
第12300 239 図版71	B171 F	土師器 壺	口径(21.4) 最高(5.0)	口縁部内外面ヨコナデ。体 部内外面ハケ(7本/cm)。内 面ヘラケズリ。頸部内面ハ ケ(6本/cm)	0.5~1.0mm次の白 色砂粒を含む	中	7.5YR7/4(紅黄褐色) 5YR6/6 (褐色) 5YR5/6 (明赤褐色)	6%未満	口縁部内面 吹きこぼれ 痕跡
第12400 240 図版74	上層 B171 F	土師器 カマド	口径(17.0) 最高(2.4)	口縁部内外面ヨコナデ。体 部内外面ハケ(7本/cm)。内 面ヘラケズリ。頸部内面ハ ケ(6本/cm)	2.0mm以下の白色 粒を多く含む。4. 0mm以下の砂粒・ 赤色粒を少し含む	硬	10YR7/2 (紅黄褐色) 10YR7/2 (紅黄褐色) 7.5YR4/6 (褐色)	—	内面区黄褐色 色に灰色
第12400 241 図版74	B171 F	土師器 カマド	口径(17.0) 最高(2.4)	口縁部内外面ヨコナデ。体 部内外面ハケ(7本/cm)。内 面ヘラケズリ。頸部内面ハ ケ(6本/cm)	細粒・赤色粒・白 色粒を含む	硬	7.5YR5/6 (暗褐色) 7.5YR5/6 (暗褐色) 10YK7/4 (紅黄褐色)	—	内面7.5以下の 内面区黄褐色 色に灰色
第12500 242 図版一	B171 F	土師器 壺	口径(17.0) 最高(2.4)	口縁部内外面ヨコナデ。体 部内外面ハケ(7本/cm)。内 面ヘラケズリ。頸部内面ハ ケ(6本/cm)	0.5~1.0mm次の白 色砂粒・赤色砂粒 を含む	中	2.5YR/2 (褐色) 10YR7/2 (紅黄褐色) 5YR6/6 (褐色)	25%	
第12500 243 図版一	B171 F	土師器 壺	口径(14.4) 最高(2.6)	口縁部外面ヨコナデ。底部 内外面ナデ	0.5~1.0mm次の白 色砂粒を多く含む	中	7.5YR6/6 (褐色) 2.5Y7/1 (灰白色) 7.5YR5/4(紅黄褐色)	15%	断面青黒調 層
第12500 244 図版一	上層 B171 F	土師器 年令	口径(17.9) 最高(3.5)	口縁部内外面ヨコナデ。体 部内外面ナデ	0.5~1.0mm次の白 色砂粒を含む	中	7.5YR5/2 (灰褐色) 7.5YR4/3 (褐色) 7.5YR5/6 (暗褐色)	10%	
第12500 245 図版117	B171 F	土師器 For豆	口径(17.9) 最高(3.5)	口縁部内外面ヨコナデ	白色微細粒を含む	中	5YR7/4 (紅黄褐色) 5YR7/4 (紅黄褐色) 5YR4/6 (赤褐色)	—	断面土層 「Y」
第12500 246 図版117	地区不明	直線軸 年令	口径(7.9) 最高(2.4)	口縁部内外面・体部内面 クロコ回転ナデ。底部外面 ヘラケズリ(R)	0.1~1.0mm次の灰 色砂粒を多く含む	中	N7/0 (灰白色) N7/0 (灰白色) N7/0 (灰白色)	20%	

採掘 区画	層位 地区	地層 地層	法 a, b,	調査	粉土	焼成 色調	(内面) (外壁) (断面)	残存率	調査
第12502 247 図説55	最下層 地区不明	須恵層 坏身 <sup>6)</sup>	口径4.4 高さ2.9 —	口縁部内外面・体部内面 口クロ回転ナデ。体部外面 ヘラズリ。底部外面ヘラ切 り未調整(R)	2.0mm以下の白・ 黒色細砂粒を多く 含む	硬 N8.0 N8.0 N8.0	(灰白色) (灰白色) (灰白色)	95%	表面層剥離 著
第12502 248 図説55	最下層 地区不明	須恵層 坏身 <sup>6)</sup>	口径2.9 高さ3.1 —	口縁部・体部内外面口クロ 回転ナデ。底部外面ヘラ切 りナデ	3.0mm大の白色粒 を若干含む	硬 N7.0 2.5GY7/1 2.5Y6/1	(灰白色) (黄緑色) (黄緑色)	50%	外面自然剥 離(断面ヘ ラ記号)
第12502 249 図説55	地区不明	須恵層 坏身	口径(9.1) 高さ3.6 —	口縁部内外面・体部内面口 クロ回転ナデ。体部外面下 部ヘラズリ(L)。底部 外面ヘラ切り未調整(R)	1.0mm以下の白・ 黒色粒子を多く含 む	硬 10Y76/2 2.5Y6/1 5Y5.1	(灰黄褐色) (灰褐色) (灰色)	50%	体部に深い 沈積2本。 底部外面ヘ ラ記号
第12502 250 図説—	地区不明	須恵層 坏身	口径(9.9) 高さ3.1 —	口縁部内外面・体部内面口 クロ回転ナデ。体部外面下 部ヘラズリ(L)。底部外面 ヘラ切り未調整	白・黒色粒子を含む	硬 N7.0 N7.0 N7.0	(灰白色) (灰白色) (灰白色)	15%	
第12502 251 図説60	地区不明	須恵層 坏身	口径9.6 高さ3.7 —	口縁部内外面・体部内面 口クロ回転ナデ。底部外面 手付ヘラズリ	1.0mm以下の白色 砂粒を含む	硬 N7.0 N5.0 N6.0	(灰色) (灰色) (灰色)	50%	内外面自然 剥離著
第12502 252 図説60	地区不明	須恵層 坏身 <sup>6)</sup>	口径6.0 高さ4.6 —	口縁部内外面・体部内面 口クロ回転ナデ。底部外面 ヘラ切りナデ	2.0mm大の白色粒 を含む	硬 N7.0 N7.0 N7.0	(灰白色) (灰白色) (灰白色)	80%	
第12502 253 図説60	地区不明	須恵層 坏身	口径(10.7) 高さ4.6 —	口縁部内外面・体部内面 口クロ回転ナデ。底部外面 ヘラ切り未調整(L)	2.0・5.0mm以下の 白・黒色砂粒を含む	硬 N7.0 N7.0 N7.0	(灰白色) (灰白色) (灰白色)	40%	
第12502 254 図説72	地区不明	土師器 甕	口径(32.0) 高さ7.8 —	口縁部外面コナダ。内面 コナダ・横ハケ(4本/4) 体部外面斜ハケ(4本/4)。 内面ヘラズリナデ	0.5・1.5mm大の白色 砂粒を含む	中 10Y77/2 7.5Y6/3 7.5Y6/4	(紅白・黄褐色) (紅白・褐色) (紅白・褐色)	5%未満	口縁部外面 スズ付著
第12502 255 図説69	地区不明	土師器 甕	口径(19.8) 高さ(11.5) —	口縁部内外面コナダ?体 部外面ナデ。内面ヘラズリ	0.5・3.0mm大の白・ 灰色砂粒を多く含 む。粗	中 5Y8/6 5Y8/6 2.5Y8/6	(黄赤褐色) (褐色) (黄赤褐色)	10%	口縁部面中 剥離著
第12502 256 図説71	地区不明	土師器 甕	口径(15.4) 高さ(8.5) —	口縁部外面コナダ。内面 コナダ・横ハケ(7本/4) 体部外面縦ハケ(4本/4)。 内面ヘラズリ	0.5・1.5mm大の白色 砂粒。1.5・3.0 mm大の褐色砂粒を含む	中 10Y78/3 7.5Y8/3 2.5Y8/3	(黄褐色) (紅白・褐色) (紅白・褐色)	8%未満	内面コナ ダ・横ハケ 剥離。外面 剥離著
第12602 267 図説53	下層 B11 R	須恵層 坏身	口径(11.4) 高さ3.9 —	口縁部・体部内外面口クロ 回転ナデ。底部ヘラ切り ナデ	1.0mm以下の白色 砂粒を多く含む	硬 N7.0 N7.0 N7.0	(灰白色) (灰白色) (灰白色)	25%	
第12602 268 図説60	B11 H R	須恵層 坏身	口径(15.2) 高さ3.75 底径10.0	口縁部・体部内外面口クロ 回転ナデ。底部外面ヘラ切 り口クロ回転ナデ	1.0mm以下の白色 砂粒を多く含む	硬 N7.0 N7.0 N7.0	(灰白色) (灰白色) (灰白色)	40%	口縁部中 剥離著
第12602 269 図説61	下層 B11 R	須恵層 高坏	— 高さ(4.25) 底径(3.5)	坏身・胴部内外面口クロ 回転ナデ	白・黒色砂粒を多 く含む	硬 N8.0 N8.0 N8.0	(灰白色) (灰色) (灰白色)	50%	胴部
第12602 269 図説77	上層 B11 H R	須恵層 甕	口径(22.6) 高さ(5.9) —	口縁部内外面口クロ回転 ナデ。体部外タテキリ・カ キ目。内面当て具痕	1.0mm以下の白色 砂粒を少し含む。 密	硬 N6.0 N6.0 6R7/1	(灰色) (灰色) (黄赤灰色)	10%	口縁部内外 面・体部内 面自然剥離 著
第12602 269 図説—	下層 B11 R	土師器 甕	口径(25.2) 高さ(7.0) —	口縁部内外面コナダ?体 部外面斜ハケ(5本/4)内面 ヘラズリ	2.0mm以下の白・ 赤色粒を多く含む	硬 7.5Y76/2 7.5Y76/2 7.5Y66/3	(黄褐色) (灰褐色) (紅白・褐色)	3%未満	表面層剥離 著
第12602 269 図説51-54	B11MY + I NY	須恵層 坏身	口径3.4 高さ2.6 —	口縁部内外面口クロ回転 ナデ。底部内面ナデ。外面 ヘラズリ(L)	5.0mm以下の白色砂 粒(1.0mm以下の白色 粒子多)と3.0mm以下 の黒色砂粒を含む	硬 N7.0 N6.0 N7.0	(灰白色) (灰色) (灰白色)	75%	
第12602 269 図説51-54	B11MY + NY	須恵層 坏身	口径(13.2) 高さ2.4 —	口縁部内外面口クロ回転 ナデ。底部内面ナデ。外面 ヘラズリ(L)	7.0mm以下の黒色 砂粒と3.0mm以下 の白色砂粒を含む	硬 N5.0 N4.0 2.5Y7/3	(灰色) (灰色) (紅白・赤褐色)	35%	
第12602 264 図説51-40	B11MY + NY	須恵層 坏身	口径11.6 高さ3.7 —	口縁部・体部内外面口クロ 回転ナデ。底部外面ヘラ切 り未調整(R)	1.0mm大以下の白・ 黒色粒を含む	硬 10Y7/1 N5.0 N8.0	(灰色) (灰色) (灰白色)	80%	内面自然剥 離(断面剥 離部狭み 大)
第12602 265 図説51-40	B11MY + NY	須恵層 坏身	口径(16.8) 高さ7.05 —	口縁部・体部内外面口クロ 回転ナデ。底部外面ナデ。 外面ヘラ切りナデ	1.0mm以下の白色 砂粒を多く含む	硬 N6.0 N6.0 6R6/1	(灰色) (灰色) (赤灰色)	50%弱	口縁部面狭 み大

採種 No. 採取	採種 地区	器種 器形	1. 注 a, b.	調製	動土	焼成	色調 (内面) (外面) (断面)	残存率	備考
第13600 300 図版61	B11MY ・(NY)	深色器 高平	—— 器高(2.6) 底径(3.4)	坏部内面ナゲ、脚部内外面 ロクロ回転ナゲ	0.5~1.0mm大の白色 砂粒を含む	中	N6/0 (灰色) N6/0 (灰色) N6/0 (灰色)	20%未満	脚部 脚部外面に 火傷
第13600 307 図版54	B11MY ・(NY)	深色器 坏蓋	口径17.2 器高5.0	口縁部内外面ロクロ回転ナ ゲ、蓋部ヘラケズリナゲ	0.5~1.5mm大の白色 砂粒を含む	硬	N7/0 (灰白色) N6/0 (灰色) SRS/1 (赤灰色)	75%	外面自然施 付蓋 内面火傷
第13000 368 図版一	B11MY ・(NY)	深色器 長頸盛	口径(10.6) 器高(11.2)	口縁部内外面ロクロ回転ナ ゲ、胴部に浅い穴縁2本	3.0mm以下の白・ 灰色砂粒を含む	硬	7.5Y6/1 (灰色) 7.5Y6/1 (灰色) SRS/1 (赤灰色)	20%	内外面自然 施付蓋
第13500 209 図版51-64	B11MY ・NY	深色器 長頸盛	口径9.4 器高(19.8)	口縁部・腹部外面上半部・ 内面ロクロ回転ナゲ、腹部 外面下半部ヘラケズリ(L)	1.0mm以下の白色 砂粒と1.0~3.0mmの 彩色粒(シャモ ット?)を含む	硬	N5/0 (灰色) N5/0 (灰色) N5/0 (灰色)	70%	浅い穴縁が 頸部2本・ 腹部1本
第13600 270 図版一	B11MY ・(NY)	深色器 盛	口径(21.0) 器高(7.6)	口縁部内外面ロクロ回転ナ ゲ、腹部外面タタキ→カキ 目、内面当て具痕	白・灰色塵粒を含 む	中	N4/0 (灰色) N8/0 (灰白色) N8/0 (灰白色)	5%未満	
第13600 271 図版51-67	B11MY ・(NY)	深色器 盛	口径(22.3) 器高23.3	口縁部内外面・腹部内面上半部 ロクロ回転ナゲ、腹部外面上 半部タタキ→カキ目、下半部 タタキ→カキ目、内面当て具痕、 把手部ナゲ	2.0mm以下の白色 粒、1.0~3.0mmの 白色粒(シャモ ット?)を多く含む	硬	N6/0 (灰色) N6/0 (灰色) N5/0 (灰色)	80%	腹部外面ス ス付蓋
第13600 272 図版一	B11MY ・(NY)	土師器 盛	口径(25.1) 器高(13.4)	口縁部内外面コナゲ、体 部外面ハケ(10本/段)、体 部内面上半部ナゲ・横ハ ケ下半部ヘラケズリ	2.0mm以下の白・ 赤色粒子を含む	硬	10YR7/2(にぶ・黄褐色) 10YR8/2(にぶ・赤褐色) 10YR7/2(にぶ・黄褐色)	20%未満	
第13600 273 図版72	B11MY ・(NY)	土師器 盛	口径(16.6) 器高14.5	口縁部内外面コナゲ、外面コ ナゲ・横ハケ(8本/段)、腹部 上半部横ハケ(10本/段)下半 部横ハケ(10本/段)内面ヘラケズ リ	2.0mm以下の砂粒 を含む	硬	10YR7/2(にぶ・黄褐色) 10YR7/2(にぶ・黄褐色) 10YR5/3(にぶ・黄褐色)	40%	外面スス付蓋 内面コナゲ、 底点こぼれ痕 跡
第12700 274 図版一	B11MY ・(NY)	深色器 甕?	—— 器高(10.3) 底径(12.2)	腹部外面タタキ→ロクロ回 転ナゲ、浅い穴縁2本間に 腰縁状文(5本・1)内面 当て具痕→ロクロ回転ナゲ	凝結、白色粒下を 多く含む	硬	N7/0 (灰白色) N7/0 (灰白色) N6/0 (灰白色)	15%未満	外面自然施 付蓋

第 107表 3034-O S 出土遺物観察表

発掘 調査 区画	層位 地区	遺物 種類	数量 1. a. 2. b.	調整	胎土	焼成	色調 (内面) (外面) (断面)	残存率	備考
第13001 1 図版75	B11JV	須恵器 坏蓋 (B)	口径12.5 器高2.4	口縁部内外面ロクロ回転ナ デ、腹部内面ナデ、外面ヘ ラケズリ→ロクロ回転ナデ	0.5~1.0mm大の白 灰色粒を多く含む	軟	7.5Y8/1 (灰白色) 7.5Y8/1 (灰白色) 7.5Y8/1 (灰白色)	80%	器底磨減顕 著
第13002 2 図版75	下層 B11JV ・KJ ・L ・M	須恵器 坏蓋	口径(13.3) 器高2.25	口縁部内外面ロクロ回転ナ デ、腹部内面ナデ、外面ヘ ラケズリ→ロクロ回転ナデ	0.1~0.3mmの白色 微粒を含む	硬	N7/0 (灰白色) N6/0 (灰白色) 5YR4/4 (こぶし黄褐色)	40%	
第13003 3 図版75	下層 B11JU ・JY	須恵器 坏蓋	口径(13.4) 器高1.9	口縁部内外面ロクロ回転ナ デ、腹部内面ナデ、外面ヘ ラケズリ→ロクロ回転ナデ	0.5mm以下の白色 粒を含む	硬	N6/0 (灰白色) N7/0 (灰白色) 2.5YR5/4 (こぶし黄褐色)	30%	5041-OX (B11JV)
第13004 4 図版75	下層 B11JV ・KU	須恵器 坏蓋	口径15.7 器高2.35	口縁部内外面ロクロ回転ナ デ、腹部内面ナデ、外面ヘ ラケズリ→ロクロ回転ナデ	白色微粒を含む	軟	5Y8/1 (灰白色) 5Y8/1 (灰白色) 5Y8/1 (灰白色)	80%	器底磨減顕 著
第13005 5 図版75	B11JV	須恵器 坏蓋 (B)	口径(14.6) 器高(1.7)	口縁部内外面ロクロ回転ナ デ、腹部外面へラ切り→ヘ ラケズリ→ロクロ回転ナ デ	細砂粒を含む	硬	N7/0 (灰白色) N7/0 (灰白色) N7/0 (灰白色)	45%	つまみ欠損
第13006 6 図版75	上層 B11LT	須恵器 坏蓋	口径(15.1) 器高2.4	口縁部内外面ロクロ回転ナ デ、腹部内面ナデ、外面ヘ ラケズリ→ロクロ回転ナデ	0.1~2.0mm大の白 灰色粒を含む	硬	N7/0 (灰白色) N7/0 (灰白色) N6/0 (灰白色)	25%	
第13007 7 図版75	B11JV	須恵器 坏蓋	口径(17.3) 器高2.3	口縁部内外面ロクロ回転ナ デ、腹部内面ナデ、外面ヘ ラケズリ→ロクロ回転ナデ	3.0mm以下の白 色粒を多く含む	硬	N6/1 (灰白色) N5/1 (灰白色) 7.5B1/1 (暗緑灰色)	60%	外面自然釉 付着
第13008 8 図版75	上層 B11JU ・JV ・KW	須恵器 坏蓋	口径18.3 器高3.3	口縁部内外面ロクロ回転ナ デ、腹部内面ナデ、外面ヘ ラケズリ(L)	2.5mmの白色粒を 含む	硬	N6/0 (灰白色) N6/0 (灰白色)	60%	5041-OXと 整合(B11J U・JV) 口縁部内面自 然釉付着
第13009 9 図版75	B11JV	須恵器 坏蓋 (B)	口径19.4 器高2.1	口縁部内外面ロクロ回転ナ デ、腹部外面へラケズリ→ ロクロ回転ナデ	細砂粒を含む	硬	N6/0 (灰白色) N6/0 (灰白色)	80%	5041-OXと 整合つまみ 欠損口縁部外面 自然釉付着
第13010 10 図版75	上層 B11KU	須恵器 坏蓋	口径13.4 器高0.8	口縁部内外面ロクロ回転ナ デ、腹部外面へラ切り→ロ クロ回転ナデ	0.5~2.0mm大の白 色砂粒を含む	硬	N6/0 (灰白色) N5/0 (灰白色) N6/0 (灰白色)	60%	5041-OXと 整合(B11K U) つまみ欠損
第13011 11 図版75	B11KU ・KV	須恵器 坏蓋	口径(12.7) 器高1.5	口縁部内外面ロクロ回転ナ デ、腹部外面へラ切り→ロ クロ回転ナデ	1.0mm以下の白色 砂粒を含む、密	硬	N5/0 (灰白色) N5/0 (灰白色) N5/0 (灰白色)	30%	
第13012 12 図版75	B11KU	須恵器 坏蓋 (B)	口径(13.1) 器高1.6	口縁部内外面ロクロ回転ナ デ、腹部外面へラ切り→ロ クロ回転ナデ	2.5mmの灰色粒を 含む	硬	N6/0 (灰白色) N6/0 (灰白色) N7/0 (灰白色)	35%	
第13013 13 図版75	上層 B11KT	須恵器 坏蓋	口径13.4 器高1.7	口縁部内外面ロクロ回転ナ デ、腹部外面へラ切り→ロ クロ回転ナデ	点	硬	N7/0 (灰白色) N7/0 (灰白色) N7/0 (灰白色)	90%	器蓋上縁 「井」
第13014 14 図版75	B11KV	須恵器 坏蓋 (B)	口径4.3 器高1.4	口縁部内外面ロクロ回転ナ デ、腹部内面ナデ、外面ヘ ラケズリ→ロクロ回転ナデ	密	硬	S84/0 (黄褐色) S84/0 (黄褐色) S84/0 (黄褐色)	95%	
第13015 15 図版75	B11KU	須恵器 坏蓋 (B)	口径17.9 器高1.8	口縁部内外面ロクロ回転ナ デ、腹部内面ナデ、外面ヘ ラケズリ→ロクロ回転ナデ	細砂粒を含む	硬	N7/0 (灰白色) N7/0 (灰白色) N7/0 (灰白色)	60%	
第13016 16 図版75	上層 B11LT	須恵器 坏蓋	口径19.0 器高1.9	口縁部内外面ロクロ回転ナ デ、腹部内面ナデ、外面ヘ ラケズリ→ロクロ回転ナデ	2.0mm大の白色粒 と0.1~0.3mm大の 白色粒を含む	硬	N7/0 (灰白色) N7/0 (灰白色) N7/0 (灰白色)	50%	
第13017 17 図版75	上層 B11JV ・KV	須恵器 坏蓋	口径(21.0) 器高1.9	口縁部内外面ロクロ回転ナ デ、腹部内面ナデ、外面ヘ ラケズリ→ロクロ回転ナデ	白色微粒を含む	硬	N6/0 (灰白色) N6/0 (灰白色)	40%	5041-OXと 整合、口縁部 外面自然釉付 着顕微鏡で
第13018 18 図版75	下層 B11JW	須恵器 坏蓋	口径(19.9) 器高2.9	口縁部内外面ロクロ回転ナ デ、腹部外面へラケズリ (L)	1.0mm以下の白色 砂粒を含む	硬	N5/0 (灰白色) N5/0 (灰白色) N6/0 (灰白色)	25%	

施設 名称	所在地	築 造 年 数	1. 広 さ a, b,	調 音	防 土	機 材	色 調 (内 面) (外 面) (断 面)	残 存 率	備 考
第1300 19 図版76	上 層 B11J W	築造 部	口径(27.8) 高さ(2.4)	口縁部内外面ロクロ回転ナ デ、扉部外面ヘラケズリ	1.0m以下の白色 砂粒を含む	中	2.5GY8/1 (灰白色) 2.5GY8/1 (灰白色) 2.5GY8/1 (灰白色)	10%	
第1300 30 図版76	上 層 B11K U ・ K V	築造 部	口径(30.2) 高さ(3.4)	口縁部内外面ロクロ回転ナ デ、扉部内面ナデ、外面ヘ ラケズリ→ロクロ回転ナデ	細砂粒を多く含む	硬	N7/0 (灰白色) N7/0 (灰白色) N2/0 (灰白色)	20%	504-O Xと 同一層内(B 11K V)層状 つばみの可能性 あり
第1300 21 図版76	上 層 B11K U	築造 部	口径(9.4) 高さ0.9	口縁部内外面ロクロ回転ナ デ、扉部外面ヘラケズリ→ ロクロ回転ナデ	1.0mm位の黒色砂 粒を少し含む	軟	5Y7/1 (灰白色) 7.5Y7/1 (灰色)	30%	外面自然蝕 付着
第1300 22 図版76	下 層 B11J V ・ J W	築造 部	口径(7.4) 高さ(0.9)	口縁部内外面ロクロ回転ナ デ、扉部外面ヘラケズリ→ ロクロ回転ナデ	2.0mm大の白色粒 を若干含む	硬	7.5Y6/1 (灰色) 7.5Y6/1 (灰色) 7.5Y6/1 (灰色)	10%	501-O Xと 同一層内 外面自然蝕付 着
第1300 23 図版76	上 層 B11 L T	築造 部	口径(13.1) 高さ(3.7)	口縁部内外面ロクロ回転ナ デ、扉部外面ヘラケズリ・ ロクロ回転ナデ	0.5-1.5mm大の白 色砂粒を含む	硬	N8/0 (灰白色) N7/0 (灰白色) N7/0 (灰白色)	25%	口縁部外面へ の付着 外面自然蝕付 着
第1300 24 図版76	B11 J U ・ F V	築造 部	口径13.3 高さ3.6	口縁部内外面ロクロ回転ナ デ、扉部内面ナデ、扉部 ナデ→ロクロ回転ナデ	白色粒子を含む	硬	N6/0 (灰色) N7/0 (灰白色) 10R4/4 (赤褐色)	95%	外面自然蝕 付着
第1300 25 図版—	下 層 B11 J V	築造 部	口径(14.3) 高さ(2.6)	口縁部内外面ロクロ回転ナ デ、扉部外面ヘラケズリ→ ロクロ回転ナデ	1.0mm以下の白色 粒子を多く含む	硬	N8/0 (灰白色) N7/0 (灰白色) N7/0 (灰白色)	10%	外面自然蝕 付着
第1300 26 図版76	B11K V ・ J U	築造 部	口径(27.4) 高さ3.9 底径(18.3)	口縁部内外面・体部内面ロ クロ回転ナデ、扉部ヘラ ケズリ(L)、底部外面ヘラ ケズリ→一部ロクロ回転ナ デ	1.0mm位の白色砂 粒を少し含む	軟	N8/0 (灰白色) N8/0 (灰白色) N8/0 (灰白色)	40%	504-O Xと 同一層
第1300 27 図版76	B11 J V	築造 部	口径(17.3) 高さ1.8	口縁部内外面・底部内面ロ クロ回転ナデ、外面ヘラ切 り→一部ロクロ回転ナデ	1.0mm以下の白・ 黒色粒を少し含む	軟	N8/0 (灰白色) N7/0 (灰白色) N7/0 (灰白色)	90%	
第1300 28 図版76	B11 J U ・ L T	築造 部	口径(16.9) 高さ1.7	口縁部内外面・底部内面ロ クロ回転ナデ、扉部ヘラ切 り→ロクロ回転ナデ	0.5mm位の白色砂 粒を含む	硬	N7/0 (灰白色) N8/0 (灰白色) 5P86/1 (青灰色)	15%	
第1300 29 図版76	上 層 B11 L T	築造 部	口径(19.8) 高さ1.8	口縁部内外面・底部内面ロ クロ回転ナデ、扉部ヘラ切 り→ロクロ回転ナデ	黒色	硬	N8/0 (灰白色) N8/0 (灰白色) N8/0 (灰白色)	40%	転写泥? 内面大層
第1300 30 図版—	上 層 B11 L T	築造 部	口径(19.3) 高さ2.0	口縁部内外面・体部内面ロ クロ回転ナデ、扉部ヘラ ケズリ(R)	白色粒子を含む	硬	N6/0 (灰色) N7/0 (灰白色) 2.5GY7/1 (黄トリア色)	18%	転写泥? 内面大層
第1310 31 図版76	B11 J V	築造 部	口径(12.9) 高さ3.5 底径(10.4)	口縁部・体部内外面ロクロ 回転ナデ、底部外面ヘラ切 り→ロクロ回転ナデ	1.0mm大の灰色粒 を含む	硬	7.5Y7/1 (灰白色) N7/0 (灰白色) N7/0 (灰白色)	30%	
第1310 32 図版76	上 層 B11 K U	築造 部	口径(12.9) 高さ3.6 底径(4.3)	口縁部・体部内外面ロクロ 回転ナデ、扉部外面ヘラ切 り→ロクロ回転ナデ	2.5mmの白色粒を 含む	硬	N8/0 (灰白色) N7/0 (灰白色) N8/0 (灰白色)	20%	
第1310 33 図版76	下 層 B11 J W	築造 部	口径(11.4) 高さ4.2 底径(9.2)	口縁部・体部内外面ロクロ 回転ナデ、扉部外面ヘラ切 り(R)→一部ロクロ回転ナ デ	2.0mmの茶色粒を 含む	硬	N7/0 (灰白色) N6/0 (灰色) N7/0 (灰白色)	40%	口縁部外面 自然蝕付着
第1310 34 図版76	最下層 B11 J W	築造 部	口径12.4 高さ3.5 底径9.4	口縁部・体部内外面ロクロ 回転ナデ、底部外面ヘラ切 り(R)→一部ロクロ回転ナ デ	3.5mmの白色粒を 含む	硬	N7/0 (灰白色) N7/0 (灰白色) N8/0 (灰白色)	60%	
第1310 35 図版77	B11 J V	築造 部	口径(13.3) 高さ4.5 底径8.6	口縁部・体部内外面ロクロ 回転ナデ、扉部外面ヘラ切 り→一部ロクロ回転ナ デ	4.0mmの灰色粒を 含む	硬	N8/0 (灰白色) N7/0 (灰白色) N7/0 (灰白色)	60%	
第1310 36 図版—	B11 K U	築造 部	口径(13.4) 高さ3.5 底径(9.2)	口縁部・体部内外面ロクロ 回転ナデ、扉部外面ヘラ切 り→一部ロクロ回転ナ デ	1.0mm位の白・黒 色粒を含む	硬	N6/0 (灰色) N6/0 (灰色) 2.5Y7.5/6 (黄褐色)	15%	
第1310 37 図版77	B11 J V	築造 部	口径14.2 高さ4.6 底径8.7	口縁部・体部内外面ロクロ 回転ナデ、体部外面ヘラ切 り→一部ロクロ回転ナ デ	0.1-0.5mm大の白 色粒子を含む	軟	7.5Y8/1 (灰白色) 2.5Y8/1 (灰白色) 7.5Y8/1 (灰白色)	75%	扉部被蝕 部

種別 No. 図説	部位 地区	警備 警形	J. 法量 a, b.	調整	胎土	地味	色調 (内面) (外面) (断面)	残存率	摘要
第13102 28 図説一	B11KU	須磨港 環身 (B)	口径(14.7) 高さ4.7 底径9.2	口縁部・体部内外面ロクロ 回転ナデ。体部外周下半部 ヘラックスリ。底部外面ヘラ 切り→ロクロ回転ナデ	黒砂粒を1.0mm位 の白色粒を多く含む。 1~2mmの肉 織を含む	硬	N6/0 (灰色) N5/0 (灰赤) N5/0 (灰赤)	25%	
第13103 30 図説二	上層 B11JW	須磨港 環身 (B)	口径(13.6) 高さ3.5 底径9.6	口縁部・体部内外面ロクロ 回転ナデ。体部外周下半部 ヘラックスリ。底部外面ヘラ 切り→ロクロ回転ナデ	黒砂粒を含む	硬	N7/1 (灰白色) N7/1 (灰白色) N7/1 (灰白色)	40%	
第13104 40 図説三	下層 B11KU	須磨港 環身 (B)	口径14.8 高さ4.2 底径10.3	口縁部・体部内外面ロクロ 回転ナデ。底部内面ナデ。 外面ヘラ切り(底)→一部ロ クロ回転ナデ	4.0mmの白色粒と4. 5mm褐色粒を含む	硬	N6/0 (灰赤) N6/0 (灰赤) N6/0 (灰赤)	70%	
第13104 41 図説二	B11KU	須磨港 環身 (B)	口径15.1 高さ4.2 底径10.6	口縁部・体部内外面ロクロ 回転ナデ。底部内面ナデ。 外面ヘラ切り(底)→一部ロ クロ回転ナデ	黒砂粒を多く含む 1.0~5.0mmの白色 粒も少し含む	硬	N7/0 (灰白色) N7/0 (灰白色) N7/0 (灰白色)	60%	
第13104 42 図説一	上層 B11LT	須磨港 環身 (B)	口径(16.6) 高さ4.8 底径11.8	口縁部・体部内外面ロクロ 回転ナデ。底部内面ナデ。 外面ヘラ切り(底)→一部ロ クロ回転ナデ	1.5mm以下の白色 砂粒を含む	硬	N7/0 (灰白色) N6/0 (灰赤) N7/0 (灰白色)	70%	
第13104 43 図説二	B11KU +JU +KS	須磨港 環身 (B)	口径(16.4) 高さ4.7 底径(11.6)	口縁部・体部内外面ロクロ 回転ナデ。体部外周下半部 の一部ヘラックスリ。底部内 面ナデ。外面ヘラックスリ→ ロクロ回転ナデ	1.0mm以下の白色 砂粒を多く含む	硬	S85/1 (黄白色) SCY5/1 (オリーブ灰色) SP96/1 (黄白色)	30%	9041-OXと 混合(91KS- 4U) 内面自然釉付
第13104 44 図説三	B11JV	須磨港 環身 (B)	口径(16.4) 高さ4.9 底径(11.0)	口縁部・体部内外面ロクロ 回転ナデ。体部外周下半部 の一部ヘラックスリ。底部内 面ナデ。外面ヘラックスリ→ ロクロ回転ナデ	1.0mm以下の白色 粒を若干含む	硬	N7/0 (灰白色) N7/0 (灰白色) N7/0 (灰白色)	30%	
第13104 45 図説二	下層 B11JV	須磨港 環身 (B)	口径(16.0) 高さ6.3 底径10.7	口縁部・体部内外面ロクロ 回転ナデ。体部外周下半部 の一部ヘラックスリ。底部内 面ナデ。外面ヘラックスリ→ ロクロ回転ナデ	黒砂粒を多く含む	硬	N7/0 (灰白色) N7/0 (灰白色) N7/0 (灰白色)	60%	
第13104 46 図説二	上層 B11KV	須磨港 環身 (B)	口径(13.2) 高さ4.5 底径9.6	口縁部・体部内外面ロクロ 回転ナデ。底部外面ヘラ切 り(R)→一部ロクロ回転ナ デ	3.0mm以下の白色 顔料(シモモット) を多く含む。青	硬	N5/0 (灰赤) N5/0 (灰赤) N5/0 (灰赤)	30%	9041-OXと 混合(91KS- 4U) 断面中層減
第13104 47 図説一	B11JV	須磨港 環身 (B)	口径(13.1) 高さ4.1 底径(8.3)	口縁部・体部内外面ロクロ 回転ナデ。底部外面ヘラ切 り→ロクロ回転ナデ	1.5mm以下の白色 砂粒を含む	硬	N7/0 (灰白色) N6/0 (灰赤) N7/0 (灰白色)	30%	
第13104 48 図説二	上層 B11KU	須磨港 環身 (B)	口径(14.0) 高さ3.7 底径(9.0)	口縁部・体部内外面ロクロ 回転ナデ。底部外面ヘラ切 り→一部ロクロ回転ナデ	1.0mm以下の白色 粒を含む	硬	N7/0 (灰白色) N6/0 (灰赤) N7/0 (灰白色)	40%	
第13104 49 図説一	B11W +JW	須磨港 環身 (B)	口径(14.6) 高さ4.0 底径(8.2)	口縁部・体部内外面ロクロ 回転ナデ。体部外周下半部 ヘラ切り→一部ロクロ回転ナ デ	黒砂粒と1.0mm位 の白色粒を多く含 む	硬	N7/0 (灰白色) N7/0 (灰白色) N7/0 (灰白色)	25%	断面中層 減
第13104 50 図説二	B11JV	須磨港 環身 (B)	口径(14.8) 高さ4.9 底径(11.0)	口縁部・体部内外面ロクロ 回転ナデ。底部外面ヘラク スリ→ロクロ回転ナデ	3.0mmの白色粒と2. 0mmの灰色粒を多 く含む	軟	N7/0 (灰白色) N8/0 (灰赤) N7/0 (灰白色)	20%	断面中層 減
第13104 51 図説二	上層 B11LT	須磨港 環身 (B)	口径(15.0) 高さ4.4 底径(10.7)	口縁部・体部内外面ロクロ 回転ナデ。底部内面ナデ。 外面ヘラ切り→一部ロクロ 回転ナデ	1.0mm以下の白色 粒を含む	硬	N7/0 (灰白色) N6/0 (灰赤) N7/0 (灰白色)	30%	外面火傷
第13104 52 図説一	B11KU	須磨港 環身 (B)	口径(14.2) 高さ4.2 底径(10.0)	口縁部・体部内外面ロクロ 回転ナデ。体部外周下半部 一部ヘラックスリ。底部外面 ヘラ切り→ロクロ回転ナデ	4.0mmの白色粒 を含む	硬	N7/0 (灰白色) N6/0 (灰赤) N7/0 (灰白色)	40%	
第13104 53 図説二	B11JV	須磨港 環身 (B)	口径(16.7) 高さ4.4 底径(11.4)	口縁部・体部内外面ロクロ 回転ナデ。体部外周下半部 一部ヘラックスリ。底部外面 ヘラ切り→ヘラックスリ(L)	白・灰・黒色の細 砂粒を含む	軟	N8/0 (灰白色) N7/0 (灰赤) N8/0 (灰白色)	40%	口唇面取り
第13104 54 図説一	B11JV +JW	須磨港 環身 (B)	口径(19.1) 高さ6.3 底径(13.1)	口縁部・体部内外面ロクロ 回転ナデ。体部外周下半部 一部ヘラックスリ。底部外面 ヘラ切り→ヘラックスリ	白色細砂粒を多く 含む	硬	N6/0 (灰赤) N7/0 (灰白色) N7/0 (灰白色)	30%	
第13104 55 図説二	下層 B11JV	須磨港 環身 (B)	口径(19.2) 高さ6.6 底径(13.6)	口縁部・体部内外面ロクロ 回転ナデ。体部外周下半部 一部ヘラックスリ。底部外面 ヘラ切り→ヘラックスリ	1.0~2.0mmの白・ 褐色粒を含む	硬	N6/0 (灰赤) N6/0 (灰赤) 7.5YR6/6 (褐色)	30%	
第13104 56 図説二	下層 B11JV	須磨港 環身 (B)	口径(19.7) 高さ5.5 底径(14.7)	口縁部・体部内外面ロクロ 回転ナデ。体部外周下半部 ヘラックスリ→ロクロ回転ナ デ	白・黒色粒を含む	硬	10Y7/1 (灰白色) N5/0 (灰赤) 10Y7/1 (灰白色)	10%	瓦質を呈す る

採掘 No. 採掘 区画	掘立 地区	掘形	1. 採 掘 量 h. b.	調 査	粘 土	焼 成	色 調 (内面) (外面) (断面)	残 存 率	備 考
第13120 57 採掘一	下層 B11J V →W→Z	掘形 年身	口径(19.7) 最高3.2 最高14.5	口縁部・体部内外面口クロ 回転ナゲ、体部外面下半部 へラケズリ、底面口クロ回転 ナゲ、底部外面へラ切り→ヘ ラケズリ	白・黒色粒を含む	硬	N7/0 (灰白色) N7/0 (灰白色) N7/0 (灰白色)	30%	5041-OXと 同一(第11 J区)
第13120 58 採掘2	B11J V →W→Z	掘形 年身	口径(18.8) 最高(4.1)	口縁部内外面・体部内面口 クロ回転ナゲ、体部外面へ ラケズリ(L)・口クロ回転 ナゲ→一部へラミダキ	白色粒を含む	中	N7/0 (灰白色) N7/0 (灰白色) N7/0 (灰白色)	10%	5041-OXと 同一(第11J 区)断面2本
第13120 59 採掘3	下層 B11J V	掘形 年身	口径(21.5) 最高3.9 最高(17.9)	口縁部・体部内外面口クロ 回転ナゲ、体部外面下半部 一部へラケズリ、底部内面 へラ切り→へラケズリ	2.0mm次の白色粒を含む	硬	N7/0 (灰白色) N7/0 (灰白色) N7/0 (灰白色)	10%	外面大層
第13220 60 採掘7	上層 B11K U	掘形 年身	口径(9.4) 最高3.9 (A)	口縁部・体部内外面口クロ 回転ナゲ、底部内面ナゲ、 外面へラ切り未調整(R)	1.0mm次の白色粒 と0.1~0.5mmの白 色粒を含む	硬	N7/0 (灰白色) N7/0 (灰白色) N7/0 (灰白色)	40%	
第13220 61 採掘8	最下層 B11J W	掘形 年身	口径(9.0) 最高4.3	口縁部内外面・体部外面上 半部口クロ回転ナゲ、下半 部へラケズリ(R)、底部外 面へラ切り未調整(R)	2.0mmの砂粒を含む	硬	N6/0 (灰色) N6/0 (灰色) N6/0 (灰色)	50%	
第13220 62 採掘8	上層 B11L T	掘形 年身	口径(11.0) 最高3.7	口縁部・体部内外面口クロ 回転ナゲ、底部外面へラ切 り未調整(R)	細砂粒を含み、0.5 mm位の白色粒を少 し含む	硬	N6/5 (灰色) N6/6 (灰色) 50R4/4 (褐色色)	70%	口縁部正 大 丸ぶくれ
第13220 63 採掘8	上層 B11L T	掘形 年身	口径(11.0) 最高3.2	口縁部・体部内外面口クロ 回転ナゲ、底部外面へラ切 りナゲ	1.0~2.0mm位の黒 色砂粒、0.5~1.0 mm位の白色砂粒を 含む	硬	K6/0 (灰色) N5/0 (灰色) N7/0 (灰白色)	40%	
第13220 64 採掘7	下層 B11J W	掘形 年身 (A)	口径(12.7) 最高3.5	口縁部・体部内外面口クロ 回転ナゲ、底部外面へラ切 り未調整(R)	細砂粒を少し含む	硬	N6/0 (灰色) N6/0 (灰色) N6/0 (灰色)	30%	
第13220 65 採掘7	下層 B11J W	掘形 年身 (A)	口径(13.3) 最高3.5	口縁部・体部内外面口クロ 回転ナゲ、底部内面ナゲ、 外面へラ切り未調整(R)	細砂粒を0.5mm位 の白色粒を含む	硬	N5/0 (灰色) N4/0 (灰色) N5/0 (灰色)	30%	
第13220 66 採掘7	上層 B11L T	掘形 年身	口径(13.2) 最高2.9	口縁部・体部内外面口クロ 回転ナゲ、底部外面へラ切 り未調整	1.0mm以下の白・ 黒色粒を含む	硬	10D6G/1 (青灰色) 50G6/1 (青灰色) 10D6G/1 (青灰色)	23%	外面大層
第13220 67 採掘7	下層 B11J W	掘形 年身	口径(11.4) 最高3.2	口縁部・体部内外面口クロ 回転ナゲ、底部内面ナゲ、 外面へラ切りナゲ	細砂粒を少し含む	硬	N7/0 (灰白色) N7/0 (灰白色) N2/0 (灰白色)	50%	外面自然熱 付層
第13220 68 採掘5	上層 B11K U	掘形 年身 (A)	口径(12.5) 最高3.3	口縁部・体部内外面口クロ 回転ナゲ、底部外面へラ切 り→一部ナゲ	細砂粒を含む	硬	5P87/1 (褐色灰色) 5P87/1 (褐色灰色) 5P87/1 (褐色灰色)	25%	
第13220 69 採掘7	B11J V	掘形 年身 (A)	口径(11.7) 最高3.5	口縁部・体部内外面口クロ 回転ナゲ、底部外面へラ切 り未調整	細砂粒と0.5~1.0 mm位の白・黒色粒 を多く含む	硬	N7/0 (灰白色) N7/0 (灰白色) N6/0 (灰色)	40%	断面調整 層
第13220 70 採掘7	下層 B11J W	掘形 年身 (A)	口径(13.4) 最高3.1	口縁部・体部内外面口クロ 回転ナゲ、底部外面へラ切 り→一部ナゲ	細砂粒を含む	硬	N7/0 (灰白色) N7/0 (灰白色) N7/0 (灰白色)	30%	
第13220 71 採掘一	下層 B11J W	掘形 年身 (A)	口径(13.0) 最高3.6	口縁部・体部内外面口クロ 回転ナゲ、底部外面へラ切 り→一部ナゲ	細砂粒を少し含む	硬	N8/0 (灰白色) N8/0 (灰白色) N8/0 (灰白色)	15%	5041-OX と同一(第11 J区)
第13220 72 採掘7	下層 B11K V	掘形 年身 (A)	口径(13.6) 最高3.4	口縁部・体部内外面口クロ 回転ナゲ、底部外面へラ切 り→一部ナゲ	3.0mmの白色粒を 含む	硬	N6/0 (灰色) N6/0 (灰色) N7/0 (灰白色)	45%	内面大層
第13220 73 採掘7	B11J U	掘形 年身 (A)	口径(18.1) 最高3.8	口縁部・体部内外面口クロ 回転ナゲ、底部外面へラ切 り→ナゲ	細砂粒を多く含み、 1.0mm位の白色粒 を少し含む	硬	N4/0 (灰色) N6/0 (灰色) N4/0 (灰色)	25%	
第13220 74 採掘7	下層 B11J V	掘形 年身 (A)	口径14.1 最高3.6	口縁部・体部内外面口クロ 回転ナゲ、底部外面へラ切 り→一部ナゲ	細砂粒を少し含む	硬	5P67/1 (褐色灰色) N7/0 (灰白色) 5P67/1 (褐色灰色)	60%	外面自然熱 付層
第13220 75 採掘一	B11J V	掘形 年身 (A)	口径(14.6) 最高3.4	口縁部・体部内外面口クロ 回転ナゲ、底部内面ナゲ、 外面へラ切り→一部ナゲ	細砂粒と1.0mm位 の白色粒を含む	硬	N6/0 (灰色) N6/0 (灰色) N6/0 (灰色)	25%	外面大層

種別 版	所在地	施設 種別	1. 注 2. a. b.	調整	土質	地質	色調 (内観) (外観) (断面)	残存率	調査
第13202 70 図説79	B11JV	供養塔 坪寺 (A)	口径(14.0) 高さ3.5	口縁部・体部内外面ロクロ 回転ナデ、底部外周へラ切 り→ロクロ回転ナデ	細砂粒と1.0mm位の 白色粒を含む	硬	N6.0 (灰色) N6.0 (灰色) N6.0 (灰色)	30%	外面欠損
第13202 77 図説79	下層 B11JV	供養塔 坪寺 (A)	口径(14.6) 高さ3.2	口縁部・体部内外面ロクロ 回転ナデ、底部外周へラ切 り→ヘラズリ→ナデ	細砂粒を少し含む	硬	N7.0 (灰白色) N7.0 (灰白色) N7.0 (灰白色)	35%	
第13202 78 図説79	下層 B11J,T	供養塔 坪寺	口径(18.0) 高さ4.5	口縁部・体部内外面ロクロ 回転ナデ、底部外周へラ切 り→ナデ	1.0mm位の白色砂 粒を含む	中	10Y8/1 (灰白色) N6.0 (灰色) 10Y8/1 (灰白色)	15%	口部全面欠 け
第13202 79 図説79	B11KU	供養塔 坪寺 (A)	口径(18.9) 高さ5.0	口縁部・体部内外面ロクロ 回転ナデ、底部外周へラ切 り→ナデ	3.5mmの白色粒を 含む	軟	N8.0 (灰白色) N5.0 (灰色) N8.0 (灰白色)	70%	口部全面欠 け
第13202 80 図説一	下層 B11JV ・KU	供養塔 坪寺	高さ(2.5)	底部外周へラ切り未調整 (上・内面ナデ)	0.5~1.5mm大の白 色砂粒を含む	中	N5.0 (灰色) N6.0 (灰色) 10R3/2 (赤褐色)	30%	5041-OXと 摩合(B11J) 内外面欠 損外周へラ 切
第13202 81 図説82	下層 B11KU ・JV	供養塔 坪	口径(21.1) 高さ(6.1)	口縁部内外面ロクロ回転ナ デ	0.5~1.0mm大の白 色砂粒を含む	中	N5.0 (灰色) N4.0 (灰色) N6.0 (灰色)	8%	
第13202 82 図説80	下層 B11KU ・JV・JU	供養塔 坪	口径(20.7) 高さ(10.2)	口縁部・体部外周へラケズ リ→ロクロ回転ナデ→横紋 輪文状へラミダキ、内面 ロクロ回転ナデ	0.5~1.0mm大の白 色砂粒を含む	中	N7.0 (灰白色) N7.0 (灰白色) N7.0 (灰白色)	10%	5041-OXと 摩合(B11J) 内外面欠 損口部全面欠 け
第13202 83 図説80	B11JV	供養塔 坪	口径(23.4) 高さ(11.6)	口縁部・体部外周へラケズ リ→ロクロ回転ナデ→横紋 輪文状へラミダキ、内面 ロクロ回転ナデ	4.0mmの白色粒を 含む	硬	N8.0 (灰白色) N8.0 (灰白色) N8.0 (灰白色)	30%	口部全面欠 け
第13202 84 図説一	B11KU	供養塔 坪	口径(20.2) 高さ(4.4)	口縁部内外面・体部内面ロ クロ回転ナデ・体部外周へ ラケズリ→ロクロ回転ナデ	0.5mm大の白色砂 粒を含む	軟	2.5Y7/1 (灰白色) 2.5Y7/3 (黄褐色) 2.5Y7/1 (灰白色)	8%未満	器底全面剥 離
第13202 85 図説80	B11JS ・JV・JV ・KV・KV	供養塔 坪	口径(19.3) 高さ(17.4)	口縁部内外面・体部内面ロ クロ回転ナデ、外周へラケ ズリ→ロクロ回転ナデ	0.5~2.0mm位の白 色砂粒を多く含む	中	5Y6/1 (灰色) 5Y5/1 (灰色) 5Y5/1 (灰色)	50%	5041-OXと 摩合(B11J) 内外面全面 剥離
第13202 86 図説80	B11JW	供養塔 坪	口径9.6 高さ15.3 底径10.9	口縁部内外面・体部外周上 半部・内面ロクロ回転ナデ、 体部内周下半部・底部外周 へラケズリ→ロクロ回転ナ デ	1.0mm大の白色砂 粒を含む	硬	N7.0 (灰白色) N6.0 (灰色) N7.0 (灰白色)	96%	口縁部内面・ 体部内面・底 部内周全面剥 離
第13202 87 図説80	下層 B11JW	供養塔 兵衛堂	口径(9.4) 高さ(10.9)	口縁部内外面ロクロ回転ナ デ	1.0mm大の白色砂 粒を含む	硬	N6.0 (灰色) N4.0 (灰色) N4.0 (灰色)	25%	内外面自然 剥離
第13202 88 図説82	下層 B11KU	供養塔 兵衛堂	高さ(11.0)	口縁部内外面ロクロ回転ナ デ	0.5~3.0mmの白・ 灰・黒色粒を含む	硬	7.5Y7/1 (灰白色) N7.0 (灰白色) N6.0 (灰色)	5%以下	器底全面剥 離2本内面 自然剥離
第13202 89 図説81	B11JV ・LT・KV	供養塔 堂	高さ(10.5)	口縁部内外面・体部外周上 半部・内面ロクロ回転ナデ、 体部外周下半部へラケズリ →ロクロ回転ナデ	0.5~2.0mm大の白 灰・褐色粒を含む	硬	N4.0 (灰色) 2.5Y6/1(1)帯灰(一灰色) 10R4/3 (赤褐色)	40%	器底内外面・ 体部外周上 半部全面剥 離F-48
第13202 90 図説81	B11JV ・W・KV ・KV・LT	供養塔 堂	高さ(19.4) 底径(9.9)	口縁部内外面・体部外周上 半部・内面ロクロ回転ナ デ、体部外周下半部へラケ ズリ→ロクロ回転ナデ、底 部外周へラ切り→ナデ	1.0mm大の白色砂 粒を含む	硬	N6.0 (灰色) 7.5Y5/1 (青灰色) N6.0 (灰色)	30%	5041-OXと 摩合(B11J) 内外面自然 剥離F-48
第13202 91 図説82	上層 B11J ・KU	供養塔 堂	口径(12.8) 高さ(4.6)	口縁部・体部内外面ロクロ 回転ナデ	0.5mm大の白色砂 粒を含む	硬	5B7/1 (暗黄灰色) 5B6/1 (青灰色) 5B7/1 (暗黄灰色)	3%未満	5041-OXと 摩合(B11J) 内外面全面 剥離F-48
第13202 92 図説81	アズ B11KU ・JV ・JV	供養塔 堂	口径(11.9) 高さ(15.2) 底径(13.8)	口縁部内外面・体部外周上 半部・内面ロクロ回転ナ デ、体部外周下半部へラケ ズリ→ロクロ回転ナデ、底 部外周へラケズリ→ナデ	0.5~1.0mm大の白 色砂粒を含む	中	2.5Y7.5/3(1)赤(赤褐色) 10R4/1 (暗黄灰色) 5Y7.5/4 (赤(赤褐色))	30%	5041-OXと 摩合(B11 KU)
第13202 93 図説一	B11JV ・JU・KV	供養塔 堂	高さ(16.6) 底径(12.9)	体部内周へラケズリ→ロ クロ回転ナデ、内面ロクロ 回転ナデ、底部外周へラ切 り→ナデ	0.5~3.0mmの白・ 灰・黒・褐色粒を 含む	硬	N8.0 (灰白色) N8.0 (灰白色) N8.0 (灰白色)	30%	5041-OXと 摩合(B11J) 内外面全面 剥離F-48
第13202 94 図説81	B11JV ・W・KV	供養塔 平瓦	高さ(10.1) 底径(11.6)	体部外周上半部・内面ロ クロ回転ナデ、体部外周下 半部へラケズリ→ロクロ 回転ナデ、底部外周半部へ ラケズリ→ナデ	3.0mm以下の白・ 褐色粒を多く含む	中	N7.0 (灰白色) N6.0 (灰色) N7.0 (灰白色)	30%未満	器底内面・体 部内周上半部 自然剥離



海 図 記 号	層 位 地 区	基 礎 形 状	1. 法 量 h, b, k	調 査	地 土	地 質	色 調	(内面) (外面) (断面)	残 存 率	備 考
第13302 96 図解82	下層 B11J V ・ K U	両側壁 型	口径(7.5) 壁高(3.8)	口縁部内外面・底部外面上 部部・内面コナゲ回転ナデ ・底部外面へラケズリ →コナゲ回転ナデ	0.5m大の白色砂 粒を含む	硬	7.5Y7/1 N6/0 7.5Y8/1	(灰白) (灰色) (灰白)	10%未満	外面自然熱 付着
第13302 96 図解81	下層 B11J W	両側壁 型	口径(5.1) 壁高(8.4)	口縁部内外面・内面コナ ゲ回転ナデ・底部外面下 部へラケズリ→コナゲ 回転ナデ・底部外面へラケ ズリ	0.5m大の白色砂 粒を含む。黒色粒 を多く含む	硬	N8/0 N8/0 N8/0	(灰白) (灰白) (灰色)	10%未満	外面自然熱 付着
第13302 97 図解一	B11K U	両側壁 型	口径(4.5) 壁高(5.0)	口縁部内外面コナゲ回転 ナデ・底部外面へラケズ リ→一部コナゲ回転ナ デ	白色塵粒を含む	硬	N6/0 N6/0 N4/0	(灰色) (灰色) (灰色)	10%未満	底部外面へ ラケズリ
第13302 98 図解83	上層 B11J W ・ L T	両側壁 高年	口径(6.6) 壁高(6.6)	口縁部内外面コナゲ回転 ナデ	1.0m大の白色砂 粒を含む	硬	N5/0 N5/0 N6/0	(灰色) (灰色) (灰色)	30%	
第13402 99 図解81	B11J V ・ H1-25 ・ J1-25 ・ K1-KV ・ L1-VV	両側壁 型	口径(12.6) 壁高(3.4)	口縁部内外面コナゲ回転 ナデ・底部外面タタキ。内 面当て丸鼠→ナデ	1.0~3.0m位の白・ 黒色粒を含む	中	N7/0 N7/0 N7/0	(灰白) (灰色) (灰白)	40%	5041-OXと 聯合 5042の内面・ 外面自然熱 付着
第13402 100 図解83	上層 B11K U	両側壁 型	口径(17.0) 壁高(3.8)	口縁部内外面コナゲ回転 ナデ	0.5~2.0mの白・ 灰・黒・黒色粒を 含む	硬	N7/0 N6/0 N7/0	(灰色) (灰色) (灰色)	5%	
第13402 101 図解83	上層 B11J W ・ J U-JV ・ J W ・ J W	両側壁 型	口径(23.1) 壁高(3.7)	口縁部外面タタキ・コナ ゲ回転ナデ・内面コナ ゲ回転ナデ	1.0m大の白色砂 粒を含む	硬	N6/0 N6/0 N7/0	(灰色) (灰色) (灰白)	3%未満	5041-OXと 聯合(B11L ・ J V)コナ ゲ回転ナ デに沈積土
第13402 102 図解81	B11J V ・ K T-KU ・ L T	両側壁 型	口径(15.0) 壁高(21.0)	口縁部内外面コナゲ回転 ナデ・底部外面タタキ・カ キ。内面当て丸鼠	0.1~1.0m位の白・ 灰色砂粒を多く含 む	中	N7/0 N7/0 N7/0	(灰白) (灰色) (灰色)	90%	5041-OX と聯合(B11 K T-L T)
第13402 103 図解83	下層 B11J V	両側壁 型	口径(5.8) 壁高(3.2)	口縁部外面コナゲ回転 ナデ・底部外面タタキ・ 内面コナゲ回転ナデ	0.5~2.0m大の白 色砂粒を含む	硬	N4/0 N4/0 N4/0	(灰色) (灰色) (灰色)	—	5041-OXと 聯合 コナゲ回転 ナデに沈 積土
第13402 104 図解一	B11J V (A)	土師器 年	口径(18.2) 壁高(2.9)	口縁部内外面コナゲ・底 部外面へラケズリ。内面 に斜射線文	0.5m大の白色砂 粒を含む	硬	2.5Y8/2 5YR6/6 5YR6/6	(灰白) (褐色) (褐色)	8%未満	108と同層 の可塑性た り。
第13502 105 図解一	B11K U	土師器 年 (A)	口径(18.2) 壁高2.5	口縁部内外面コナゲ? 底 部外面へラケズリ。調整 不明	白・赤色粒を含む	軟	2.5Y8/2 7.5YR7/4 7.5YR7/4	(灰白) (赤み褐色) (赤み褐色)	10%	
第13502 106 図解一	B11J V (A)	土師器 年 (A)	口径(18.6) 壁高(3.2)	口縁部内外面コナゲ。底 部外面へラケズリ	0.1~1.0m位の白・ 黒色砂粒を含む	中	5YR7/4 7.5YR7/4 7.5YR8/2	(赤み褐色) (赤み褐色) (灰白)	5%未満	暗文の有無 不明
第13502 107 図解一	B11K U (A)	土師器 年 (A)	口径(18.8) 壁高3.3	口縁部内外面コナゲ。底 部外面へラケズリ	0.5m位の白色砂 粒を含む	硬	2.5Y8/2 2.5Y8/2 2.5Y8/2	(灰白) (灰白) (灰白)	5%未満	暗文の有無 不明
第13502 108 図解83	B11J V (A)	土師器 年 (A)	口径(20.6) 壁高3.3	口縁部内外面コナゲ。底 部外面へラケズリ。内 面に斜射線文	1.0m大の白色砂 粒を含む	中	2.5Y8/2 5YR3/3 10YR7/1	(灰白) (赤み褐色) (灰白)	30%	5041-OXと 聯合 108と同層の 可塑性あり
第13502 109 図解83	B11J W ・ J V (A)	土師器 年 (A)	口径(21.6) 壁高2.9	口縁部内外面コナゲ。底 部外面へラケズリ。内 面に斜射線文	0.1~6.0m大の白 色砂粒と小石。赤 色粒子を含む	硬	5YR6/6 5YR6/6 5YR6/6	(褐色) (褐色) (褐色)	12%未満	
第13502 110 図解一	下層 B11J V (A)	土師器 年 (A)	口径(15.8) 壁高3.8	口縁部内外面コナゲ。底 部外面へラケズリ。調整 不明	0.5~2.0m大の白・ 灰・赤色粒を含む	硬	5YR7/6 5YR7/8 7.5YR8/4	(褐色) (褐色) (黄褐色)	15%	暗文の有無 不明
第13502 111 図解一	B11K V ・ J V (A)	土師器 年 (A)	口径(17.6) 壁高3.9	口縁部内外面コナゲ? 底 部外面へラケズリ。調整 不明	0.1~1.0m位の白・ 黒色砂粒を含む	軟	7.5YR7/4 5YR6/4 5Y6/1	(赤み褐色) (赤み褐色) (褐色)	10%	口縁部外面 黒線あり
第13502 112 図解83	B11K V (A)	土師器 年 (A)	口径(19.9) 壁高3.8	口縁部内外面コナゲ? 底 部外面へラケズリ。調整 不明	1.0m大の白・赤 色粒子を多く含む	中	5YR7/6 5YR6/6 2.5Y7/1	(褐色) (褐色) (灰白)	25%	
第13502 113 図解83	上層 B11K U (A)	土師器 年 (A)	口径(22.3) 壁高3.8	口縁部内外面コナゲ? 底 部外面へラケズリ。調整 不明	1.0m大の白色砂 粒。赤色粒子を含 む	中	7.5YR6/6 5YR6/6 10YR7/1	(褐色) (褐色) (灰白)	25%	

種別 No. 図番	部位 地区	器 器形	1. 法 量 h. b.	調 整	胎 土	焼 成	色 調 (内面) (外面) (断面)	残 存 率	備 考
第13502 114 図版83	下層 B11 J V	土師器 Ⅱ (B)	口径16.8 器高3.7 底径12.3	口縁部内外面ヨコナデ、底 部内面ナデ、外面ヘラケズ リ→ナデ、内面に斜線刺 文	赤・白色粘土微砂 粒を含むが、胎土 はまわめて滑せん	硬	2.5YR6/6 (褐色) 2.5YR6/8 (褐色) 2.5YR7/8 (褐色)	40%	
第13502 115 図版83	B11 K U ・ J V	土師器 Ⅱ	口径(15.4) 器高3.4	口縁部内外面ヨコナデ、底 部内面ナデ	0.1~0.5mmの白・ 黒色砂粒を含む	中	10YR3/1 (黄褐色) 7.5YR4/2 (黄褐色) 10YR7/1 (灰白色)	5%	購入品? 暗文なし?
第13502 116 図版一	B11 J V	土師器 Ⅱ	口径(16.0) 器高3.5	口縁部内外面ヨコナデ、底 部内面ナデ、外面ヘラケズ リ→ナデ	0.5mm大の白色砂 粒を含む	中	10YR3/3 (黄褐色) 2.5Y4/1 (黄褐色) 5YR6/6 (褐色)	10%未満	購入品? 暗文なし?
第13502 117 図版一	下層 B11 J V	土師器 Ⅱ	口径(13.0) 器高3.4	口縁部内外面ヨコナデ、底 部内面ナデ、外面ヘラケズ リ→ナデ	0.5~2.0mmの白・ 黒・褐色粒を含む	硬	7.5YR7/6 (褐色) 5YR7/6 (褐色) 10YR8/4 (黄褐色)	5%	暗文なし
第13502 118 図版一	下層 B11 J W	土師器 Ⅱ	口径(13.5) 器高4.0	口縁部内外面ヨコナデ、底 部内面ナデ、外面ヘラケズ リ→ナデ	0.1~3.0mm大の白 色砂粒約1~1.0mm 次の黒・褐色砂粒 を含む	硬	5YR6/6 (褐色) 5YR6/4 (灰白褐色) 10YR7/2 (灰白黄褐色)	5%	暗文なし
第13502 119 図版83	B11 J V	土師器 Ⅱ	口径(14.3) 器高3.2	口縁部外面ヨコナデ、底部 外面ヘラケズリ→ナデ、内 面斜線刺文、調整不明	0.1~2.0mm位の白 色砂粒を含む	軟	10YR7/1 (灰白色) 10YR5/1 (黄褐色) 10YR7/1 (灰白色)	40%	5041-OX と融合 購入品?
第13502 120 図版一	B11 J V	土師器 Ⅱ	口径(14.7) 器高(3.4)	口縁部内外面ヨコナデ、底 部内面ナデ、外面ヘラケズ リ→ナデ	0.5mm大の白色砂 粒4.0mm以下の小 石、赤色粒子を含 む	中	10YR3/1 (黄褐色) 10YR4/1 (黄褐色) 5YR6/6 (褐色)	30%	購入品? 暗文なし?
第13502 121 図版84	B11 J V	土師器 Ⅱ	口径(14.5) 器高3.2	口縁部内外面ヨコナデ?底 部内面ナデ、調整不明	0.1~1.0mm位の白 色・赤色粒子を含 む	軟	7.5YR7/4 (灰白褐色) 7.5YR7/4 (灰白褐色) 7.5YR7/4 (灰白褐色)	40%	
第13502 122 図版84	B11 K U	土師器 Ⅱ	口径(15.9) 器高3.4	口縁部内外面ヨコナデ、底 部内面ナデ、外面ヘラケズ リ→ナデ	0.1~1.0mm位の白・ 灰色砂粒あり	中	5YR6/6 (褐色) 5YR6/6 (褐色) 5YR6/6 (褐色)	15%	口縁部外面 に黒斑
第13502 123 図版84	B11 K V	土師器 Ⅱ	口径(16.1) 器高3.5	口縁部内外面ヨコナデ、底 部内面ナデ、外面ヘラケズ リ→ナデ?器面斜線刺 文	0.5mm大の白色砂 粒と赤色粒子を含 む	中	5YR2/1 (黄褐色) 10YR7/4 (灰白褐色) 2.5YR1/1 (灰白色)	10%	購入品?
第13502 124 図版84	上層 B11 L T	土師器 Ⅱ	口径(18.0) 器高(3.7)	口縁部内外面ヨコナデ、底 部内面ナデ、外面ヘラケズ リ	0.1~0.5mm大の白 色粒子、2.0~4.0 mm大の白色の小石 を含む	硬	10YR6/1 (灰白色) 5YR7/4 (灰白褐色) 5YR6/6 (褐色)	10%	暗文なし?
第13502 125 図版84	上層 B11 K U	土師器 Ⅱ	口径(14.7) 器高3.8	口縁部内外面ヨコナデ?底 部内面ナデ?外面ヘラケズ リ→ナデ、器面斜線刺 文、調整不明	0.5~4.0mmの白・ 灰・黒・赤色粒を 含む、片殻?を含む	硬	2.5YR4/2 (黄褐色) 2.5YR6/8 (褐色) 7.5YR6/6 (褐色)	30%	
第13502 126 図版84	上層 B11 L T	土師器 Ⅱ	口径(15.0) 器高3.05	口縁部内外面ヨコナデ、内 面ナデ、外面ヘラケズリ →ナデ、器面斜線刺 文	1.0mm大の白色砂 粒を含む	中	10YR7/2 (灰白黄褐色) 10YR7/2 (灰白黄褐色) 5YR6/6 (褐色)	30%	暗文なし
第13502 127 図版一	下層 B11 K U	土師器 Ⅱ	口径(15.7) 器高3.1	口縁部内外面ヨコナデ、底 部内面ナデ、内面に斜線 刺文	0.5~2.0mm大の白・ 灰・褐色粒を含む	硬	2.5YR6/8 (褐色) 2.5YR6/8 (褐色) 5YR7/6 (褐色)	40%	B11 J Uと 融合
第13502 128 図版一	下層 B11 J V	土師器 Ⅱ	口径(16.2) 器高2.5	口縁部内外面ヨコナデ、底 部内面ナデ、外面ヘラケズ リ→ナデ、内面に斜線刺 文	1.0mm大の白色砂 粒を含む	中	5YR7/4 (灰白褐色) 2.5YR6/6 (褐色) 2.5YR4/4(灰白黄褐色)	5%未満	
第13502 129 図版一	下層 B11 J W	土師器 Ⅱ	口径(16.6) 器高2.9	口縁部内外面ヨコナデ、底 部内面ナデ、内面に斜線 刺文	0.1~1.0mm大の白・ 黒色砂粒を含む	硬	5YR6/4 (灰白褐色) 5YR7/4 (灰白褐色) 7.5YR7/3 (灰白褐色)	5%	
第13502 130 図版一	上層 B11 K T	土師器 Ⅱ	口径(20.1) 器高2.6	口縁部内外面ヨコナデ、底 部内面ナデ、外面ヘラケズ リ→ナデ	0.5mm大の白色砂 粒、チャート等1.0 mm前後の角ばった 砂粒を含む	中	2.5YR3/5 (灰白色) 5YR6/4 (灰白褐色) 5YR3/6 (黄褐色)	10%	暗文なし?
第13502 131 図版一	下層 B11 J V	土師器 Ⅱ	口径(21.8) 器高2.8	口縁部内外面ヨコナデ、底 部内面ナデ、外面ヘラケズ リ、内面に斜線刺 文	0.5~1.5mmの白・ 黒・赤色粒を含む	硬	2.5YR6/8 (褐色) 5YR6/8 (褐色) 5YR3/8 (黄褐色)	5%	器面外面に 黒斑
第13502 132 図版84	B11 J V	土師器 Ⅱ	口径(23.2) 器高3.0	口縁部内外面ヨコナデ、器 面斜線刺文、調整不明	1.0mm大の白色砂 粒を含む	中	2.5YR6/6 (褐色) 2.5YR7/6 (褐色) 2.5Y5/1 (黄褐色)	20%	

邦国 No. 図番	部位 地区	器種 形式	1. 流量 a, b,	調査	胎土	焼成	色調 (内面) (外面) (断面)	残存率	備考
第13028 133 図版一	B11 J U	土師器 甕	口径(22.0) 器高2.5	口縁部内外面ヨコナゲ、底部内面ナゲ、外面ヘラケズリナゲ、内面斜射状線文	白色塵粒を少し含む	中	5YR6/6 (褐色) 5YR6/6 (褐色) 2.5YR/2 (灰白色)	5%	未済
第13029 134 図版一	下層 B11 J V	土師器 甕	口径(23.2) 器高2.1	口縁部内外面ヨコナゲ、底部内面ナゲ、外面ヘラケズリ、背面斜射線文	0.5mm 大の白色砂粒を含む	中	2.5YR/2 (灰白色) 5YR6/6 (褐色) 2.5Y6/1 (黄褐色)	5%	未済
第13030 135 図版一	B11 J V	土師器 甕	口径(23.4) 器高(2.3)	口縁部内外面ヨコナゲ、底部内面ナゲ、外面ヘラケズリ、内面斜射状線文	0.1~1.0mm位の白・灰色砂粒を含む	中	5YR7/4 (紅褐色) 5YR7/4 (紅褐色) 5YR7/4 (紅褐色)	5%	未済
第13032 136 図版一	下層 B11 J W	土師器 甕	口径(29.4) 器高2.6 底径(23.4)	口縁部内外面ヨコナゲ、底部内面ナゲ、外面ヘラケズリナゲ、内面斜射状線文	1.0mm 大の白色砂粒・赤色粒子を含む	中	5YR6/6 (褐色) 5YR6/6 (褐色) 7.5YR7/1 (暗褐色)	15%	器面斜射線文 外面に黒染
第13038 137 図版一	上層 B11 L T	土師器 甕	口径(19.2) 器高2.5	口縁部内外面ヨコナゲ、底部内面ナゲ	0.5mm 以下の白色塵粒を多く含む	軟	7.5YR4/2 (灰褐色) 5YR4/2 (灰褐色) 5YR6/6 (褐色)	15%	購入品? 暗文なし
第13039 138 図版一	上層 B11 L T	土師器 甕	口径(18.1) 器高(2.9)	口縁部内外面ヨコナゲ、底部内面ナゲ、器面斜射線文	0.1~1.0mm 大の白色砂粒を含む、灰質塵粒も含む	中	5YR6/6 (褐色) 2.5YR6/6 (褐色) 5YR6/6 (褐色)	5%	
第13039 139 図版一	下層 B11 J W	土師器 杯	口径(4.5) 底径(11.0)	体部内外面ヨコナゲ、底部内外面ナゲ、体部外面ヘラミダキ、内面斜射・線状線文	0.1~0.3mm 大の白色塵粒と0.1~0.3mm 大の褐色粒を含む	硬	2.5YR6/6 (褐色) 5YR6/6 (褐色) 5Y4/6 (赤褐色)	5%	
第13040 140 図版一	B11 L T	土師器 甕	口径(13.9) 器高2.6	口縁部内外面ヨコナゲ、器面斜射線文、調範不明	0.5~3.0mm 位の白・灰色砂粒を含む	軟	2.5YR/2 (灰褐色) 2.5YR/2 (灰褐色) 2.5YR/2 (灰褐色)	40%	口唇部ナゲ 内面にスズ付着
第13020 141 図版一	B11 L T	土師器 甕	口径(15.5) 器高2.4		赤色(シマレット?) 白色粒子、小石を含む	中	7.5YR8/3 (淡黄褐色) 10YR7/3 (紅・黄褐色) 7.5YR8/3 (淡黄褐色)	18%	
第13028 142 図版一	B11 K U	土師器 甕	口径(26.4) 器高4.0	口縁部・肩部内外面クロロ回転ナゲ	0.5~2.0mm 位の白・赤褐色砂粒を赤色粒子(シマレット?)を含む	中	2.5YR/2 (灰白色) 5YR6/6 (褐色) 2.5YR/2 (灰白色)	30%	器面外面に 線文
第13028 143 図版一	上層 B11 J W	土師器 杯蓋	器高(1.36)	器面外面クロロ回転ナゲ、内面ナゲ	0.1~1.0mm 大の白・赤褐色粒子を含む	硬	5YR6/4 (紅褐色) 5YR6/6 (褐色) 5YR6/6 (褐色)	5%	
第13028 144 図版一	上層 B11 K V	土師器 年蓋	器高(1.45)	器面外面クロロ回転ナゲ、内面ナゲ	0.1mm 大の白色砂粒を含む	硬	5YR6/6 (褐色) 5YR6/4 (紅褐色) 5YR6/6 (褐色)	5%	
第13028 145 図版一	B11 L T	土師器 高杯	口径(22.7) 器高(2.1)	口縁部内外面ヨコナゲ、内面ナゲ、外面ヘラケズリナゲ、内面に斜射・線状線文	0.5~1.0mm 位の白色砂粒、赤色粒子を含む	中	5YR6/6 (褐色) 5YR6/6 (褐色) N4/0 (灰色)	5%	年部
第13020 146 図版一	B11 J V ・KV	土師器 高年	口径(28.6) 器高(2.8)	内面クロロ回転ナゲ、外面ヘラケズリナゲ、内面に斜射・線状線文、外面一帯ヘラミダキ	0.1~0.5mm 位の白色砂粒を含む	中	5YR6/6 (褐色) 5YR7/4 (紅褐色) 5YR6/6 (褐色)	10%	年部
第13020 147 図版一	下層 B11 J W ・JV	土師器 高年	口径(28.2) 器高(2.1)	口縁部内外面ヨコナゲ、内面ナゲ、外面ヘラケズリナゲ、内面に斜射・線状線文	0.5mm 大の白色砂粒を含む	中	7.5YR7/4 (紅褐色) 5YR6/6 (褐色) 10YR8/3 (淡黄褐色)	4%	年部 B11 J V の外 器面斜射線文
第13020 148 図版一	B11 J V	土師器 高年	口径(20.3) 器高(1.8)	内面クロロ回転ナゲ、外面ヘラケズリナゲ、内面に斜射・線状線文、外面一帯ヘラミダキ	0.5~1.0mm 大の白色砂粒を含む	中	2.5YR6/6 (褐色) 2.5YR6/6 (褐色) 10YR8/2 (灰白色)	10%	年部
第13020 149 図版一	B11 J V	土師器 高年	口径(25.0) 器高(2.0)	外面ヘラケズリによる凹状リ、内面ナゲ、胎土粒上層斜射	0.1~2.0mm 大の白色砂粒、1.0mm 大の赤褐色粒を含む	硬	5YR5/8 (黄褐色) 5YR5/8 (黄褐色) 5YR5/4 (紅褐色)	45%	脚部
第13020 150 図版一	B11 K U	土師器 高年	口径(16.7) 器高(1.36)	器面内面ナゲ、器面外面ヘラケズリによる凹状リ、内面ナゲ、器面内外面ヨコナゲ	0.1~1.0mm 大の白色砂粒を含む	硬	10YR7/3 (紅・黄褐色) 7.5YR7/6 (褐色) 2.5YR6/6 (褐色)	25%	脚部
第13020 151 図版一	B11 K V	土師器 甕	口径(16.7) 器高(1.2)	口縁部内外面ヨコナゲ、器面外面斜射ハケ(6本/2)、内面ヘラケズリ、器面内面斜射ハケ、口縁部線取リ	白色細砂を含む、面	硬	5YR6/1 (黄褐色) 5YR6/4 (紅褐色) 5YR6/4 (紅褐色)	10%	口縁部内面 吹きこぼれ痕跡

部 号 知 照 開 票	層 位 地 区	築 造 形 式	1. a. b.	調 整	胎 土	焼 成	色 調 (内面) (外面) (断面)	残 存 率	備 考
第13708 132 図説87	B11KV -JV	土庫部 壁	口径(14.4) 壁高(6.5)	口縁部内外面コナガ、体 部外面ハケ(5本/㎡)内面 ヘラミヤ、口唇部面取り	0.5~1.0mm位の白 色砂粒を含む	硬	10YR6/3 (淡黄褐色) 5YR6/3 (にじみ褐色) 2.5YR/2 (灰白色)	5%	断面観察 者
第13708 153 図説91	B11JV	土庫部 壁	口径(16.4) 壁高(7.3)	口縁部内外面コナガ、体 部外面ハケ(4本/㎡)内 面ヘラミヤ、口唇部面取り	0.5~4.0mmの白・ 灰・褐色粒を含む	硬	7.5YR7/4 (にじみ褐色) 7.5YR5/6 (黄褐色) 5YR6/6 (褐色)	10%	内面コナ ガ
第13708 154 図説87	B11JV	土庫部 壁	口径(16.8) 壁高(8.2)	口縁部外面コナガ、内面 コナガ・体ハケ(5本/㎡)、 体部外面ハケ(5本/㎡)内 面ヘラミヤ、口唇部面取り	1.0~2.0mmの白・ 灰・褐色粒を含む	硬	10YR4/2 (淡黄褐色) 7.5YR6/8 (褐色) 7.5YR6/8 (褐色)	10%	5041-OXと 整合(5041J) 口縁部内面 コナガ
第13708 155 図説88	下層 B11LT	土庫部 壁	口径(16.6) 壁高(7.2)	口縁部内外面コナガ、外 面コナガ・体ハケ(5本/㎡)、内面 ヘラミヤ、口唇部面取り	0.5~3.0mmの白・ 灰・黒・赤色粒を含む	硬	7.5YR8/4 (淡黄褐色) 7.5YR6/6 (褐色) 7.5YR6/6 (褐色)	10%以下	外面スチ 付者
第13708 156 図説89	B11KV -JV	土庫部 壁	口径(18.1) 壁高(10.1)	口縁部外面コナガ、内面 コナガ・体ハケ(5本/㎡)、 体部外面ハケ(5本/㎡)内 面ヘラミヤ、口唇部面取り	0.5mm以下の白色砂 粒を含む、4.0mm 以下の砂粒を含む	硬	2.5YR/3 (黄褐色) 7.5YR6/3 (にじみ褐色) 2.5YR/2 (灰白色)	10%未満	口縁部内面 吹きこぼれ 痕跡
第13708 157 図説89	B11JV	土庫部 壁	口径(18.8) 壁高(12.0)	口縁部外面コナガ、内面 コナガ・体ハケ(5本/㎡)、 体部外面上中部ハケ・下 中部ハケ(5本/㎡)内面 ヘラミヤ、口唇部面取り	0.1~1.0mmの位の 白・黒色砂粒を含む	硬	10YR6/2 (淡黄褐色) 7.5YR7/3 (にじみ褐色) 10YR7/2 (にじみ黄褐色)	10%	内面スチ、体 部内面コナ ガ付者 口縁部内面 吹きこぼれ 痕跡
第13708 158 図説88	B11JV -JU	土庫部 壁	口径(27.2) 壁高(8.4)	口縁部外面コナガ、内面 コナガ・体ハケ、体部外 面ハケ(5本/㎡)、内面 ヘラミヤ、口唇部面取り	0.5~2.0mm位の白・ 黒色砂粒を含む	中	2.5YR/2 (灰白色) 2.5YR/2 (灰白色) 2.5YR/2 (灰白色)	5%	5041-OXと 整合(5041J) 外面スチ付 者
第13708 159 図説89	B11JW -1W	土庫部 壁	口径(29.3) 壁高(11.4)	口縁部内外面コナガ、体 部外面ハケ(5本/㎡)、内 面ヘラミヤ・コナガ、口 唇部面取り	0.1~1.0mm位の灰・ 黒色砂粒を多く含む	硬	10YR8/2 (灰白色) 5YR7/6 (褐色) 10YR8/2 (灰白色)	10%	体部外面に スチ付者
第13708 160 図説87	B11JU -JV	土庫部 壁	口径(27.3) 壁高(13.4)	口縁部内外面コナガ、体 部外面ハケ(5本/㎡)、内 面ヘラミヤ、口唇部面 取り	0.5~3.0mmの白・ 黒色砂粒を含む	中	10YR8/3 (淡黄褐色) 10YR8/2 (灰白色) 10YR8/2 (灰白色)	20%	5041-OXと 整合(5041J) 体部外面一 部スチ付者
第13708 161 図説87	B11JV -JW -JV	土庫部 壁	口径(28.7) 壁高(14.4)	口縁部内外面コナガ、体 部外面ハケ(5本/㎡)、内 面ヘラミヤ、口唇部面 取り	0.1~3.0mm位の白 色砂粒を含む	硬	7.5YR7/3 (にじみ褐色) 7.5YR6/4 (にじみ黄褐色) 10YR8/2 (灰白色)	10%	5041-OXと 整合(5041J) 口縁部外面 スチ付者
第13708 162 図説87	上層 B11LU	土庫部 壁	口径(30.8) 壁高(11.9)	口縁部内外面コナガ、体 部外面ハケ(5本/㎡)、内 面ヘラミヤ・コナガ、口 唇部面取り	細砂粒を多く含む	硬	2.5YR/2 (灰黄色) 2.5YR/2 (灰黄色) 2.5YR/2 (灰黄色)	10%	体部外面に スチ付者
第13808 163 図説90	B11JV	土庫部 壁	口径(14.8) 壁高(8.5)	口縁部内外面コナガ、体 部外面ハケ(9本/㎡)、内 面ヘラミヤ、口唇部面 取り	1.0mm位の褐色砂 粒を多く含む	硬	7.5YR7/3 (にじみ褐色) 7.5YR6/1 (黄褐色) 7.5YR7/4 (にじみ褐色)	5%	体部外面に スチ付者
第13808 164 図説90	下層 B11JV	土庫部 壁	口径(16.0) 壁高(5.5)	口縁部外面コナガ、内面 コナガ・体ハケ(5本/㎡) 体部外面ハケ(6本/㎡)内 面ヘラミヤ、口唇部面 取り	1.0mm以下の白色 砂粒を含む	中	7.5YR4/2 (淡黄褐色) 7.5YR6/4 (にじみ黄褐色) 7.5YR6/8 (黄褐色)	6%	内面コナ ガ
第13808 165 図説90	Aゼ B11TW -JV	土庫部 壁	口径(16.2) 壁高(6.65)	口縁部外面コナガ、内面 コナガ・体ハケ(5本/㎡) 体部外面ハケ(6本/㎡)内 面ヘラミヤ・コナガ、口 唇部面取り	0.1~1.0mmの白・ 黒色砂粒を含む	硬	7.5YR7/2 (黄褐色) 10YR7/2 (にじみ黄褐色) 10YR8/2 (灰白色)	5%	
第13808 166 図説91	B11JU	土庫部 壁	口径(16.2) 壁高(5.9)	口縁部外面コナガ、内面 コナガ・体ハケ(5本/㎡) 体部外面ハケ(6本/㎡)内 面ヘラミヤ、口唇部 面取り	0.5~3.0mmの白・ 灰・赤褐色粒を含む	硬	10YR8/4 (にじみ黄褐色) 10YR8/4 (にじみ黄褐色) 10YR8/4 (淡黄褐色)	5%	
第13808 167 図説91	B11JV	土庫部 壁	口径(16.35) 壁高(5.5)	口縁部内外面コナガ、体 部外面ハケ(8本/㎡)、内 面ヘラミヤ	0.1~0.3mm大の白 色粒と1.0~2.0mm 大の褐色粒を含む	中	7.5YR5/1 (黄褐色) 7.5YR6/3 (にじみ褐色) 7.5YR6/4 (にじみ褐色)	5%	口縁部内面 吹きこぼれ 痕跡P-1
第13808 168 図説88	下層 B11KU	土庫部 壁	口径(17.0) 壁高(7.4)	口縁部内外面コナガ、体 部外面ハケ(5本/㎡)内 面ヘラミヤ・コナガ、口 唇部面取り	1.0~3.0mmの白・ 灰・黒・赤褐色粒 を含む	硬	7.5YR7/6 (褐色) 5YR7/6 (黄褐色) 7.5YR7/6 (褐色)	5%	内面コナ ガ
第13808 169 図説91	B11JV	土庫部 壁	口径(16.8) 壁高(6.2)	口縁部内外面コナガ、体 部外面ハケ(5本/㎡)内 面ヘラミヤ・コナガ、口 唇部面取り	0.1~2.0mm大の白 色砂粒を含む	硬	7.5YR8/3 (淡黄褐色) 5YR7/4 (にじみ褐色) 2.5Y3/1 (黄褐色)	5%	内面吹きこ ぼれ痕跡
第13808 170 図説88	上層 B11KU	土庫部 壁	口径(17.8) 壁高(15.15)	口縁部内外面コナガ、体 部外面ハケ(5本/㎡)内 面ヘラミヤ、口唇部面 取り	0.1~1.5mm大の白 色砂粒を含む	硬	7.5YR5/4 (にじみ黄褐色) 10YR7/1 (灰白色) 5YR6/6 (褐色)	5%	

邦 国 No. 図 号	所 在 地 区	設 計 形 式	1. 出 量 (t/h)	調 整	胎 土	機 成	色 調 (内面) (外面) (断面)	成 存 率	備 考
第13800 171 図号90	B11J V	土師窯 窯	口径(18.4) 窑高(5.4)	口縁部内外面ヨコナガ、体 部外面斜ハケ(15本/α)、 内面ヘラツクリ、口部 面取	0.1~2.0mm大の白 色砂粒を含む	硬	7.5YR7/4 (L(白-褐色)) 10YR5/2 (黄褐色) 5YR6/4 (L(白-褐色))	5%	内面スチフ 着
第13802 172 図号90	B11J V	土師窯 窯	口径(18.7) 窑高(7.2)	口縁部外面ヨコナガ、内面 斜ハケ(15本/α)、体部 外面斜ハケ(5本/α)、内面 ヘラツクリ、口部面取	0.1~2.0mm大の白 色砂粒と7.0mm大 の白・黒色の石を含む	硬	2.5Y7/3 (黄褐色) 10YR6/4 (L(白-褐色)) 5YR6/6 (黄褐色)	7%	内面面取 断面内面 赤色こぼ れ痕跡
第13804 173 図号90	B11J V	土師窯 窯	口径(26.0) 窑高(7.4)	口縁部外面ヨコナガ、内面 斜ハケヨコナガ、体部 外面斜ハケ(15本/α)内面 ヘラツクリ、口部面取	2.0mm以下の白色 砂粒を含む	硬	5YR5/6 (黄褐色) 5YR6/8 (黄褐色) 5YR6/8 (黄褐色)	5%未満	
第13806 174 図号90	上層 B11J W	土師窯 窯	口径(26.3) 窑高(7.06)	口縁部内外面ヨコナガ、体 部外面斜ハケ(5本/α)内面 ナツテ(1)口部面取	0.1~1.5mm大の白・ 黒色砂粒を含む	硬	7.5YR7/4 (L(白-褐色)) 7.5YR7/4 (L(白-褐色)) 10YR6/2 (黄褐色)	7%	断面やや凹 減
第13808 175 図号89	B11J V -KV- W -J W	土師窯 窯	口径(28.1) 窑高(8.5)	口縁部内外面ヨコナガ、体 部外面斜ハケ(7本/α)内面 ヘラツクリ、口部面取	0.5mm大の白色砂 粒と2.0mm以下の 砂粒を多く含む	中	2.5Y8/3 (黄褐色) 10YR8/3 (黄褐色) 2.5Y8/3 (黄褐色)	3%未満	体部内面スチ フ着
第13810 176 図号90	B11J W	土師窯 窯	口径(27.5) 窑高(8.7)	口縁部内外面ヨコナガ、体 部外面斜ハケ(8本/α)、内 面ヘラツクリ、口部 面取	0.5~3.0mm位の白・ 褐色砂粒を多く含む	中	5YR7/4 (L(白-褐色)) 7.5YR7/4 (L(白-褐色)) 10YR8/2 (黄褐色)	5%	内面オコゲ 付着痕跡
第13812 177 図号89	B11J V	土師窯 窯	口径(26.4) 窑高(10.1)	口縁部内外面ヨコナガ、体 部外面斜ハケ(6本/α)内面 ナツテ(1)口部面取、断面 面取	1.0~6.0mm位の白・ 灰・黒色砂粒を含む	中	2.5Y8/3 (黄褐色) 2.5Y8/2 (黄褐色) 2.5Y8/2 (黄褐色)	5%未満	
第13816 178 図号1	B11J U -K V	土師窯 窯	口径(27.8) 窑高(8.0)	口縁部外面ヨコナガ、内面 斜ハケ(15本/α)-ヨコナガ、 体部外面斜ハケ(5本/α)内面 ナツテ(1)口部面取、口部 面取	0.5~1.0mm大の白 色砂粒を含む	中	7.5YR7/4 (L(白-褐色)) 7.5YR7/4 (L(白-褐色)) 2.5Y8/2 (黄褐色)	3%未満	内面オコゲ 付着痕跡
第13818 179 図号90	上層 B11J W	土師窯 窯	口径(28.0) 窑高(8.2)	口縁部外面ヨコナガ、内面 斜ハケ(15本/α)、内面 ナツテ(1)口部面取、口部 面取	1.0mm大の白・赤 色砂粒を多く含む	中	2.5Y8/2 (黄褐色) 2.5Y8/2 (黄褐色) 2.5Y8/1 (黄褐色)	3%未満	180と同等 の可能性あり
第13822 180 図号1	B11J V	土師窯 窯	口径(26.0) 窑高(6.2)	口縁部内外面ヨコナガ、体 部外面斜ハケ(7本/α)、内 面ナツテ、口部面取、口部 面取	2.0mm以下の白・ 赤色砂粒を含む	中	10YR7/3 (L(白-褐色)) 10YR7/3 (L(白-褐色)) 10YR7/2 (L(白-褐色))	6%	上層B11J W と断面凹 減内面 面取
第13826 181 図号93	B11K V	土師窯 窯	口径(13.8) 窑高(12.2)	口縁部内外面ヨコナガ、体 部外面斜ハケ(5本/α)内 面ヘラツクリ、口部面取	0.1~2.0mm位の白・ 黒色砂粒を含む	中	7.5YR7/3 (L(白-褐色)) 5YR7/4 (L(白-褐色)) 2.5YR8/2 (黄褐色)	20%	口縁部内面 赤色こぼ れ痕跡 断面内面 スチフ 着 断面やや凹 減
第13910 182 図号87	B11J V	土師窯 窯	口径(16.9) 窑高(8.0)	口縁部外面ヨコナガ、体 部外面斜ハケ(7本/α)内 面ヘラツクリ、断面内面 斜ハケ、口部面取	1.0~4.0mmの白色 砂粒を含む	硬	7.5YR7/4 (L(白-褐色)) 7.5YR5/2 (黄褐色) 7.5YR7/4 (L(白-褐色))	20%	口縁部内面 赤色こぼ れ痕跡 断面内面 スチフ 着
第13912 183 図号93	B11J V	土師窯 窯	口径(17.5) 窑高(6.1)	口縁部外面ヨコナガ、内面 斜ハケ(15本/α)、体部 外面斜ハケ(5本/α)、内面 ヘラツクリ、口部面取	2.0mm以下の白色 砂粒を含む	軟	7.5YR5/3 (L(白-褐色)) 5YR7/4 (L(白-褐色)) 5YR7/4 (L(白-褐色))	13%	口縁部内面 赤色こぼ れ痕跡 断面内面 スチフ 着
第13916 184 図号90	上層 B11J W	土師窯 窯	口径(19.8) 窑高(6.6)	口縁部内外面ヨコナガ、体 部外面斜ハケ(5本/α)、内 面ヘラツクリ、口部面取 り・穴縁1本	0.5mm大の白色砂 粒を含む	中	10YR6/2 (黄褐色) 10YR6/2 (黄褐色) 5YR6/4 (L(白-褐色))	5%	第2層、B11 Jと断面 凹減内面 スチフ 着
第13918 185 図号90	B11J V	土師窯 窯	口径(18.0) 窑高(5.9)	口縁部内外面ヨコナガ、体 部外面斜ハケ(5本/α)内面 ヘラツクリ、口部面取	0.5mm大の白色砂 粒を含む	中	10YR6/3 (L(白-褐色)) 10YR5/2 (黄褐色) 5YR7/4 (L(白-褐色))	12%未満	内面オコゲ 付着
第13922 186 図号91	B11J U	土師窯 窯	口径(18.3) 窑高(9.55)	口縁部内外面ヨコナガ、内 面斜ハケ(15本/α)内面 ヘラツクリ、体部外面斜ハケ(5 本/α)内面ヘラツクリ、口 部面取	0.1~2.5mm大の白 色砂粒と黒色砂粒 を含む	中	7.5YR6/2 (黄褐色) 10YR7/4 (L(白-褐色)) 10YR7/1 (黄褐色)	5%	外面スチフ 着
第13926 187 図号98 -120	B11L U	土師窯 窯	口径(22.4) 窑高(7.8)	口縁部外面斜ハケヨコナガ、 内面斜ハケヨコナガ、 体部外面斜ハケ(15本/α) 内面ヘラツクリ、口 部面取	0.1~2.0mm位の白・ 黒色砂粒を含む	中	10YR6/1 (黄褐色) 7.5YR7/4 (L(白-褐色)) 7.5YR7/6 (黄褐色)	5%未満	体部内面に 器物残りの 痕跡?
第13928 188 図号89	B11J V	土師窯 窯	口径(22.6) 窑高(9.4)	口縁部外面ヨコナガ、内面 斜ハケ(15本/α)-ヨコナガ、 体部外面斜ハケ(5本/α)内面 ナツテ(1)口部面取、口部 面取	0.5mm大の白色砂 粒を含む	中	10YR4/1 (黄褐色) 2.5Y8/2 (黄褐色) 5YR6/6 (黄褐色)	10%	内面オコゲ 付着痕跡
第13930 189 図号88	B11K V	土師窯 窯	口径(23.8) 窑高(7.6)	口縁部内外面ヨコナガ、体 部外面斜ハケ(18本/α)、 内面ナツテ、一部ハケ、口部 面取	1.0mm以下の砂粒 を多く含む	硬	10YR8/1 (黄褐色) 10YR8/1 (黄褐色) 10YR8/1 (黄褐色)	5%未満	

特 異 因 子	層 位 地 区	造 形 種 類	1. 法 量 h, b.	調 整	胎 土	焼 成 色 調 (内面) (外面) (断面)	残 存 率	備 考
第13002 190 図説92	B11 J V	土師器 壺	口径(25.80) 器高(9.5)	唇部磨滅顯著、調整不明	小石を含む	10YR8/3 (淡黄褐色) 10YR8/3 (淡黄褐色) 10YR8/1 (淡白色)	4%	
第13002 191 図説93	B11 K U	土師器 壺	口径(26.0) 器高(5.4)	口縁部内外面ヨコナデ、体 部外面縦ハケ(4本/本)、内 面ヘラズリナデ(8本/本) 口唇部取付	0.5~3.0mmの白・ 褐色砂粒を含む	7.5YR7/4 (Lに黄褐色) 7.5YR7/4 (Lに黄褐色) 2.5YR/2 (淡白色)	5%	体部外面ス ス付着
第13002 192 図説91	B11 J V	土師器 壺	口径(26.0) 器高(7.4)	口縁部内外面ヨコナデ、内面 縦ハケ・ヨコナデ、体部外 面縦ハケ(4本/本)、内面 ヘラズリナデ、口唇部取 付	細砂粒を含む	7.5YR7/4 (Lに黄褐色) 10YR7/4 (Lに黄褐色) 7.5YR7/4 (Lに黄褐色)	5%	
第13002 193 図説—	B11 J U ・ J V	土師器 壺	口径(28.8) 器高(5.8)	口縁部内外面ヨコナデ、内面 縦ハケ・ヨコナデ、体部外 面縦ハケ(4本/本)、内面 ヘラズリナデ、口唇部取 付	1.0~3.0mm大の白 色・0.5mm大の 赤褐色粒を含む	10YR8/2 (淡黄褐色) 10YR7/2 (Lに黄褐色) 7.5YR/1 (褐色)	13%	5041-OX と融合(B11 JU)
第13002 194 図説95	B11 J W ・ K V	土師器 壺	口径(25.4) 器高(12.6)	口縁部内外面ヨコナデ、内面 縦ハケ・ヨコナデ、体部外 面縦ハケ(4本/本)、内面 ヘラズリナデ、口唇部取 付	細砂粒を多く含む (2.0mm以下)	10YR8/2 (淡黄褐色) 10YR8/2 (淡黄褐色) 10YR8/3 (淡黄褐色)	35%	下層B11 J V と融合 体部外面に黒 鉄粉、スス付 着
第13002 195 図説91-93	B11 J U	土師器 壺	口径(26.2) 器高(13.4)	口縁部内外面ヨコナデ、体 部外面縦ハケ(7本/本)、内 面ヘラズリナデ、斜ハ ケ、口唇部取付	0.5~4.0mmの白色 砂粒・赤色粒主 黒炭母粒を含む	7.5YR7/4 (Lに黄褐色) 10YR7/2 (Lに黄褐色) 10YR8/3 (淡黄褐色)	5%	外面スス付 着
第14002 196 図説98	上層 B11 K U	土師器 鉢	口径(26.5) 器高(6.2)	口縁部内外面ヨコナデ、内面 縦ハケ・ヨコナデ、体部外 面縦ハケ(4本/本)、口唇 部取付	1.5mm以下の赤褐色 色砂粒、2.0mm以 下の褐色砂粒を含む	10YR8/2 (淡黄褐色) 10YR8/4 (淡黄褐色) 10YR8/3 (淡黄褐色)	5%未満	
第14002 197 図説98	B11 K V	土師器 鉢	口径(27.0) 器高(6.3)	口縁部内外面ヨコナデ、体 部外面縦ハケ(8本/本) 内面縦ハケ(8本/本)、口唇 部取付	1.0mm以下の白・ 赤色砂粒を含む	7.5YR7/4 (Lに黄褐色) 10YR7/4 (Lに黄褐色) 7.5YR7/4 (Lに黄褐色)	5%未満	
第14002 198 図説—	上層 B11 J W	土師器 鉢	口径(27.8) 器高(7.3)	口縁部内外面ヨコナデ、体 部外面上赤褐色ハケ(8本/本) 下赤褐色ハケ(12本/本)、 内面縦ハケ(6本/本)、口唇 部取付	1.0mm以下の白色 砂粒を含む	5YR7/3 (Lに黄褐色) 5YR6/1 (褐色) 5YR7/3 (Lに黄褐色)	4%未満	
第14002 199 図説92	下層 B11 J V	土師器 鉢	口径(30.1) 器高(7.5)	口縁部内外面ヨコナデ、内面 縦ハケ・ヨコナデ、体部外 面縦ハケ(6本/本)、内面 縦ハケ(6本/本)、内面 縦ハケヘラズリナデ、口唇 部取付	2.0mm以下の褐色 砂粒を含む	7.5YR7/3 (Lに黄褐色) 7.5YR7/4 (Lに黄褐色) 7.5YR8/2 (淡白色)	6%	
第14002 200 図説92	B11 J V	土師器 鉢	口径(30.4) 器高(8.0)	口縁部内外面ヨコナデ、体 部外面上赤褐色ハケ(12本/本) 下赤褐色ハケ(6本/本)、内 面縦ハケ(6本/本)、口唇部取 付	2.0mm位の赤褐色 粒と1.0mm以下の 白色砂粒・黒炭母 粒を含む	5YR7/3 (Lに黄褐色) 5YR7/4 (Lに黄褐色) 7.5YR8/3 (淡黄褐色)	2%	
第14002 201 図説98	上層 B11 U	土師器 鉢	口径(15.4) 器高(7.4)	口縁部内外面ヨコナデ、体 部内外面ナデ、唇部磨滅著 著、口唇部取付	2.0mm以下の白色 砂粒を多く含む	7.5YR7/2 (暗黄褐色) 7.5YR7/2 (暗黄褐色) 2.5YR6/8 (褐色)	10%未満	
第14002 202 図説98	上層 B11 U	土師器 壺	口径(19.8) 器高(4.1)	口縁部内外面ヨコナデ、体 部内外面ナデ、口唇部取付	4.0mm以下の白色 粒を含む	7.5YR4/2 (淡黄色) 7.5YR4/2 (淡黄色) 2.5YR5/8 (赤褐色)	6%未満	外面スス付 着
第14002 203 図説93	B11 J V ・ J U	土師器 壺	口径(19.0) 器高(6.7)	口縁部内外面ヨコナデ、体 部内外面ナデ、口唇部取付	0.5~3.0mmの白・ 灰・褐色粒を多く 含む	7.5YR4/4 (褐色) 5YR6/8 (褐色) 5YR5/8 (褐色)	30%以下	5041-OXと 融合(B11JU) 内面ヨコナ デ付着
第14002 204 図説92	B11 J V	土師器 壺	口径(16.8) 器高(6.25)	口縁部内外面ヨコナデ?体 部内外面ナデ?唇部磨滅著	0.5~5.5mmの白・ 灰・褐色粒を含む	5YR6/4 (Lに赤褐色) 5YR6/4 (褐色) 5YR6/6 (褐色)	5%	
第14002 205 図説92	B11 J V	土師器 壺	口径(17.0) 器高(6.95)	口縁部内外面ヨコナデ、体 部内外面ナデ	0.5~3.0mmの白・ 灰・赤・褐色色砂 粒を含む	5YR6/6 (褐色) 5YR6/8 (褐色) 5YR6/6 (褐色)	5%以下	
第14002 206 図説92	B11 J V	土師器 壺	口径(20.1) 器高(5.1)	口縁部内外面ヨコナデ?口 唇部取付、唇部磨滅著、 調整不明	1.5mm以下の白・ 赤褐色砂粒を含む	7.5YR8/4 (淡黄褐色) 7.5YR8/6 (淡黄褐色) 7.5YR8/4 (淡黄褐色)	6%	
第14002 207 図説—	B11 J V	土師器 壺	口径(24.6) 器高(5.6)	口縁部内外面ヨコナデ?体 部外面縦ハケ(9本/本)内面 ヘラズリナデ、唇部内面縦 ハケ(6本/本)、口唇部取付	0.5mm大の白色砂 粒を含む	2.5YR/1 (淡白色) 2.5YR/2 (淡白色) 2.5YR/1 (淡白色)	4%	唇部磨滅著
第14002 208 図説95	B11 J V ・ J U	土師器 鉢	口径(22.1) 器高(10.3)	口縁部内外面ヨコナデ、体 部外面上赤褐色ハケ(8本/本) 下赤褐色ハケ(8本/本)、 内面縦ハケ(8本/本)、口唇 部取付	白色細砂粒を多く 含む	7.5YR3/1 (黄褐色) 7.5YR3/1 (黄褐色) 10YR4/2 (淡黄褐色)	50%	5041-OX と融合(B11 JU)